

「2015年度アジア主要都市コンシューマインサイト比較調査」 調査結果概要

2016.3

株式会社日本総合研究所
総合研究部門

目次

調査概要	2
調査結果		
1. 世帯	7
2. 耐久消費財	17
3. 幸福感	33
4. ヘルスケア	37
5. インフラ・住まい	58
6. スポーツ	71
7. 観光	83
8. 子ども	95
9. 回答者属性	105
お問い合わせ	111

調査概要

1. 2015年度「アジア主要都市コンシューマインサイト比較調査」の概要

アジア主要都市における「中間層」以上消費者の消費動向を把握するため、日本(東京)を含む計13都市での大規模なインターネットアンケート調査を実施。

<p>調査目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> アジア主要都市における「中間層」以上消費者の消費実態の、日本(東京)との比較分析
<p>調査地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本(東京)・中国(上海、北京、広州)・インド(ムンバイ、デリー)・シンガポール・マレーシア(クアラルンプール(スランゴール州含む))・タイ(バンコク)・インドネシア(ジャカルタ)・ベトナム(ホーチミン、ハノイ)・フィリピン(マニラ)
<p>調査方法・調査時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> インターネット調査・2015年10月実施
<p>調査対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「中間層」(世帯年間可処分所得5,000～35,000USDドル)以上の20～40代男女、計7,089人

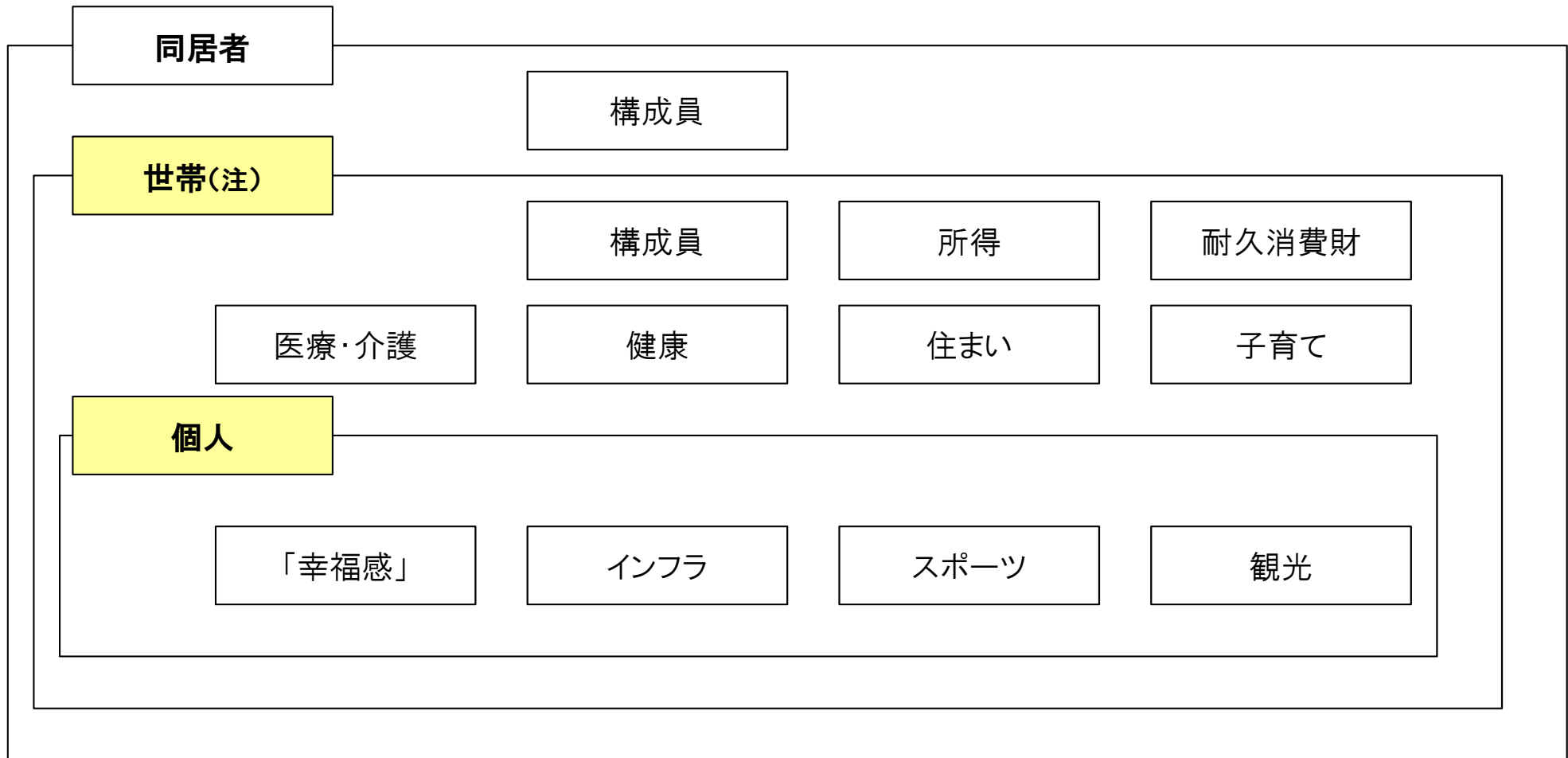
2. 本調査のユニークな特徴

アジア9カ国のボリュームゾーン消費者の消費行動や生活情報を、都市単位かつ大サンプルで調査。得られた結果は、東京を含む都市間での比較が可能。

アジア市場進出を検討する企業が 必要とする消費者に関する情報	既存データ・調査結果の 問題点	本調査の特徴
<p>1</p> <p>各国の都市レベルの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 進出当初から各国全土に展開することは難しい。 まずは各国の主要都市でターゲットとなる消費者情報を把握したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国単位のデータが多く、都市に落とし込んだ具体的な検討に活用することが困難。 都市レベルのデータがあっても、サンプル数が限られる。 	<p>中間層を対象とした都市レベルの大サンプル調査</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア主要都市レベルで、近年注目が高まる「ボリュームゾーン消費者」を対象に調査を実施。 約7,000サンプルの大サンプルで把握。(1都市当たり500サンプル以上)
<p>2</p> <p>日本や既進出国・都市との比較情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内や既進出先での自社商品の展開が、新規進出先でどの程度通用しそうか、を把握するために、各国の横並びでの情報を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の都市を横並びで比較した調査は多くない。 	<p>東京を含むアジア9カ国・13都市にて調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語間の等価性に考慮して調査を実施したため、都市間の結果比較が可能 東京も調査対象都市としているため、アジア消費者の消費実態を直感的に把握可能
<p>3</p> <p>消費行動及びその背景にある消費者情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社商品に関わる消費行動を把握することはマーケティング戦略の検討に必須。 「なぜ、そうなのか」を理解し、より深い検討をするためには、背景情報が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> アジアの都市レベルで、消費行動やその背景となる生活情報まで分析できるものは少ない。 	<p>暮らし方や生活意識についても調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費行動だけでなく、各都市消費者の「世帯の特徴」「サービス利用時の情報収集先」「幸福度」等、消費行動の背景となる情報を調査。

3. 2015年度調査トピックの全体像

調査対象各都市において、回答者の属する「同居者」「世帯」の状況と、回答者「個人」の消費行動や価値観について質問した。



(注)世帯:同居し、かつ生計を共にしている人

(参考)回答者数の内訳

回答者数の内訳(居住地別・年代別・性別)は以下の通り。

年代	性別	北京	上海	広州	デリー	ムンバイ	ジャカルタ	ハノイ	ホーチミン	シンガポール	クアラルンプール	マニラ	バンコク	東京	総数
20代	男性	92	89	92	88	93	92	86	91	88	91	90	88	92	1,172
	女性	85	91	91	85	92	93	94	92	92	90	92	91	92	1,180
	合計	177	180	183	173	185	185	180	183	180	181	182	179	184	2,352
30代	男性	86	91	91	90	89	91	92	91	91	92	92	92	92	1,180
	女性	87	92	89	85	91	90	92	92	94	94	93	91	92	1,182
	合計	173	183	180	175	180	181	184	183	185	186	185	183	184	2,362
40代	男性	87	93	99	91	90	89	91	92	93	92	91	92	89	1,189
	女性	93	89	90	91	93	89	92	92	91	91	92	90	93	1,186
	合計	180	182	189	182	183	178	183	184	184	183	183	182	182	2,375
総数	男性	265	273	282	269	272	272	269	274	272	275	273	272	273	3,541
	女性	265	272	270	261	276	272	278	276	277	275	277	272	277	3,548
	合計	530	545	552	530	548	544	547	550	549	550	550	544	550	7,089

調査結果(1. 世帯)

「世帯」サマリー

アジア主要都市の中間層以上消費者は、東京よりも大人数で暮らし、1人暮らしは相対的に少数派。共働き比率は東京よりもずっと高く、多くが本業以外の副収入源を持っている。

同居状況	同居者数	<ul style="list-style-type: none"> 東京では一人暮らしが30%に対し、アジア12都市では4%以下。 東京・中国3都市以外では、30%以上が5人以上同居。
	同居者	<ul style="list-style-type: none"> インド2都市・ベトナム2都市・バンコク・シンガポール・マニラでは、50%以上が親と同居。 マニラ・ジャカルタでは、20%前後が住み込み手伝いと同居。
世帯(注)構成	世帯人数	<ul style="list-style-type: none"> 東京では1人世帯が35%だが、中国3都市・ベトナム2都市・バンコクでは10%未満。 中国3都市では、4人以上世帯が10%前後に対し、ベトナム2都市・マニラ・ジャカルタでは30%以上。
	婚姻状況	<ul style="list-style-type: none"> 東京では「配偶者あり」が36%に対し、中国3都市・デリー・ジャカルタ・ジャカルタ・ハノイでは80%以上。 東京では「共働き」が54%に対し、中国3都市・ベトナム2都市・バンコク・ジャカルタでは90%以上。
	世帯年収	<ul style="list-style-type: none"> インド2都市・ベトナム2都市・ジャカルタ・クアラルンプール・マニラでは、50%以上が世帯年収5000～15000ドルに対し、中国3都市では、50%以上が世帯年収15000～35000ドル。 東京では「副収入あり」31%に対し、中国3都市・デリー・ジャカルタ・ベトナム2都市・マニラでは80%以上。

(注)世帯:同居し、かつ生計を共にしている人

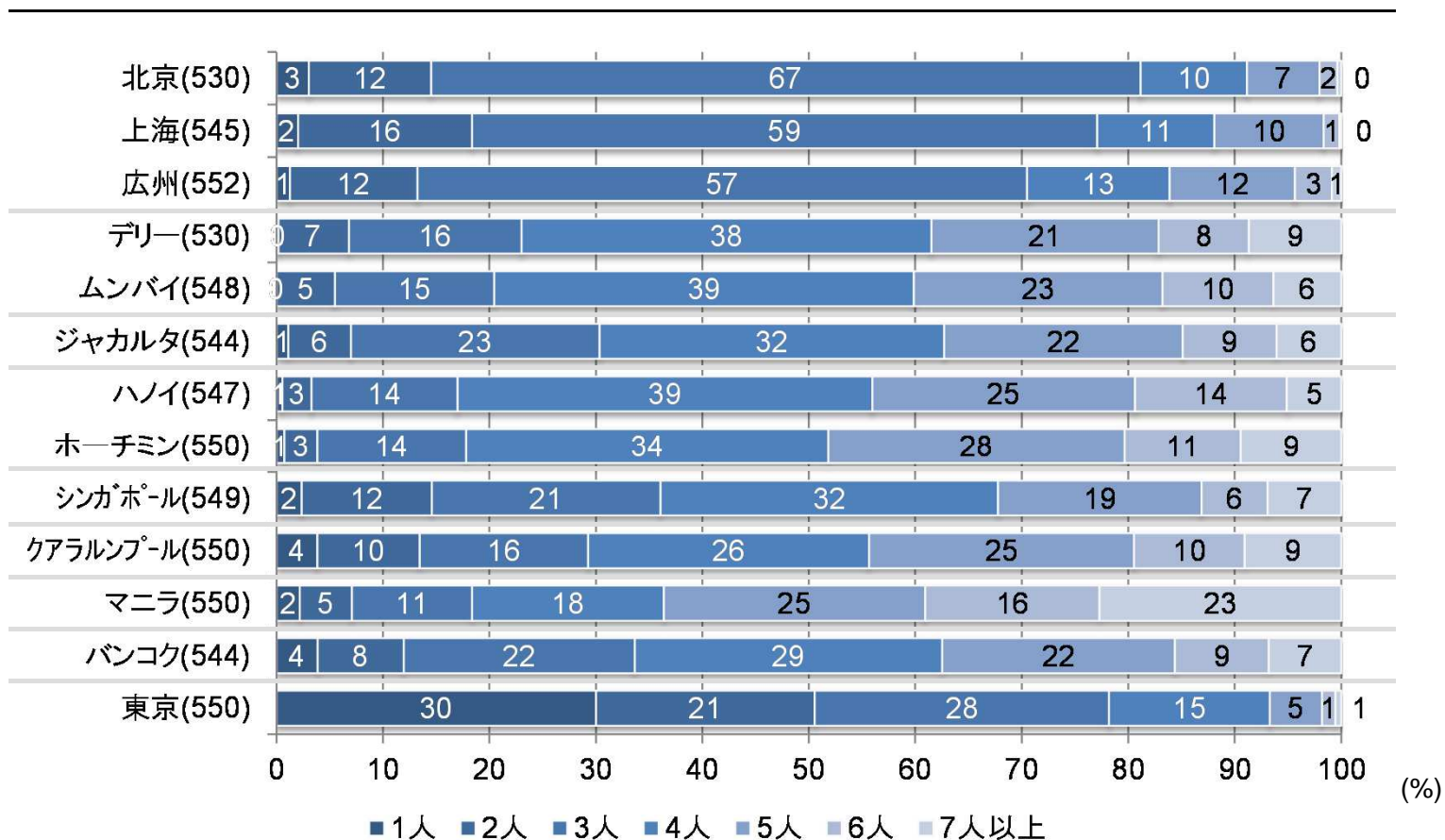
同居者数

東京では一人暮らしが30%に対し、アジア12都市では4%以下。

東京・中国3都市以外では、30%以上が5人以上同居。

Q4 一緒にお住まいの人数(あなたを含む)をお答えください。(住み込みのお手伝いさんを含む)

同居者数

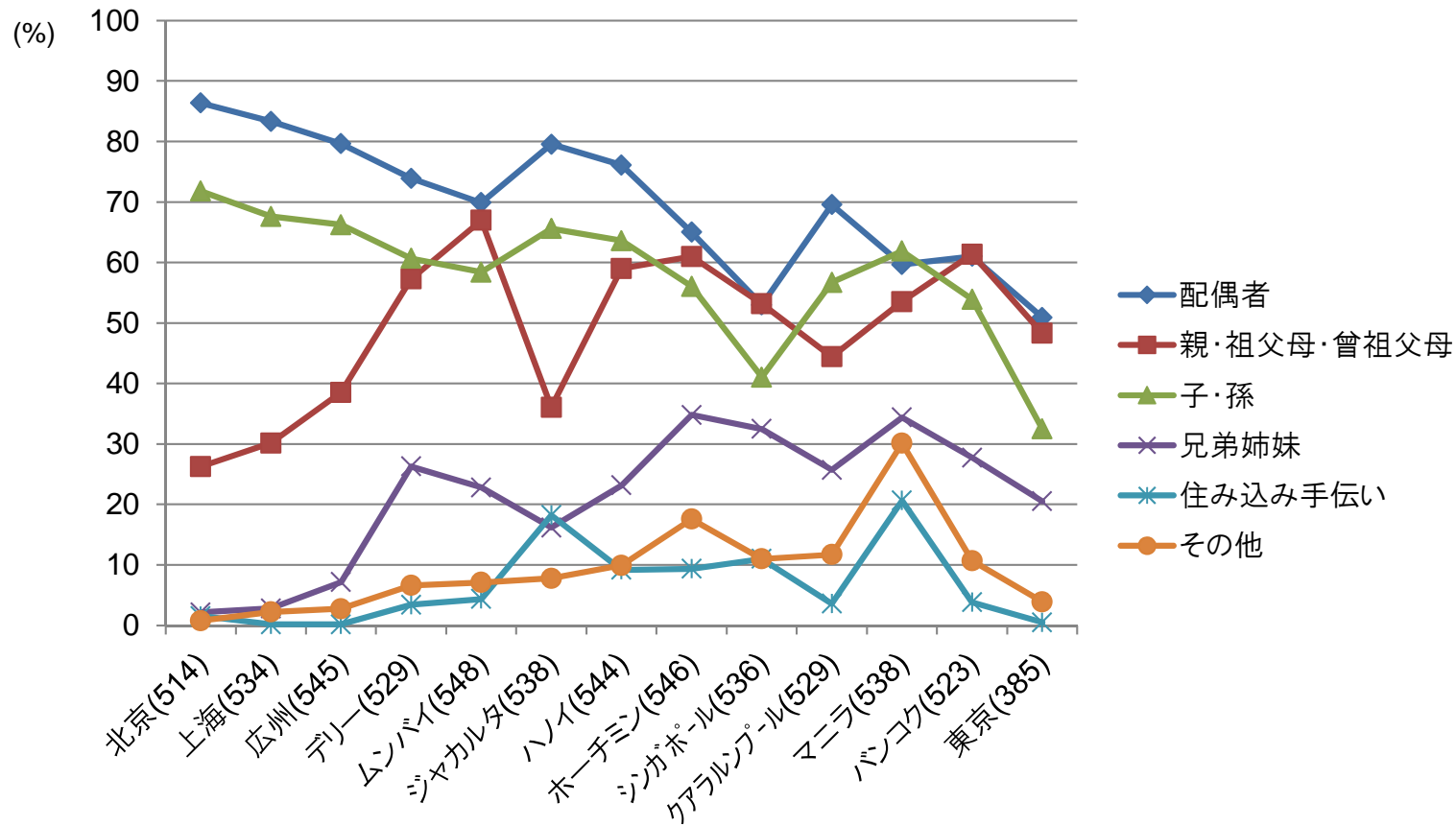


同居者の構成

インド2都市・ベトナム2都市・バンコク・シンガポール・マニラでは、50%以上が親と同居。
マニラ・ジャカルタでは、20%前後が住み込み手伝いと同居。

Q5 一緒にお住まいの方(々)はどなたですか。

同居者の構成(複数回答)(同居人数2名以上)

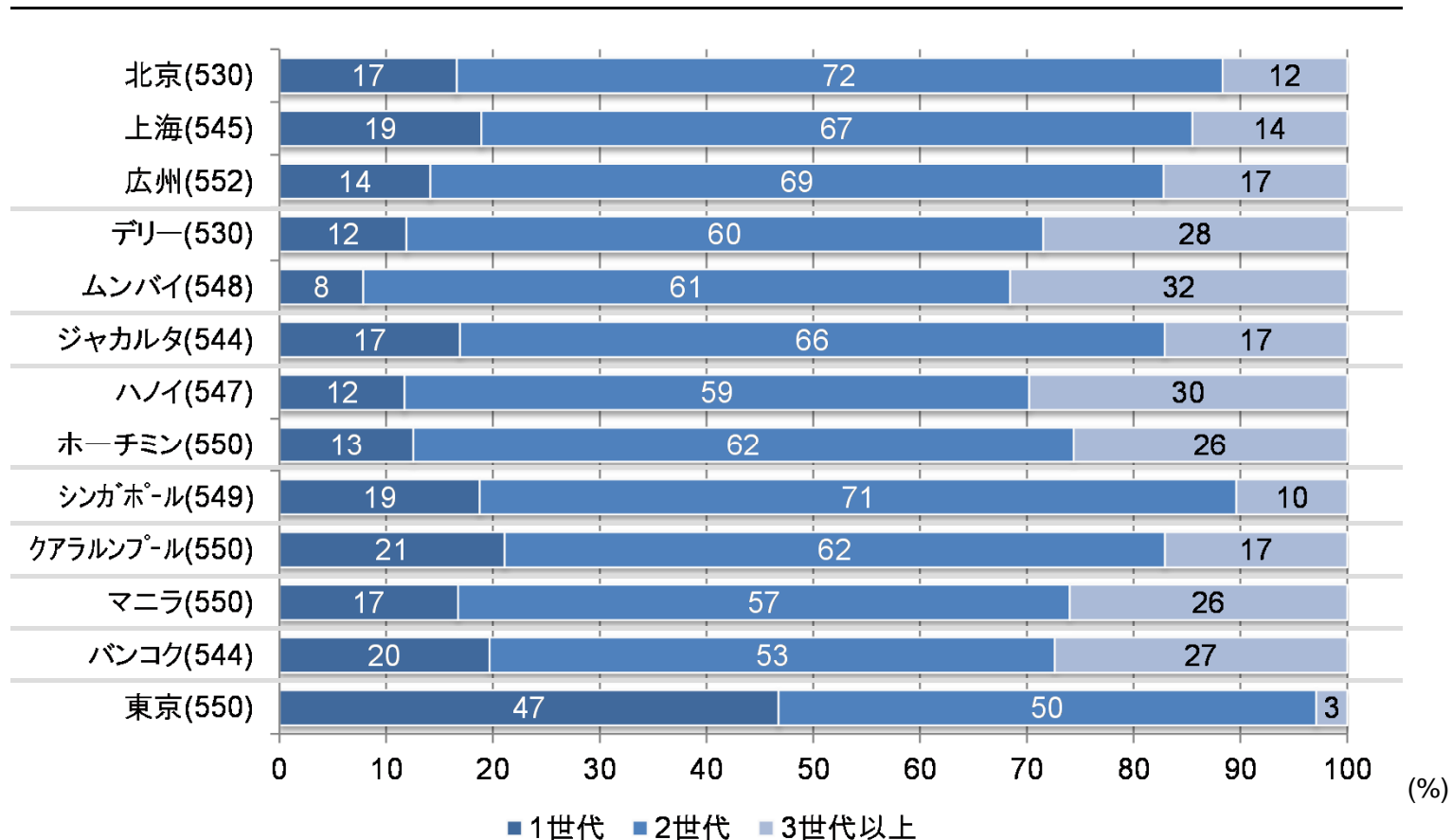


同居世代数

東京は、47%が1世代同居(一人暮らしを含む)と、他都市に比べ突出して高率。
一方、3世代同居が30%前後と多いのは、インド2都市・ベトナム2都市・マニラ・バンコク。

Q5 一緒にお住まいの方(々)はどなたですか。

同居世代数



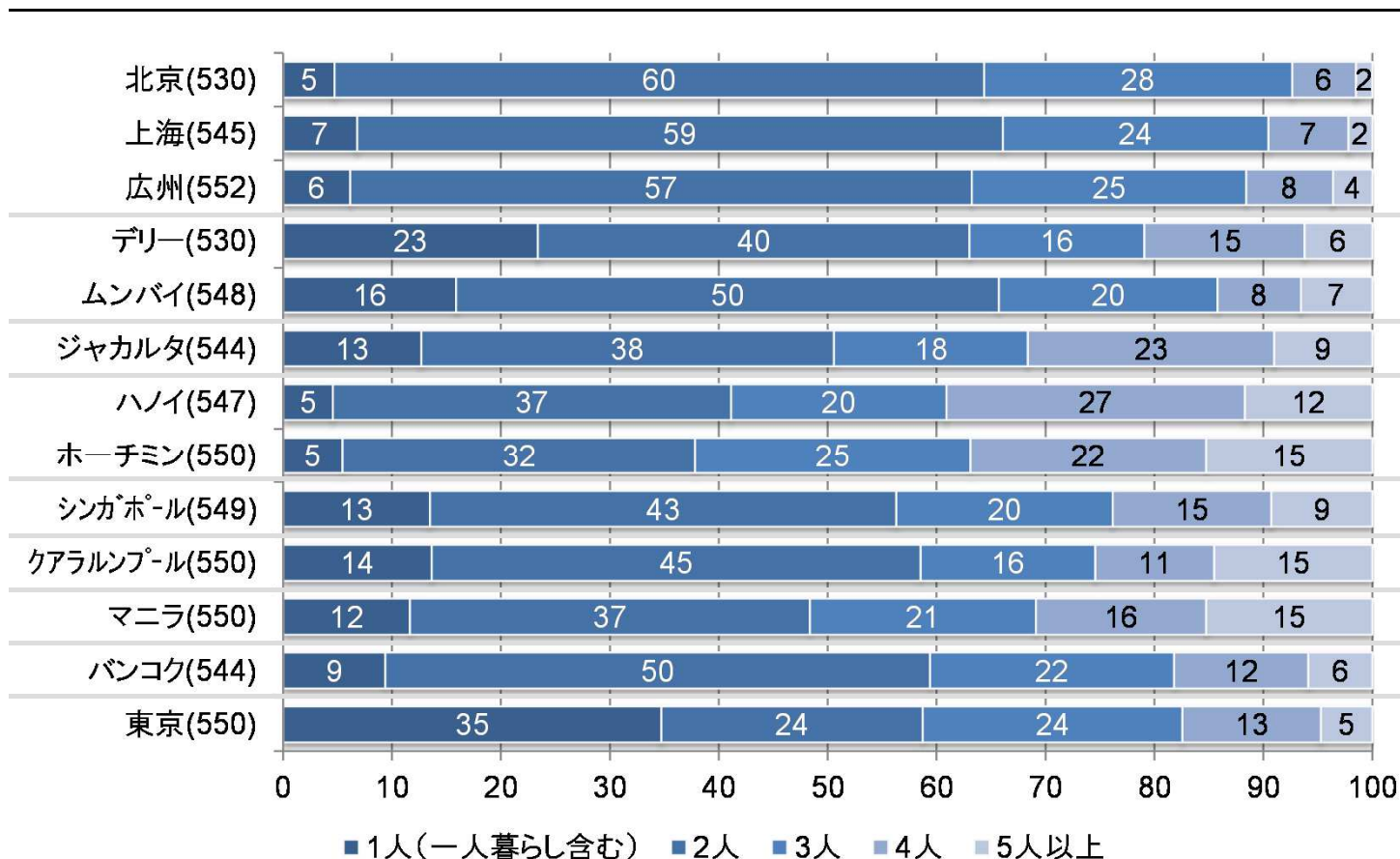
世帯*人数

東京では1人世帯が35%だが、中国3都市・ベトナム2都市・バンコクでは10%未満。

中国3都市では、4人以上世帯が10%前後に対し、ベトナム2都市・マニラ・ジャカルタでは30%以上。

Q6 先の質問でお答えいただいた、「一緒にお住まいの人数(あなたを含む)」の中で、生計を共にされている人数(あなたを含む)をお答えください。

世帯*人数



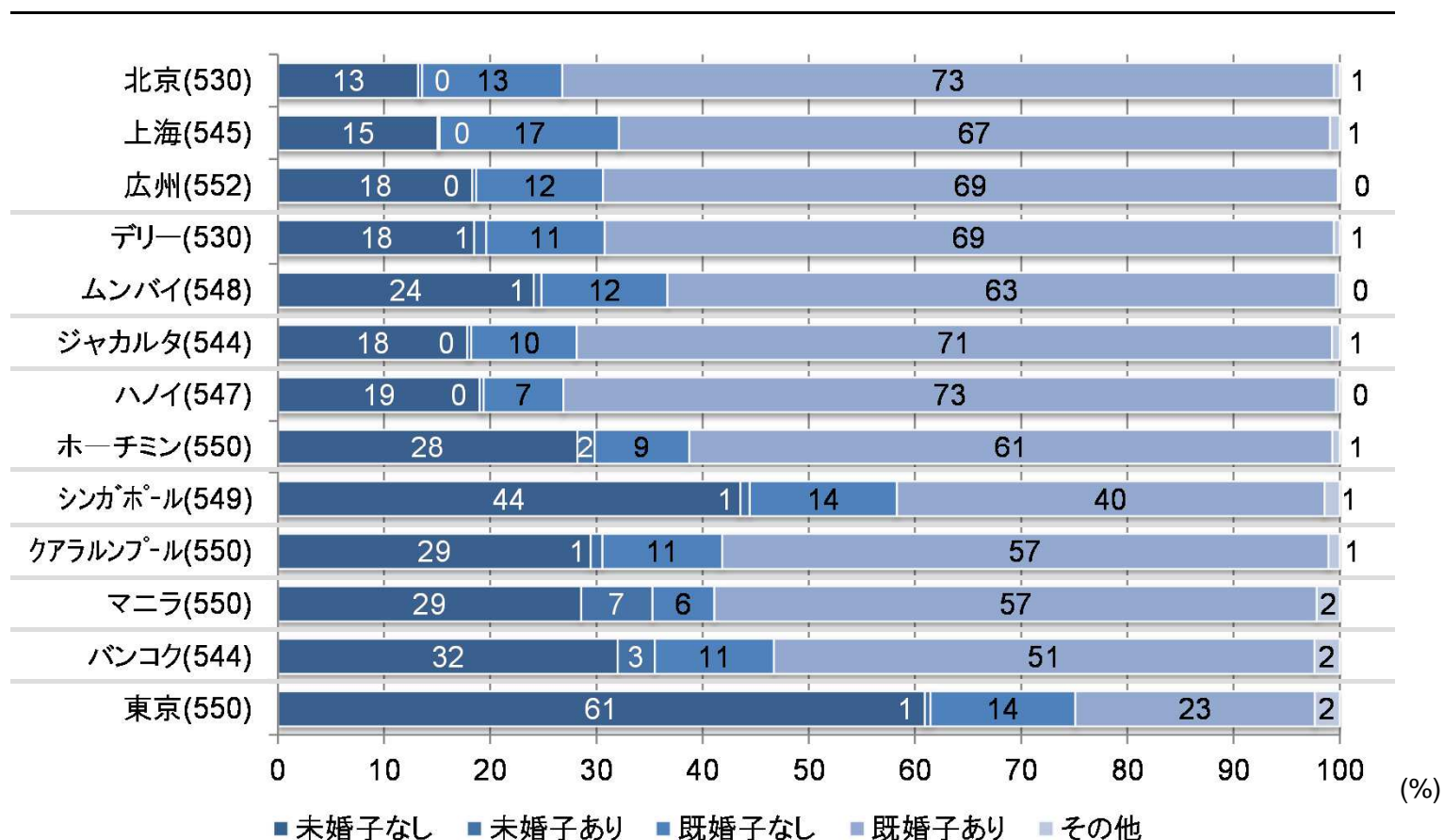
*世帯:
同居し、かつ生計を共にしている人。
(注)同居世代数(Q5)と世帯人数(Q6)の関係:
例1:両親、配偶者および子ども1人と同居し、生計を共にしている場合、「3世代同居」かつ「世帯人数5名」となる。
例2:両親およびきょうだいと同居しているが、独立した家計を営む単身者の場合、「2世代同居」かつ「世帯人数1名」となる。

婚姻状況

東京では「配偶者あり」が37%に対し、中国3都市・デリー・ジャカルタ・ジャカルタ・ハノイでは80%以上。
東京では「子あり」が24%に対し、中国3都市・デリー・ジャカルタ・ハノイでは70%前後。

Q12 婚姻状況についてお聞かせください。

婚姻状況

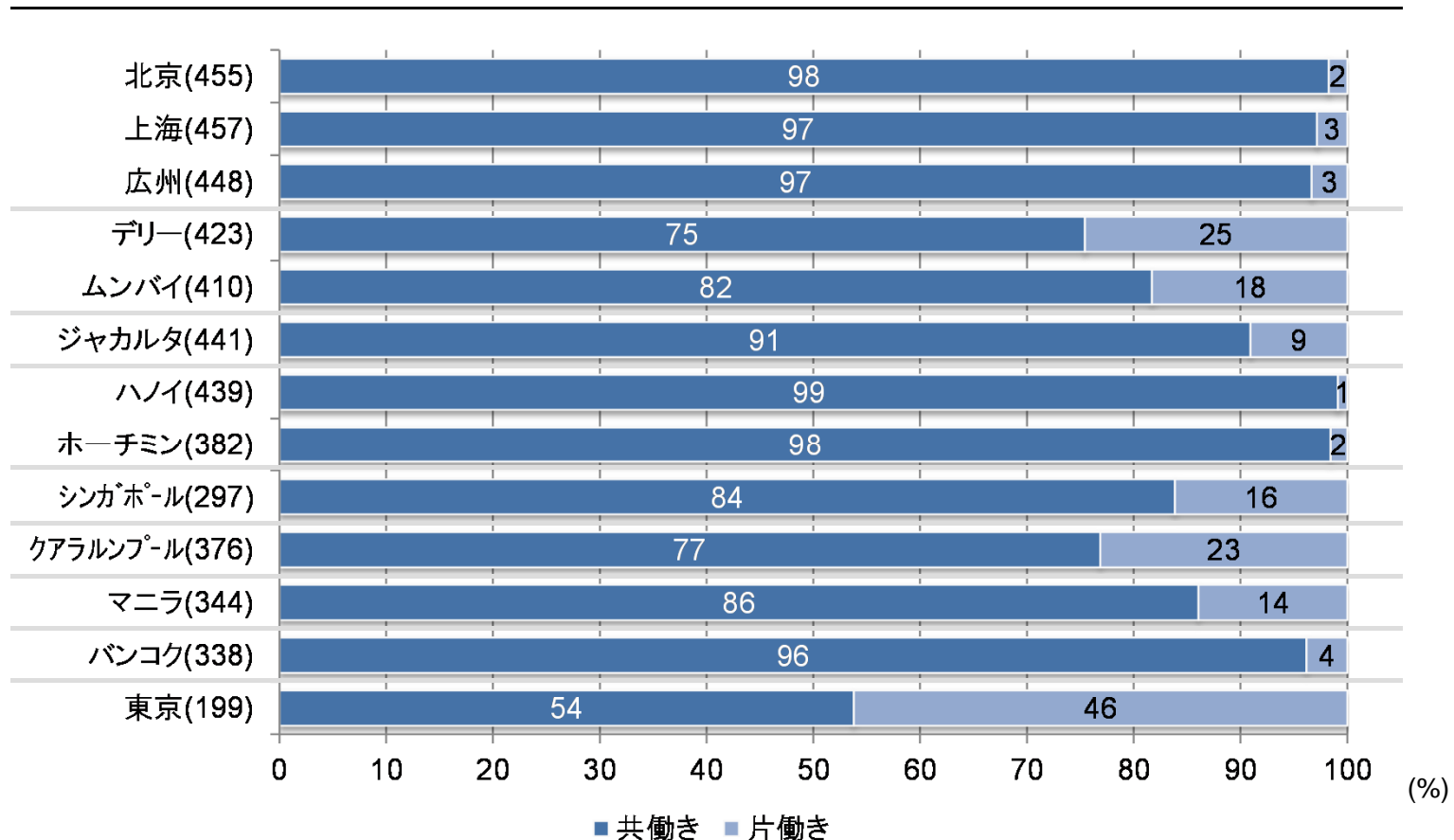


夫婦の就業状況

「共働き」比率は、東京(54%)を除く全ての都市で75%以上で、特に中国3都市・ベトナム2都市・バンコクでは95%を超える。

Q13 あなた方ご夫婦は共働きですか。

夫婦の就業状況(既婚者のみ)

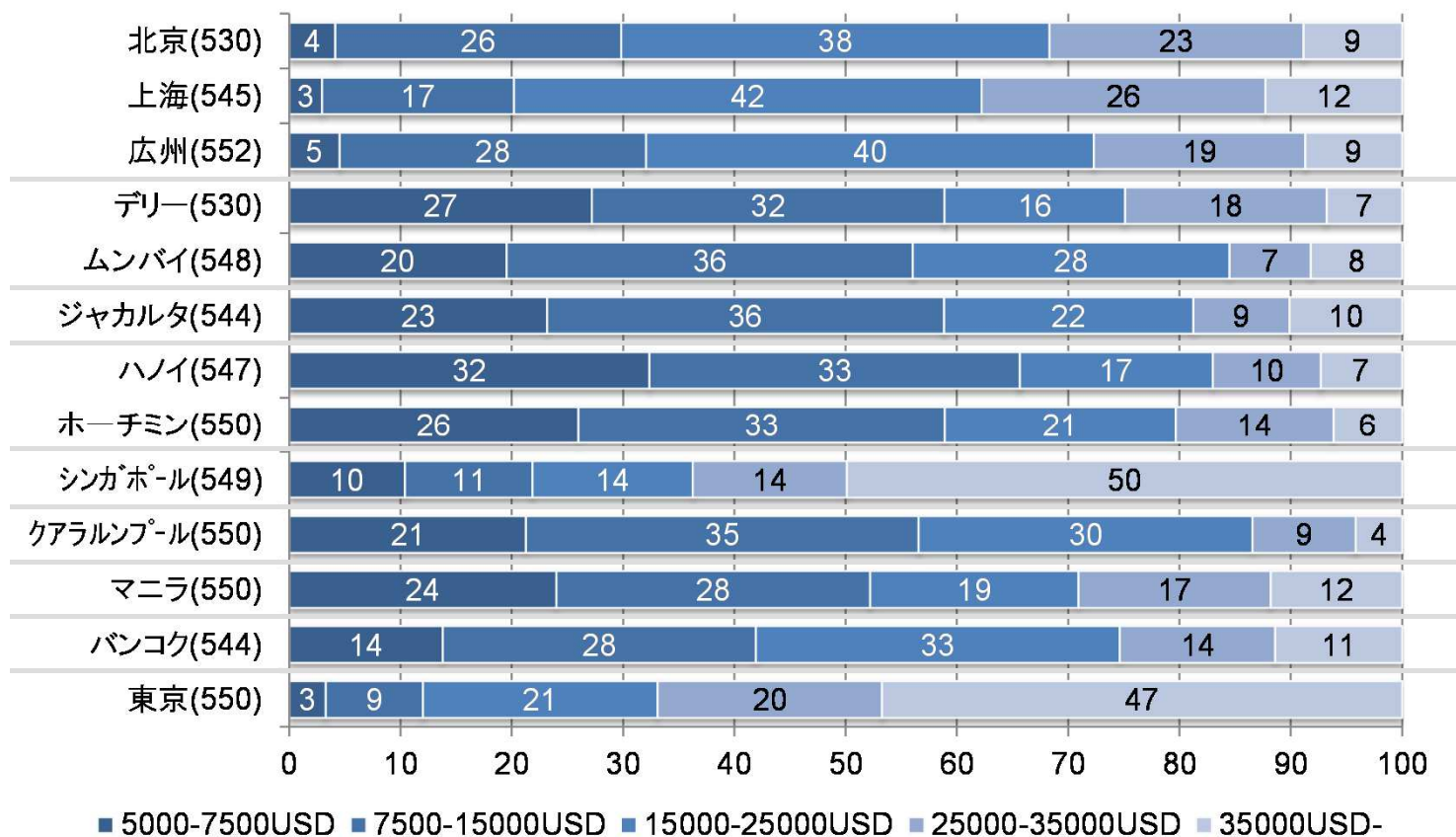


世帯可処分所得

インド2都市・ベトナム2都市・ジャカルタ・クアラルンプール・マニラでは、50%以上が世帯可処分所得5000～15000米ドルに対し、中国3都市では50%以上が15000～35000米ドル。

Q8 あなたの世帯の税引き前年収(過去1年間 2014年9月~2015年8月)はどの程度ですか。

世帯可処分所得*(米ドル換算)



*世帯可処分所得
Q8「税引き前世帯年収」と、分析に用いた「世帯可処分所得」との関係は以下の通り。

税引き前世帯年収 (USD)	世帯可処分所得 (USD)
7,000	5,000
10,000	7,500
20,000	15,000
35,000	25,000
50,000	35,000

また、米ドル換算に用いた為替レート(2015.10)は以下の通り。

1USD		
日本	JPY	119.63
中国	CNY	6.35
インド	INR	64.88
インドネシア	IDR	13,645
ベトナム	VND	22,325
シンガポール	SGD	1.39
マレーシア	MYR	4.25
フィリピン	PHP	46.22
タイ	THB	35.39

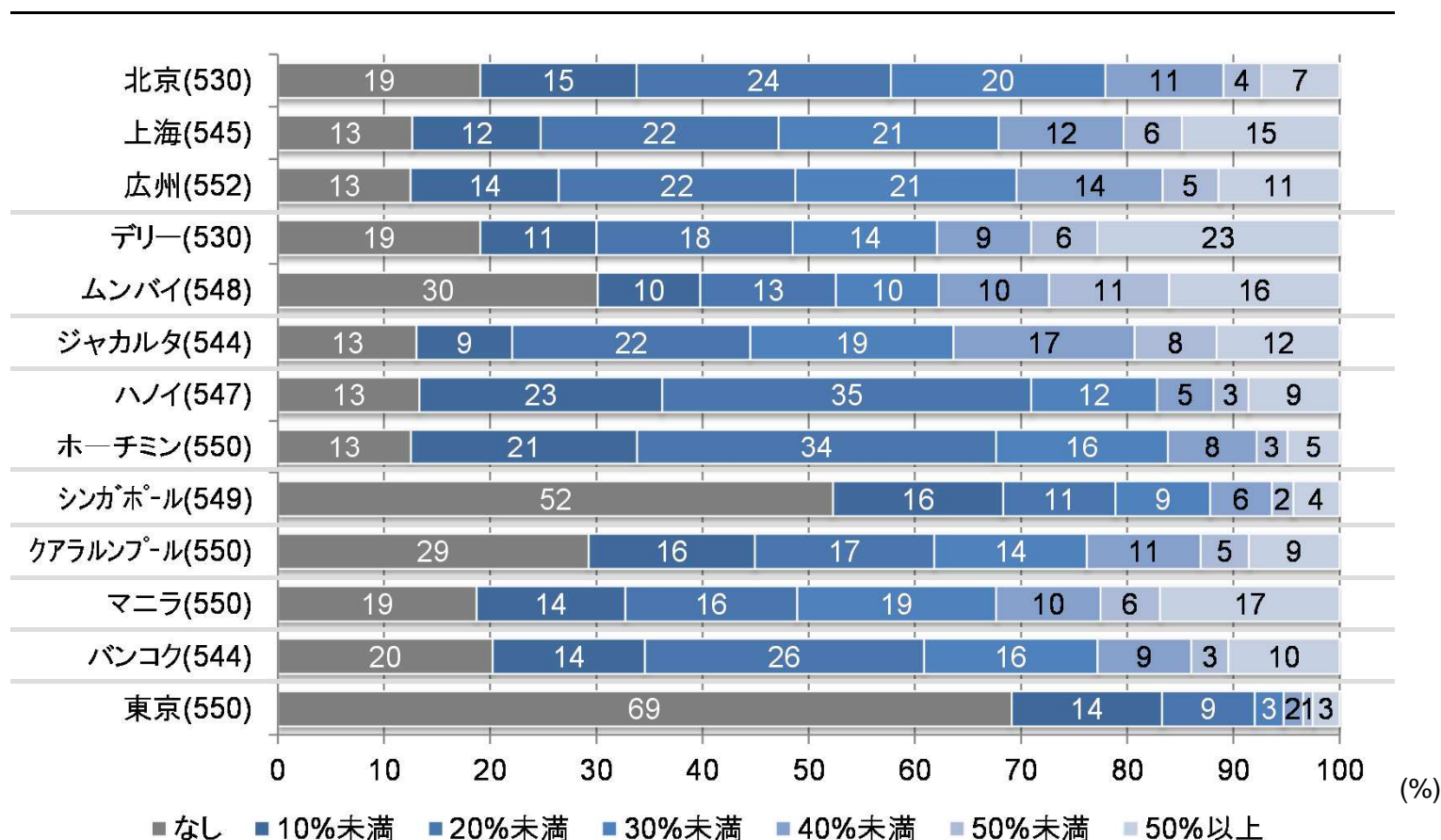
(%)

副収入比率

東京では「副収入なし」比率が69%に対し、
中国3都市・デリー・ジャカルタ・ベトナム2都市・マニラ・バンコクではわずか20%以下。

Q9 あなたの世帯に副収入のある方はいますか。複数いる場合は世帯の全てを合算し、過去1年間(2014年9月~2015年8月)の世帯収入に対する割合を比率(%)でお答えください。

副収入比率



調査結果(2. 耐久消費財)

「耐久消費財」サマリー

各都市における一般的な耐久消費財の保有率はほぼ東京並みで、購入意向は東京より高い。
 先進的な耐久消費財の認知率は東京より低い、認知者の購入意向は東京を大きく上回る。

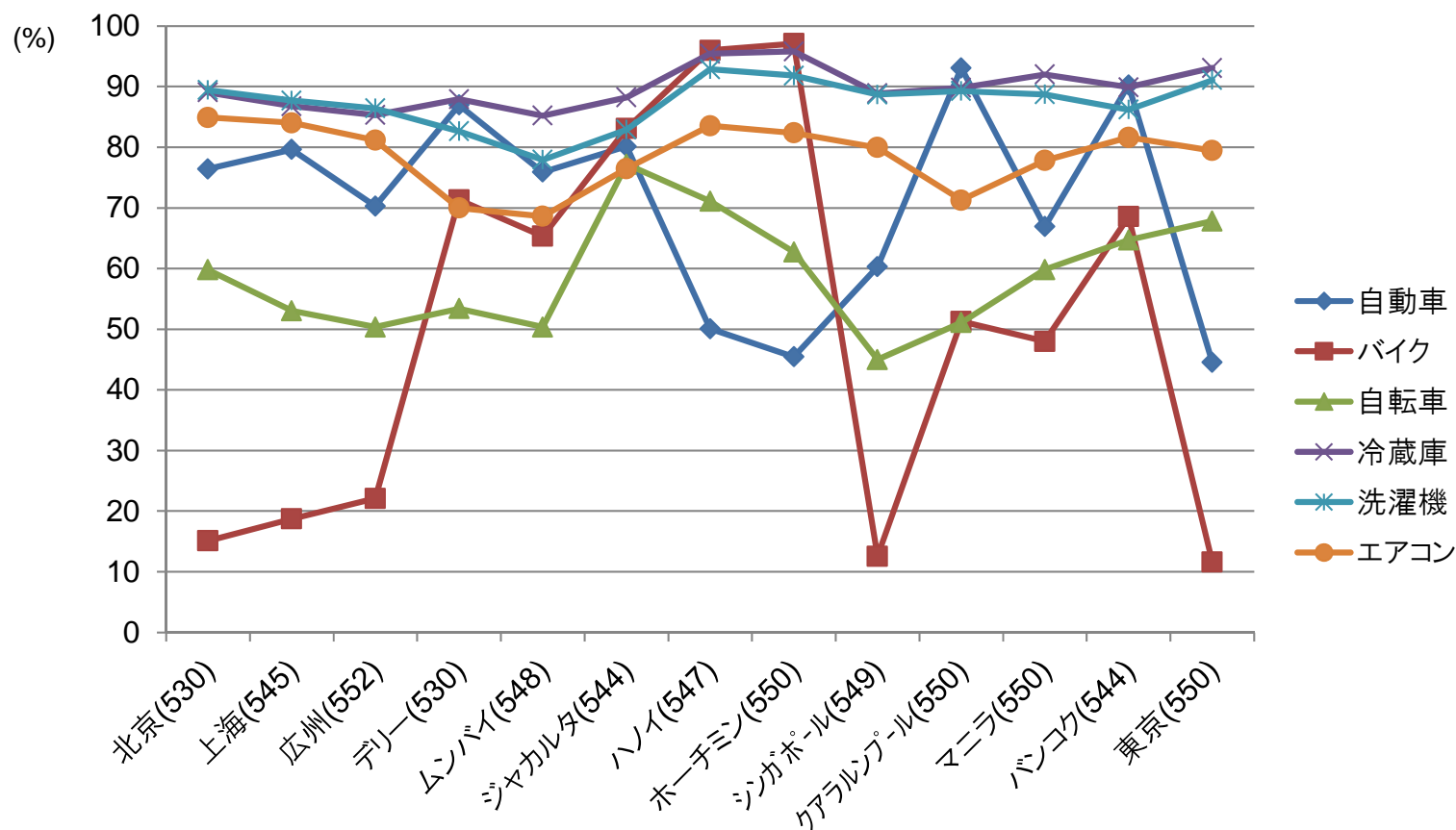
一般耐久消費財	保有状況	<ul style="list-style-type: none"> バイク保有は、北京・上海・シンガポール・東京では20%以下に対し、ジャカルタ・ベトナム2都市では80%以上。 中国3都市では、40%前後が10万円以上的高级時計・高級アクセサリを保有。
	購入意向	<ul style="list-style-type: none"> 東京以外の12都市で、最も購入意向が高いのは「自動車」(東京のみ「パソコン」)。 中国3都市・インド2都市・ジャカルタ・ベトナム2都市・マニラ・バンコクでは、30%以上が高級ブランドバッグ・高級時計・高級アクセサリの購入意向あり。
先進耐久消費財	認知状況	<ul style="list-style-type: none"> 中国3都市・東京では、電気自動車の認知率が80%以上。 ベトナム2都市・マニラ・バンコクでは、電動バイクの認知率が2/3以上。
	購入意向	<ul style="list-style-type: none"> ジャカルタ・ベトナム2都市・マニラ・バンコクで新エネルギー自動車認知者の購入意向が高い。 インド2都市・ベトナム2都市では、食器洗い機認知者の40%以上が3年以内に購入を希望。

耐久消費財世帯保有率(1/3)

バイク保有は、北京・上海・シンガポール・東京では20%以下に対し、ジャカルタ・ベトナム2都市では80%以上。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが所有しているもの」をお選びください。

耐久消費財保有率(複数回答)(1/3)

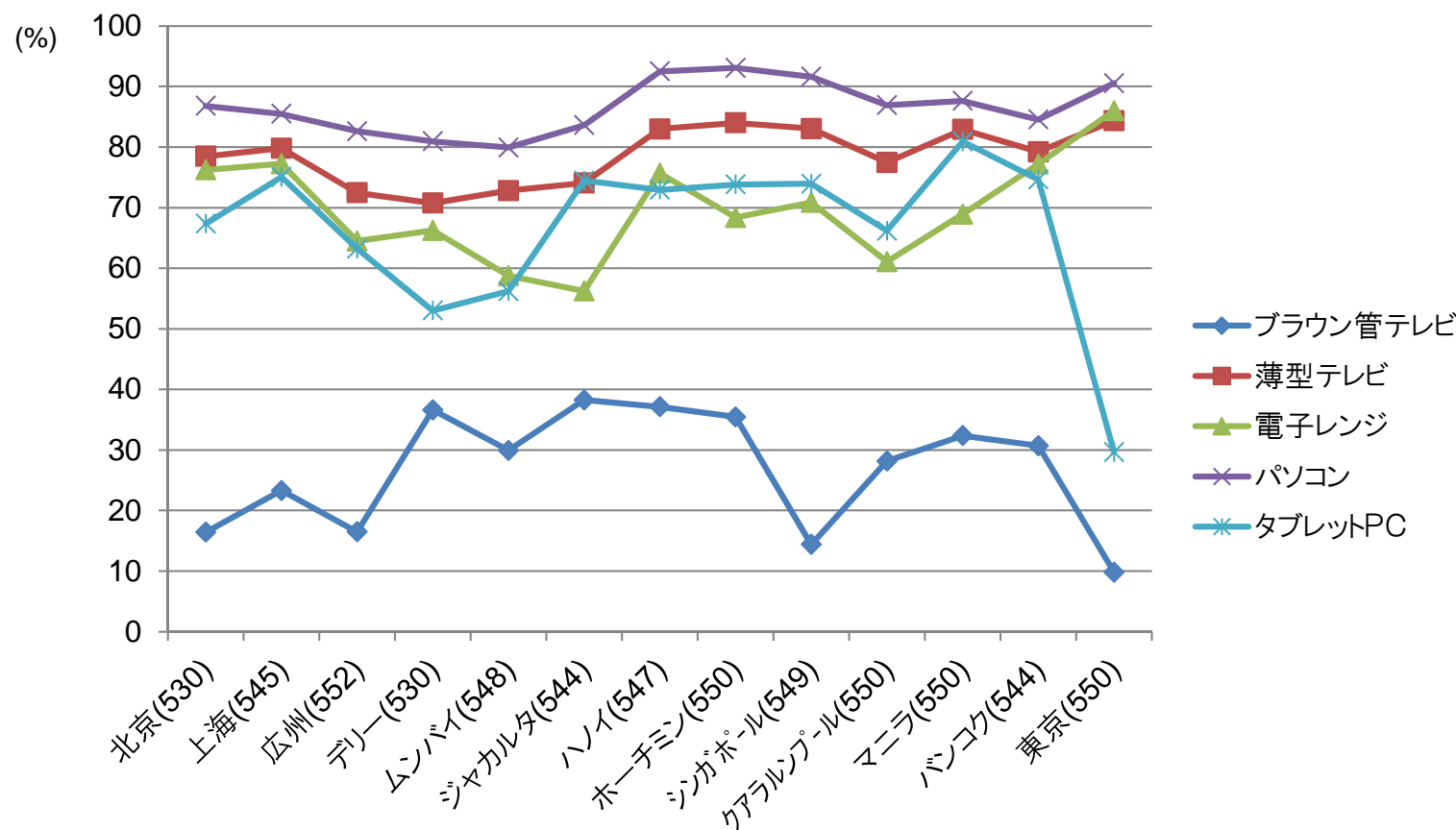


耐久消費財世帯保有率(2/3)

東京が最も保有率が高いのは、薄型テレビと電子レンジのみ。
パソコン保有は、全ての都市で80%以上。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが所有しているもの」をお選びください。

耐久消費財保有率(複数回答)(2/3)

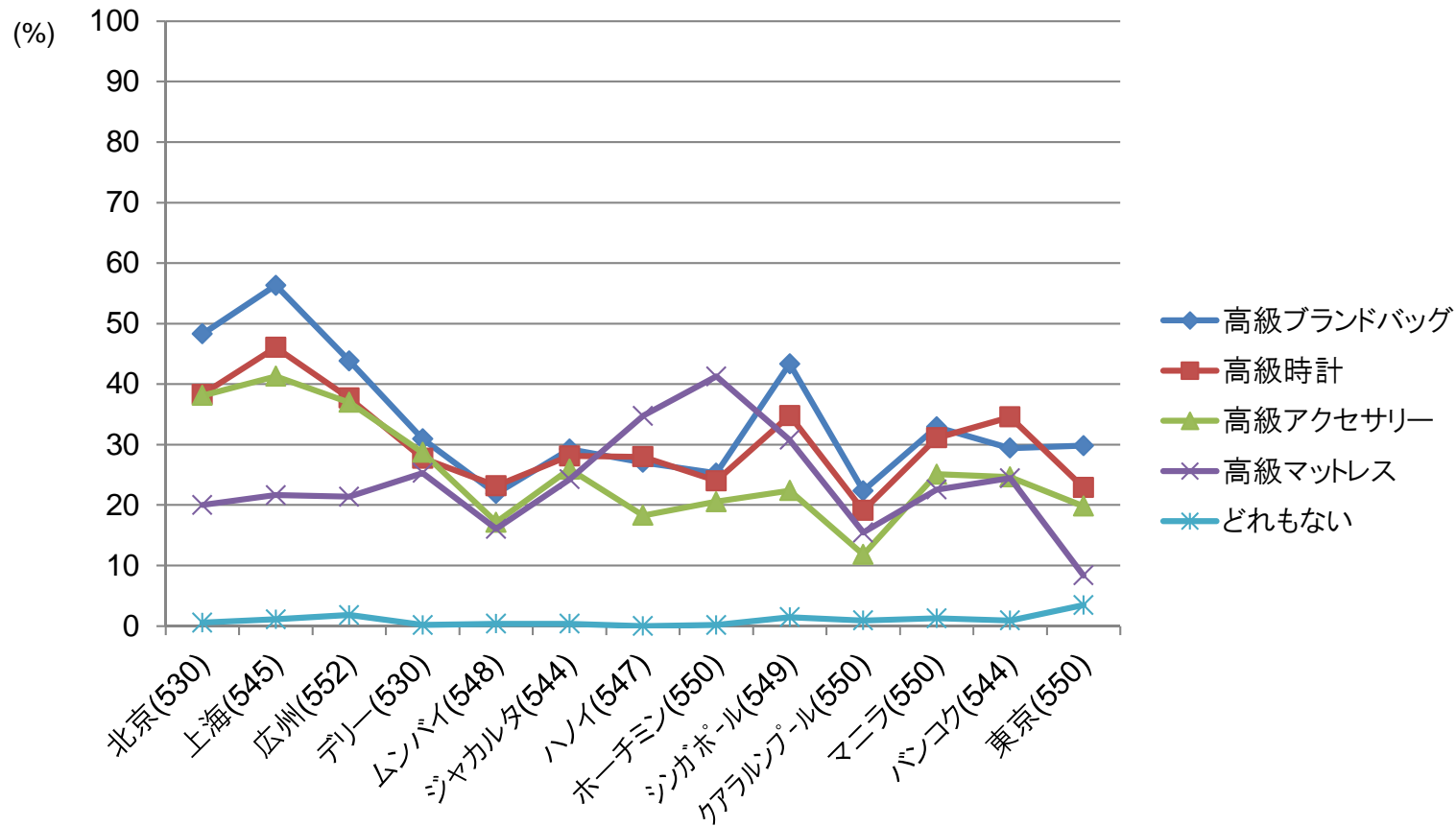


耐久消費財世帯保有率(3/3)

中国3都市では、40%前後が10万円以上の高級時計・高級アクセサリを保有。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが所有しているもの」をお選びください。

耐久消費財保有率(複数回答)(3/3)

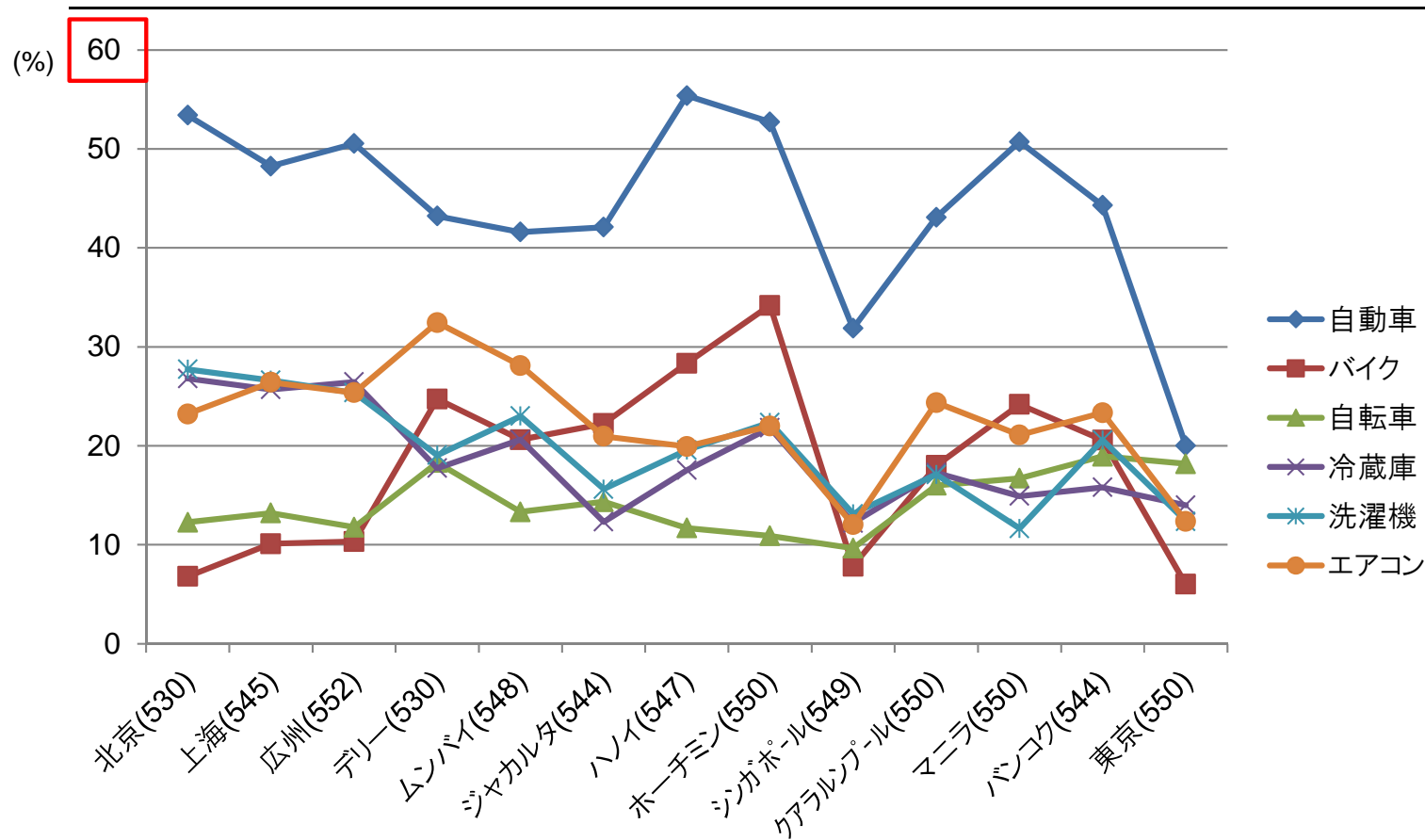


耐久消費財購入希望率(1/3)

東京以外の12都市で、最も購入意向が高いのは「自動車」。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

耐久消費財購入希望率(複数回答)(1/3)

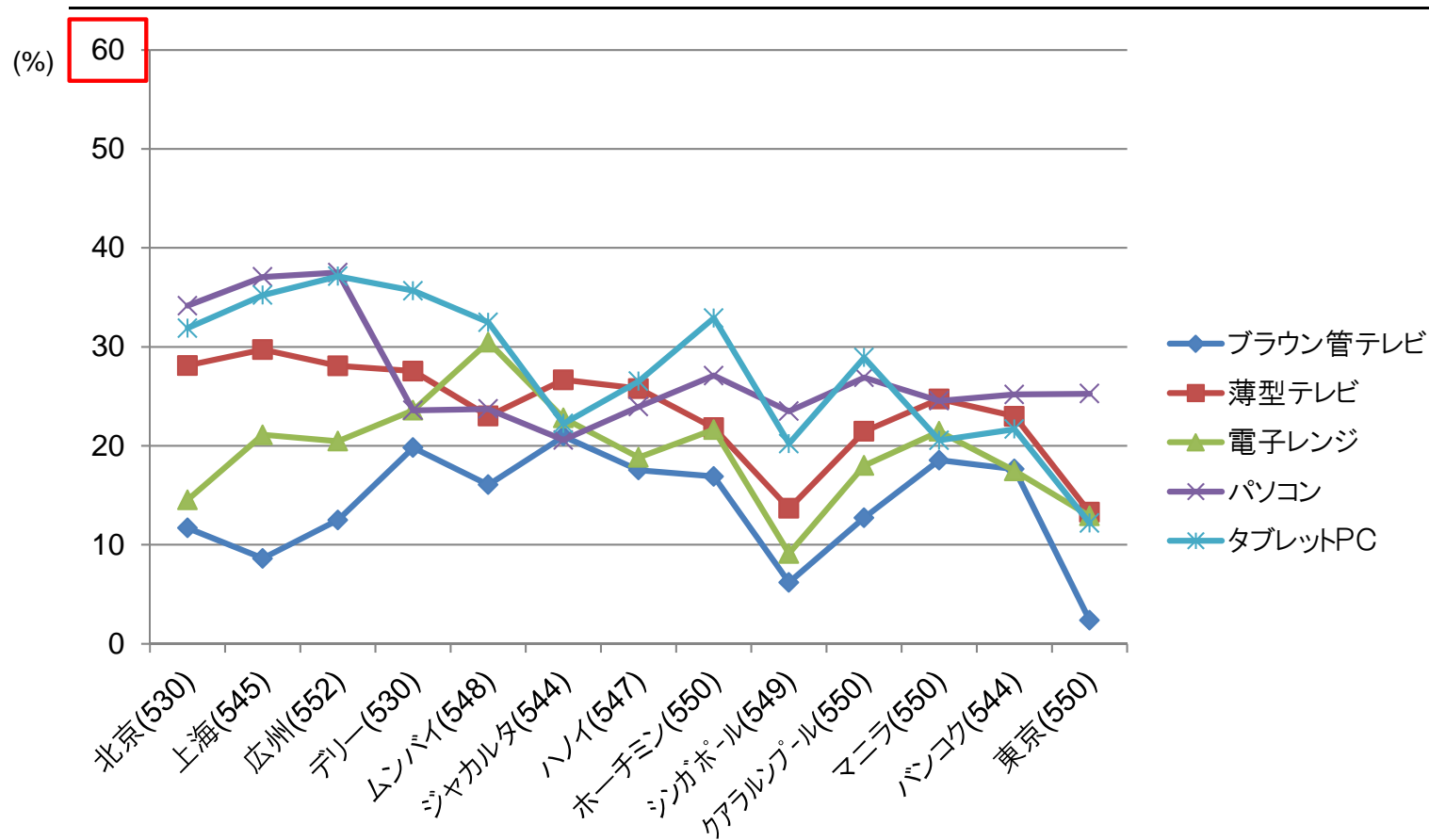


耐久消費財購入希望率(2/3)

東京で最も購入意向が高いのは「パソコン」。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

耐久消費財購入希望率(複数回答)(2/3)

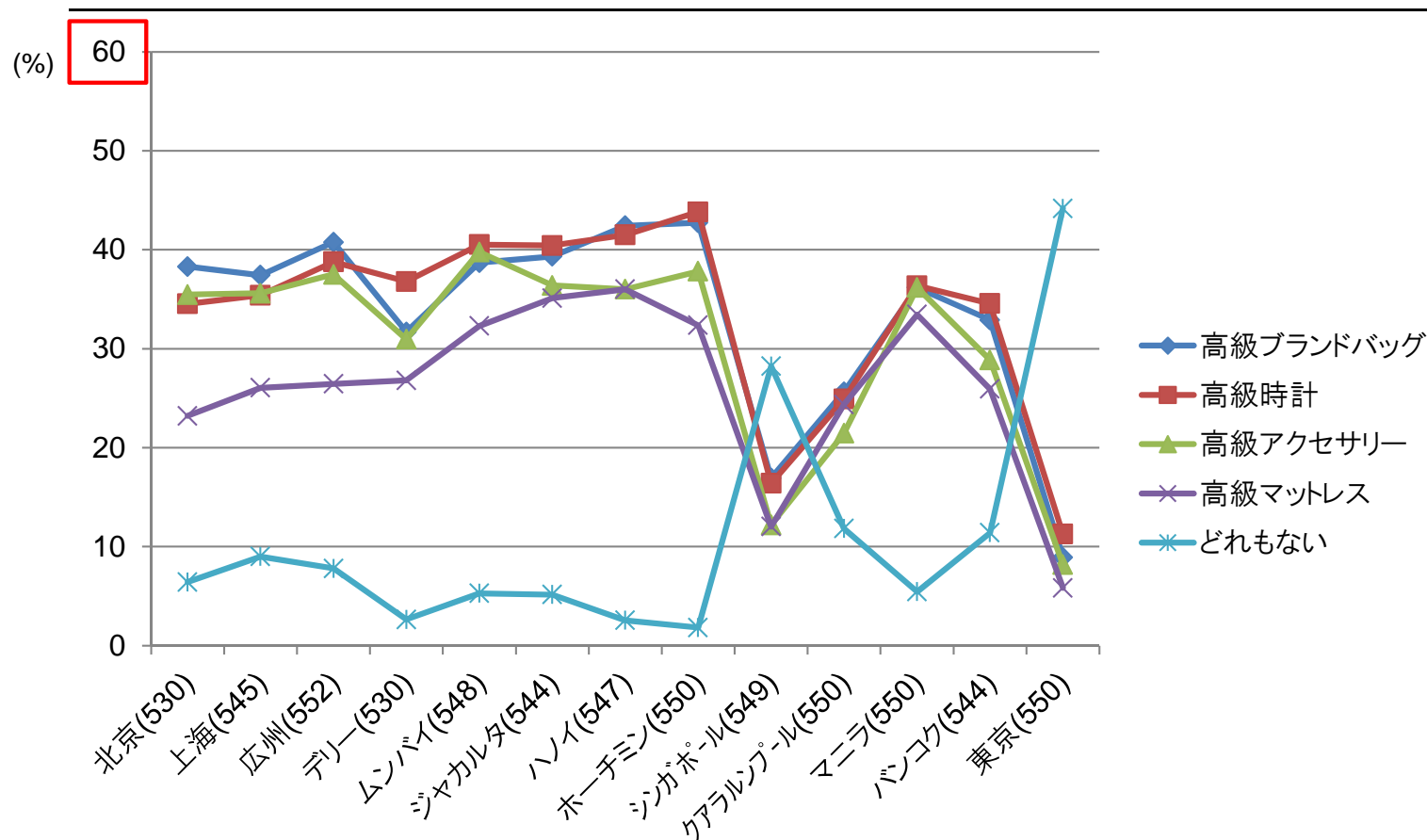


耐久消費財購入希望率(3/3)

シンガポール・クアラルンプール・東京以外の10都市では、
30%以上が高級ブランドバッグ・高級時計・高級アクセサリーの購入意向あり。

Q10 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

耐久消費財購入希望率(複数回答)(3/3)



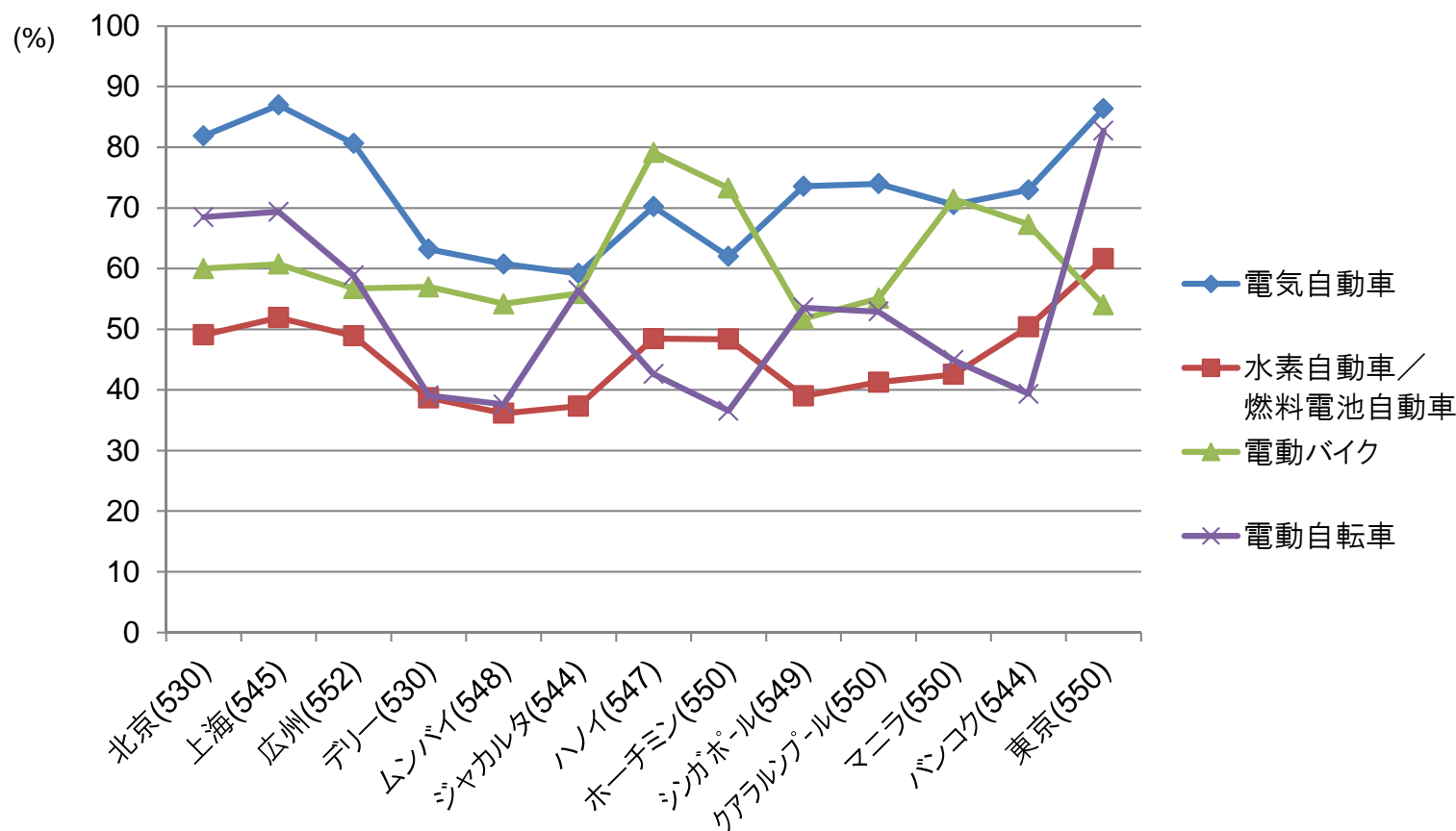
先進的耐久消費財認知率(1/4)

中国3都市・東京では、電気自動車の認知率が80%以上。

ベトナム2都市・マニラ・バンコクでは、電動バイクの認知率が2/3以上。

Q11A 次のうち、あなたがお存じのものをお選びください。

先進的耐久消費財認知率(複数回答)(1/4)



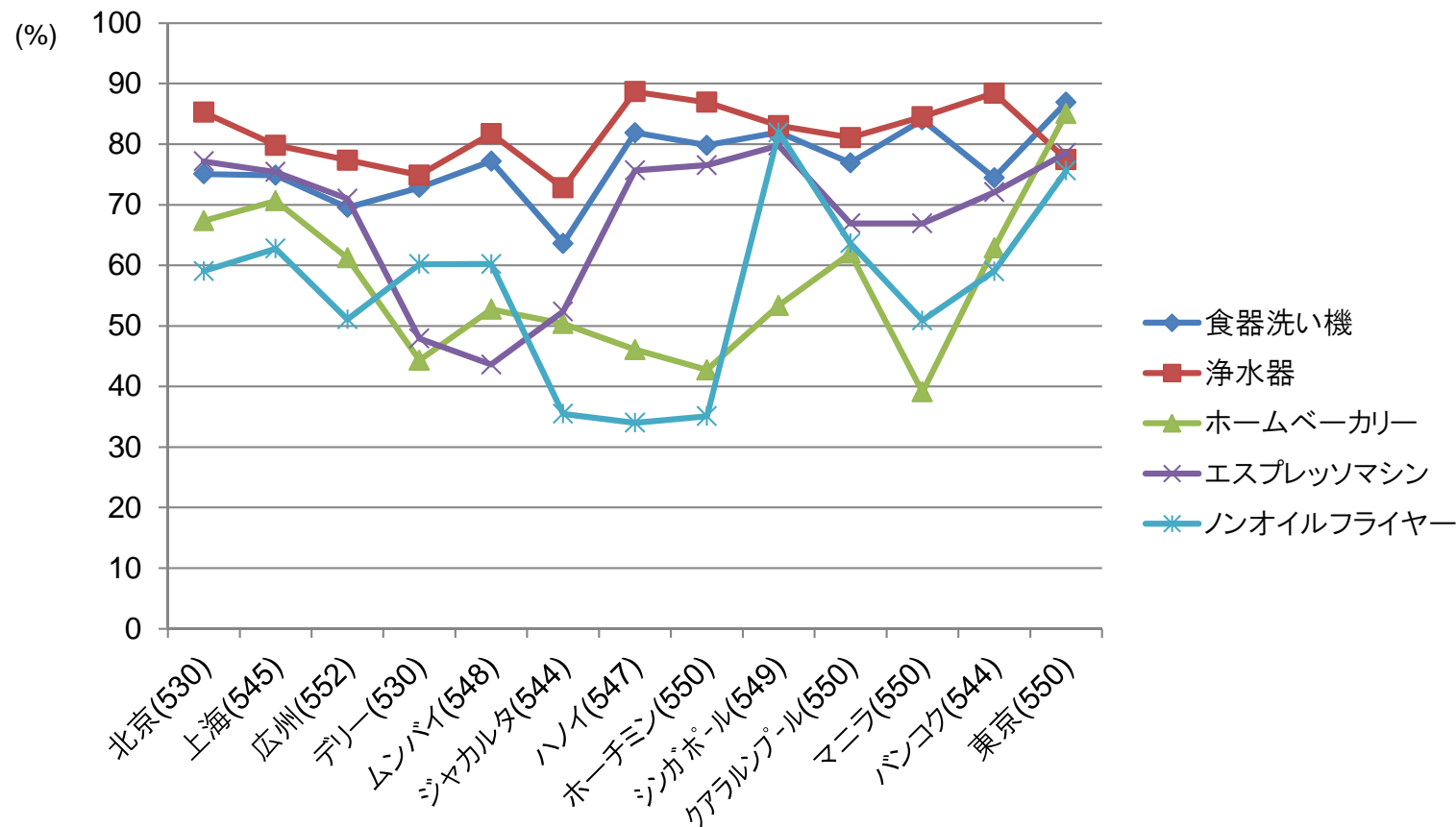
先進的耐久消費財認知率(2/4)

浄水器は、全ての都市で認知率70%以上。

中国3都市では、食器洗い機・エスプレッソマシンの認知率が70%以上。

Q11A 次のうち、あなたがお存じのものをお選びください。

先進的耐久消費財認知率(複数回答)(2/4)



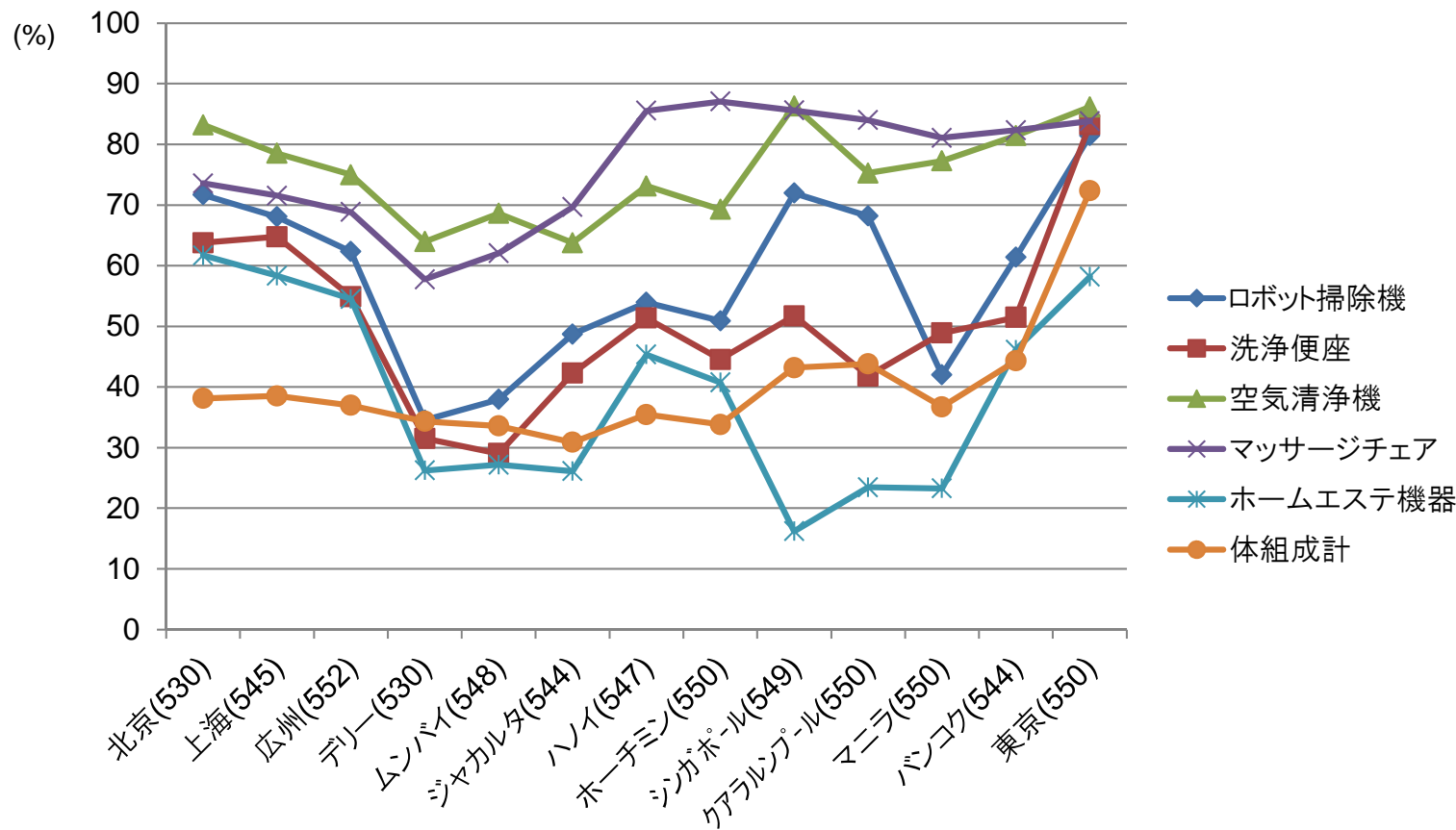
先進的耐久消費財認知率(3/4)

空気清浄機の認知率は、全ての都市で60%以上。

中国3都市・シンガポール・クアラルンプール・バンコク・東京では、ロボット掃除機の認知率が60%以上。

Q11A 次のうち、あなたがお存じのものをお選びください。

先進的耐久消費財認知率(複数回答)(3/4)

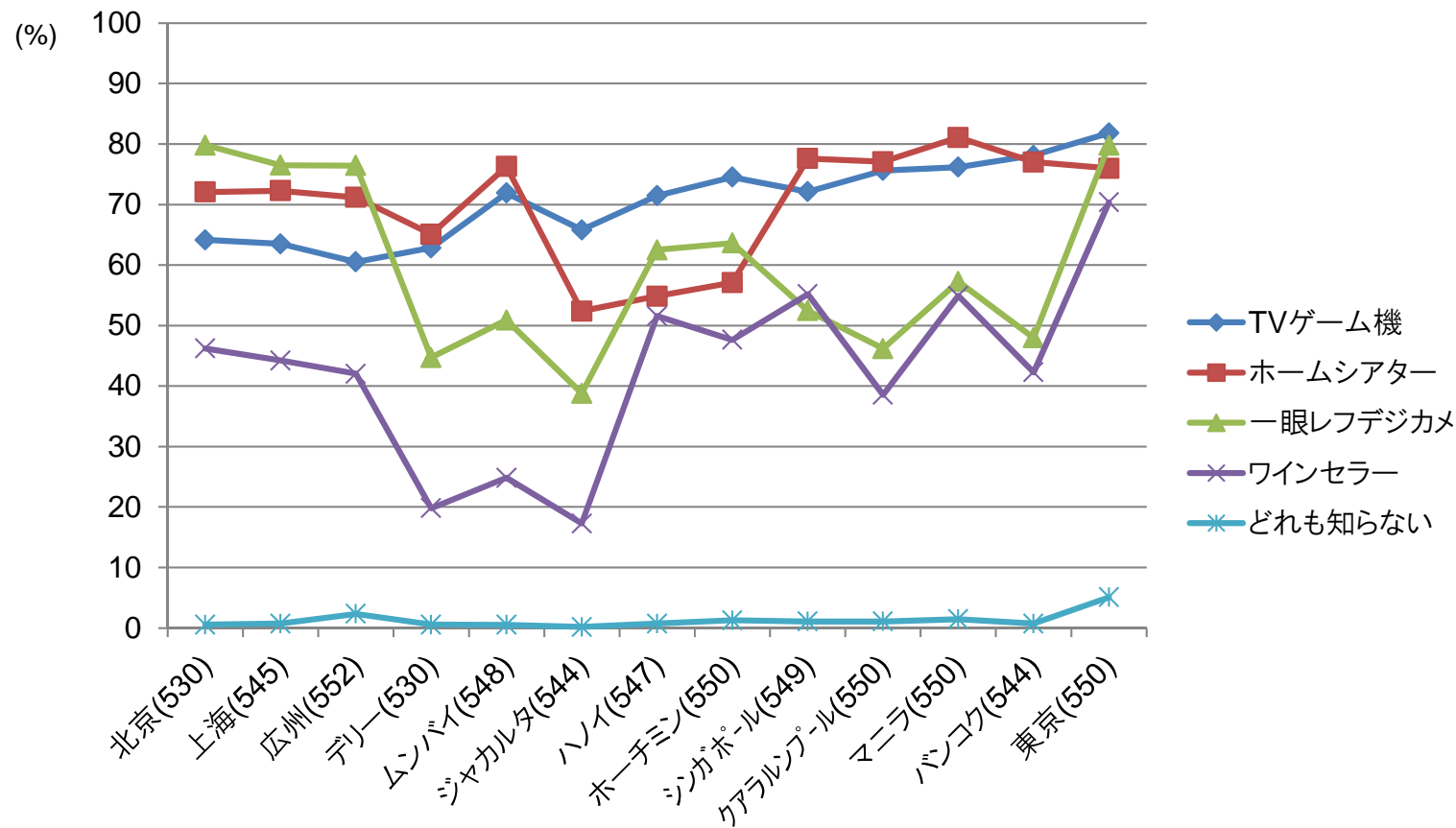


先進的耐久消費財認知率(4/4)

ハノイ・シンガポール・マニラ・東京では、ワインセラーの認知率が50%以上。

Q11A 次のうち、あなたをご存じのものをお選びください。

先進的耐久消費財認知率(複数回答)(4/4)

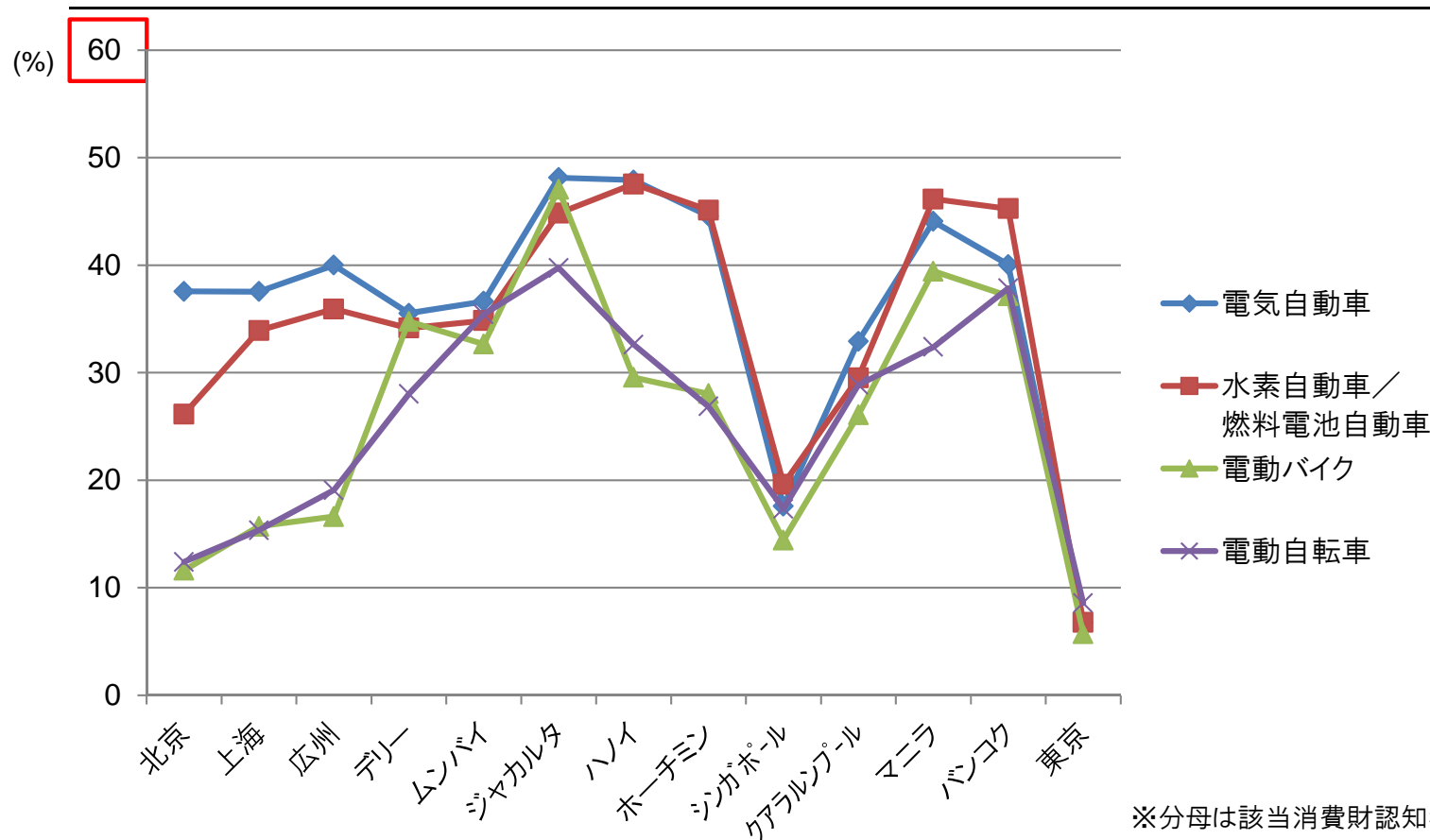


先進的耐久消費財購入希望率(1/4)

ジャカルタ・ベトナム2都市・マニラ・バンコクでは、
新エネルギー自動車認知者の購入意向が高い。

Q11B 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

先進的耐久消費財購入希望率(複数回答)(認知者のみ)(1/4)



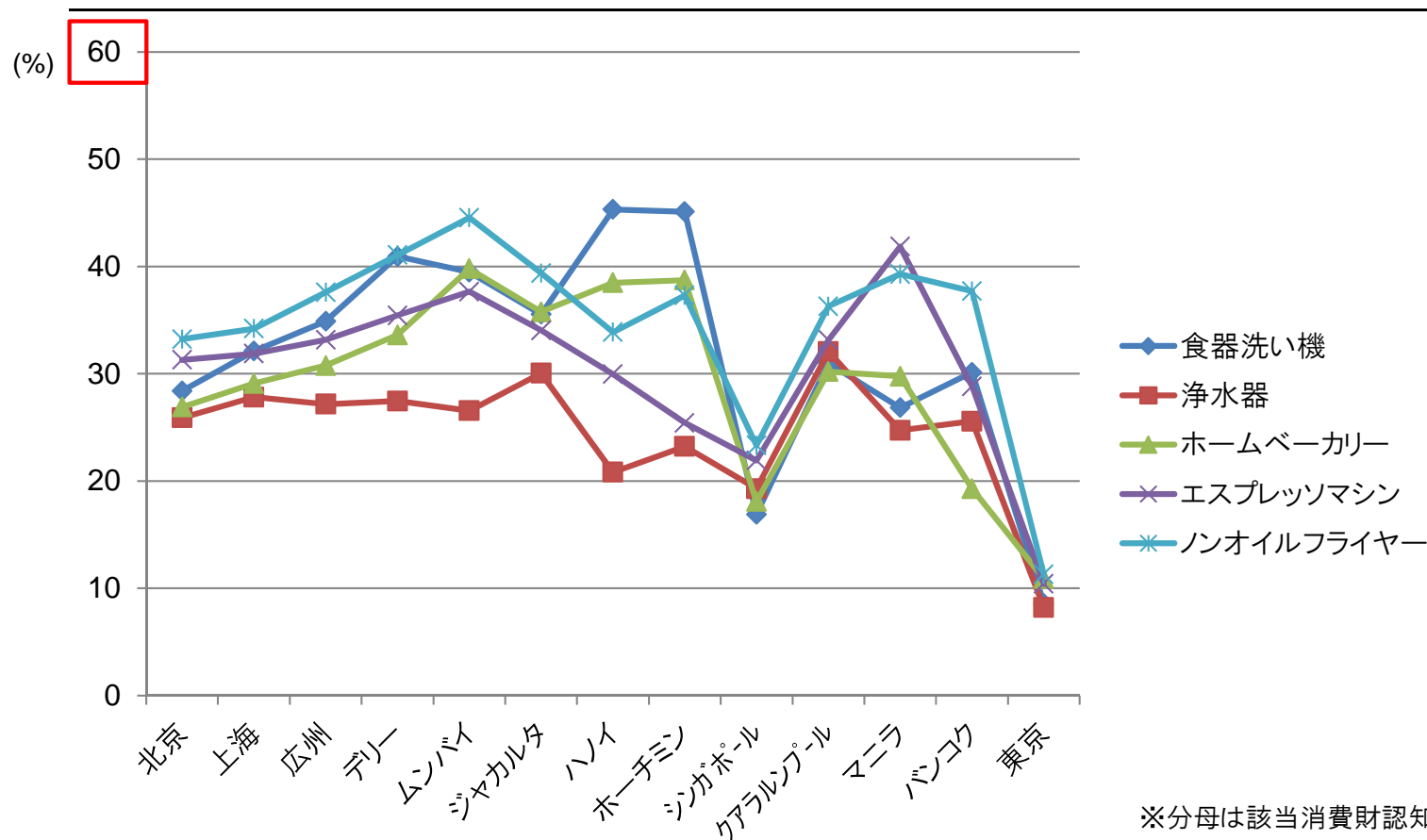
※分母は該当消費財認知者数。サンプル数は190-500s

先進的耐久消費財購入希望率(2/4)

インド2都市・ベトナム2都市では、
食器洗い機認知者の40%以上が3年以内に購入を希望。

Q11B 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

先進的耐久消費財購入希望率(複数回答)(認知者のみ)(2/4)



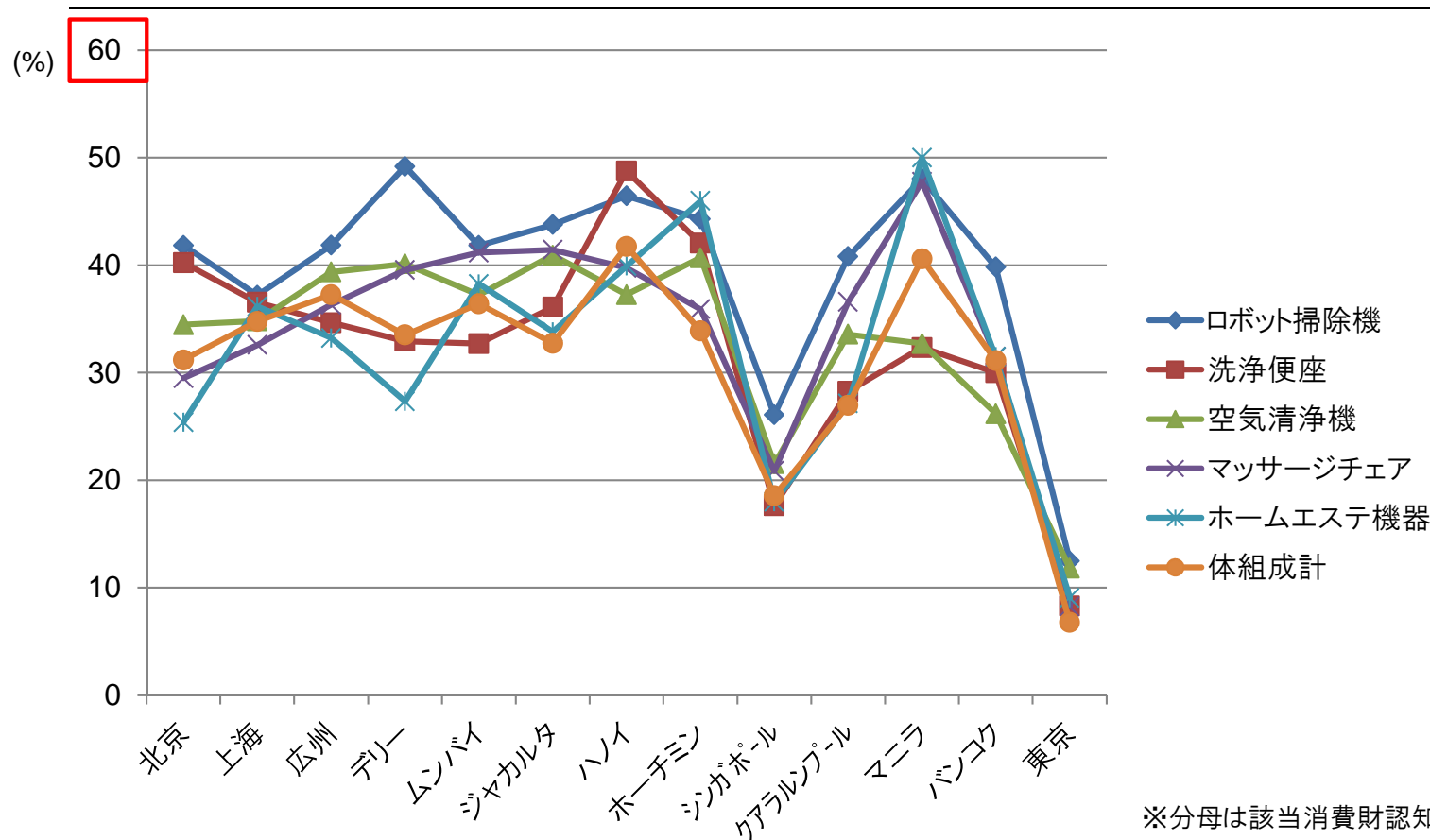
※分母は該当消費財認知者数。サンプル数は80-500。

先進的耐久消費財購入希望率(3/4)

北京・広州・インド2都市・ベトナム2都市・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは、
洗淨便座認知者の40%以上が3年以内に購入を希望。

Q11B 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

先進的耐久消費財購入希望率(複数回答)(認知者のみ)(3/4)



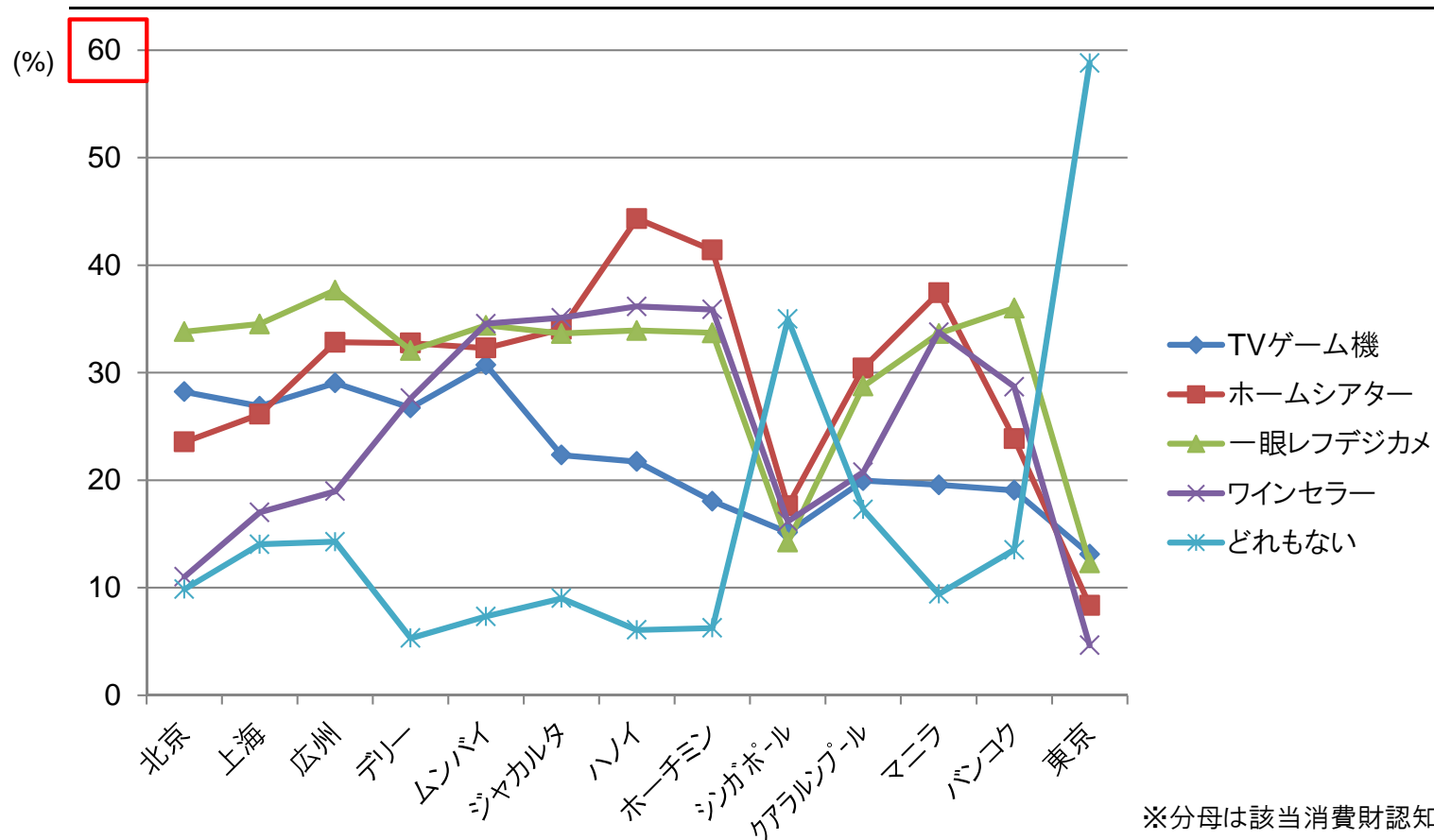
※分母は該当消費財認知者数。サンプル数は80-500。

先進的耐久消費財購入希望率(4/4)

ベトナム2都市では、
ホームシアター認知者の40%以上が3年以内に購入を希望。

Q11B 次のうち、「あなたの世帯に属する方(々)のどなたかが3年以内に購入を希望しているもの(買い替え含む)」をお選びください。

先進的耐久消費財購入希望率(複数回答)(認知者のみ)(4/4)



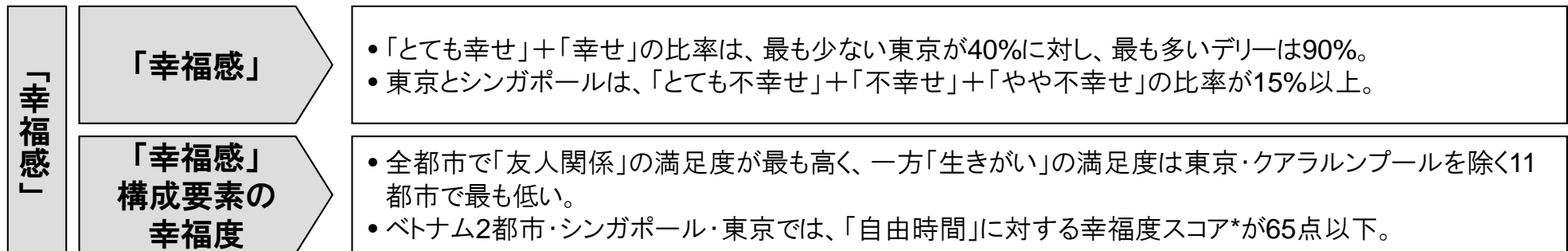
※分母は該当消費財認知者数。サンプル数は80-500。

調査結果(3. 幸福感)

「幸福感」サマリー

東京に比べ、アジア主要都市の中間層は幸福を感じている割合が高い。

「人間関係」に対する満足度は総じて高いが、「生きがい」に対する満足度はさほど高くない。



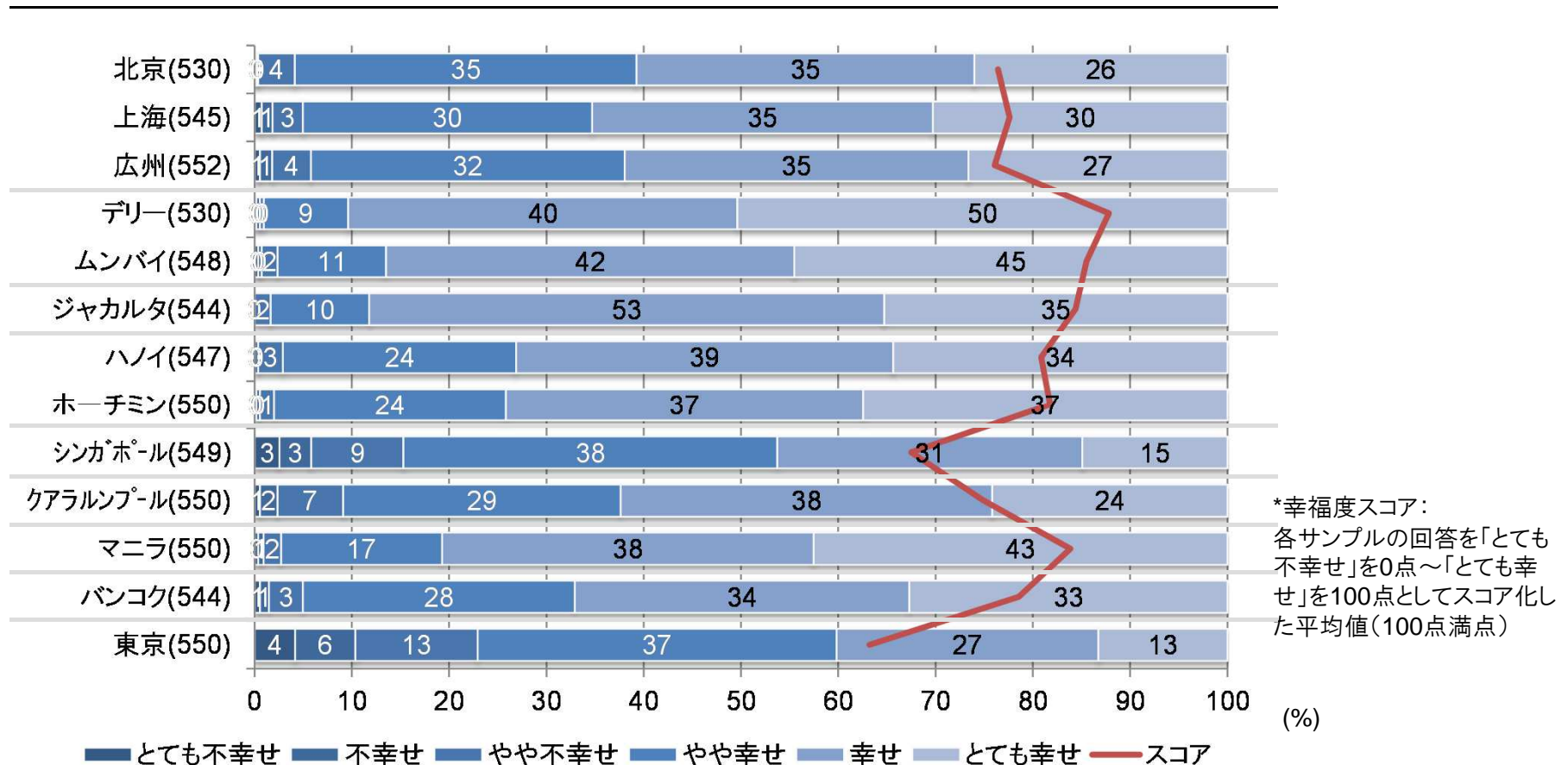
*幸福度スコア：各サンプルの回答を「とても不幸せ」を0点～「とても幸せ」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

幸福感

「とても幸せ」+「幸せ」の比率は、最も少ない東京が40%に対し、最も多いデリーは90%。
東京とシンガポールは、「とても不幸せ」+「不幸せ」+「やや不幸せ」の比率が15%以上。

Q14 現在、あなた自身はどの程度幸せですか。

幸福度スコア*

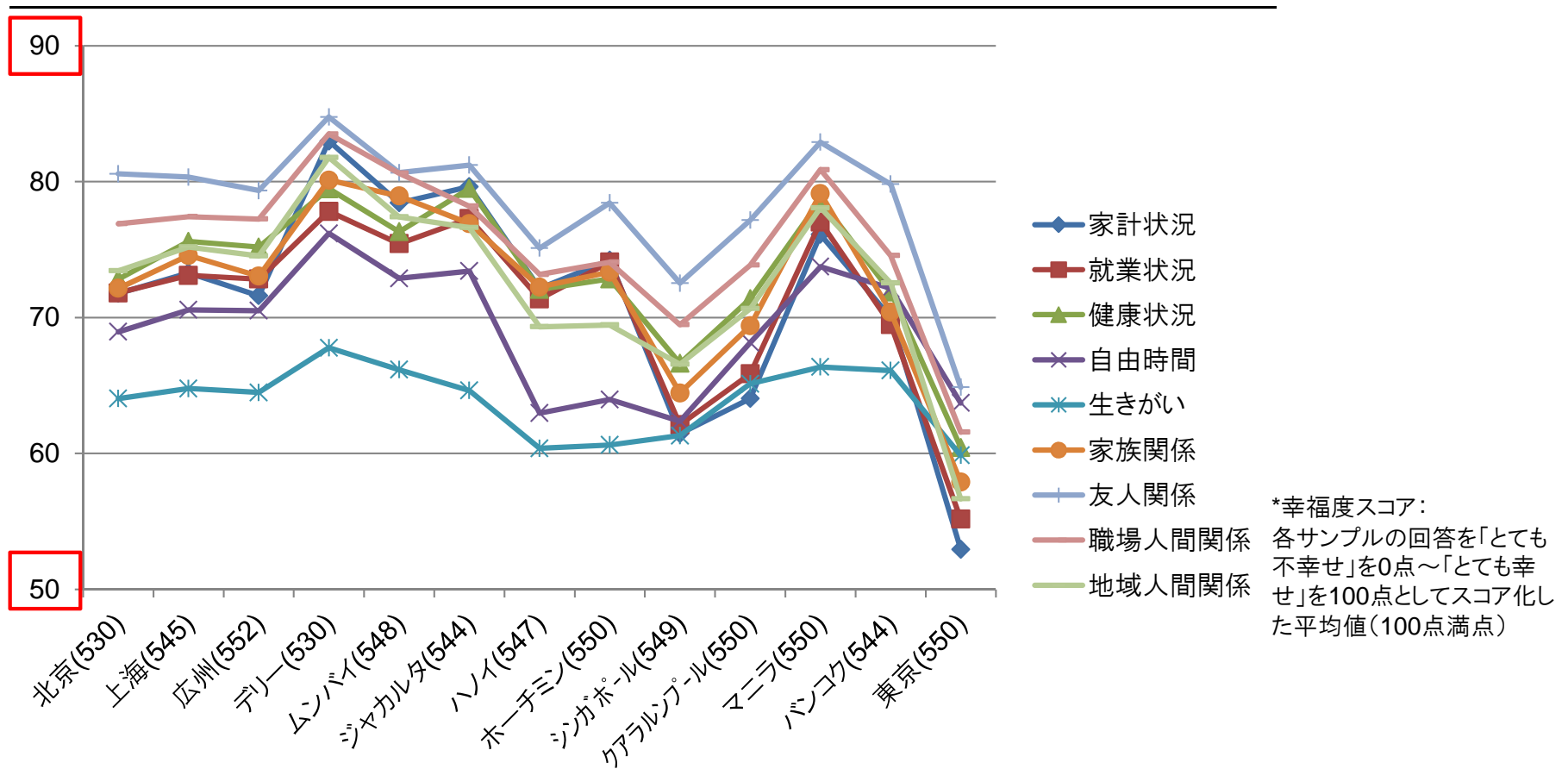


幸福感構成要素の幸福感

全都市で「友人関係」の満足度が最も高く、一方「生きがい」の満足度は東京・クアラルンプールを除く11都市で最も低い。ベトナム2都市・シンガポール・東京では、「自由時間」に対する幸福度スコア*が65点以下。

Q15 現在、以下の項目について、あなた自身はどの程度幸せですか。

幸福感構成要素の幸福度スコア*(複数回答)



調査結果(4. ヘルスケア)

「ヘルスケア」サマリー

将来の生活習慣病発症への不安および生活習慣改善の必要性を認識する割合は東京より高い。
 実行中、または希望する親の介護方法は、東京と異なり「自宅で家族での介護」が主流。

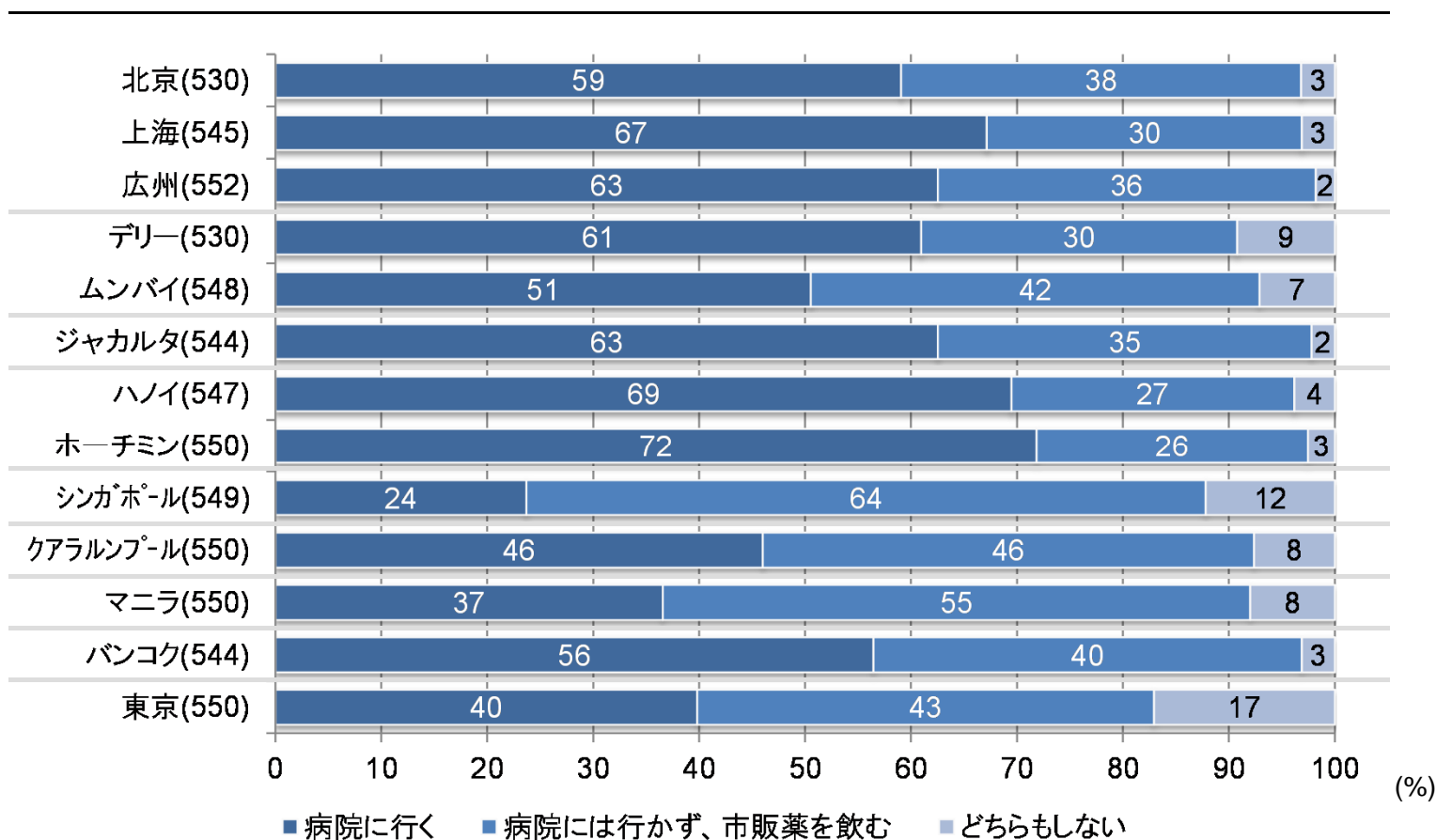
医療	病院受診時 情報収集行動	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム2都市では、病院情報・症状・治療方法について40%前後が病院受診前に「必ず調べる」。 インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプールでは、30%前後が病院受診前に「何も調べず行く」。
	情報収集先	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム2都市では、「薬剤の種類」・「特定診療科／専門医の所在」に関する事前情報収集先として、「医師・医療従事者」が「インターネット」を上回る。
健康	生活習慣病への 不安・改善認識	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活習慣病発症への不安を「非常に感じる」+「感じる」割合が、東京では60%に対し、中国3都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラでは90%前後。 生活習慣改善必要性を「非常に感じる」+「感じる」割合が、東京・バンコク以外の11都市では70%以上。
	健康のための 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「現在実施中」が最も高いのは、ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・東京では「移動は徒歩で」、インド2都市・ジャカルタでは「健康食品」、中国3都市では「長めの睡眠」、ハノイ・マニラ・バンコクでは「ストレス発散」。
介護	希望する 親の介護方法	<ul style="list-style-type: none"> 東京では、「家で家族で介護」が28%に対し、北京・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラでは60%以上。 家族で介護不可能と仮定した場合、「親の家へ介護サービス派遣」がバンコク・ハノイ・マニラで75%以上。

体調不良時の行動

体調不良を感じた際、シンガポール・クアラルンプール・マニラ・東京では、病院受診よりも市販薬に頼る割合が高い。

Q16 体調が悪いと感じたときのあなたの行動に最も近いものをひとつだけお選びください。

体調不良時の行動

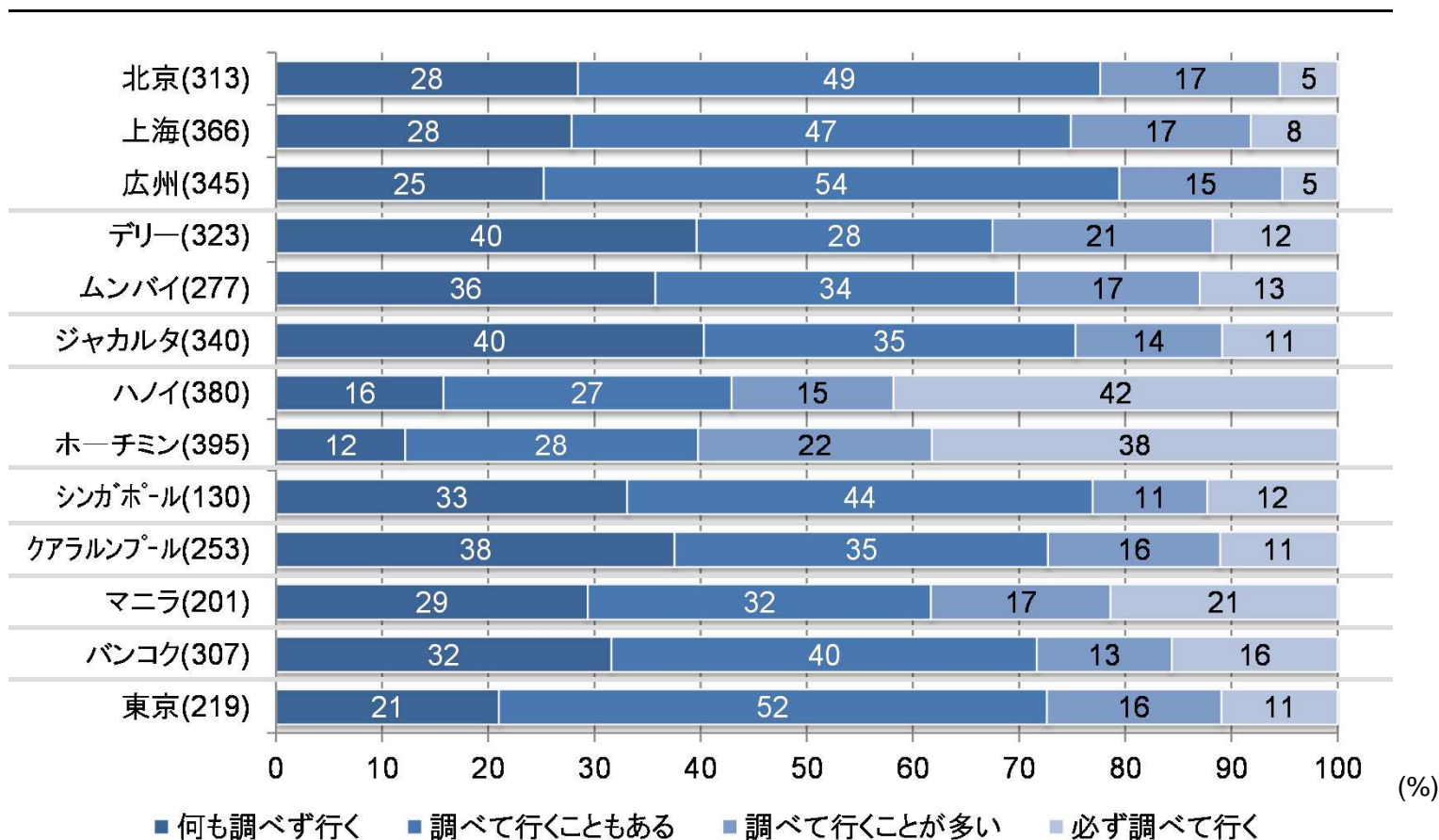


病院受診時の情報収集行動

ベトナム2都市では、病院情報・症状・治療方法について40%前後が病院受診前に「必ず調べる」。
インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプールでは、40%前後が病院受診前に「何も調べず行く」。

Q17 あなたが病院に行くことになった場合、あなた自身で事前に病院・医師の情報やご自身の症状、治療方法について情報収集をしますか。

病院受診時の情報収集行動

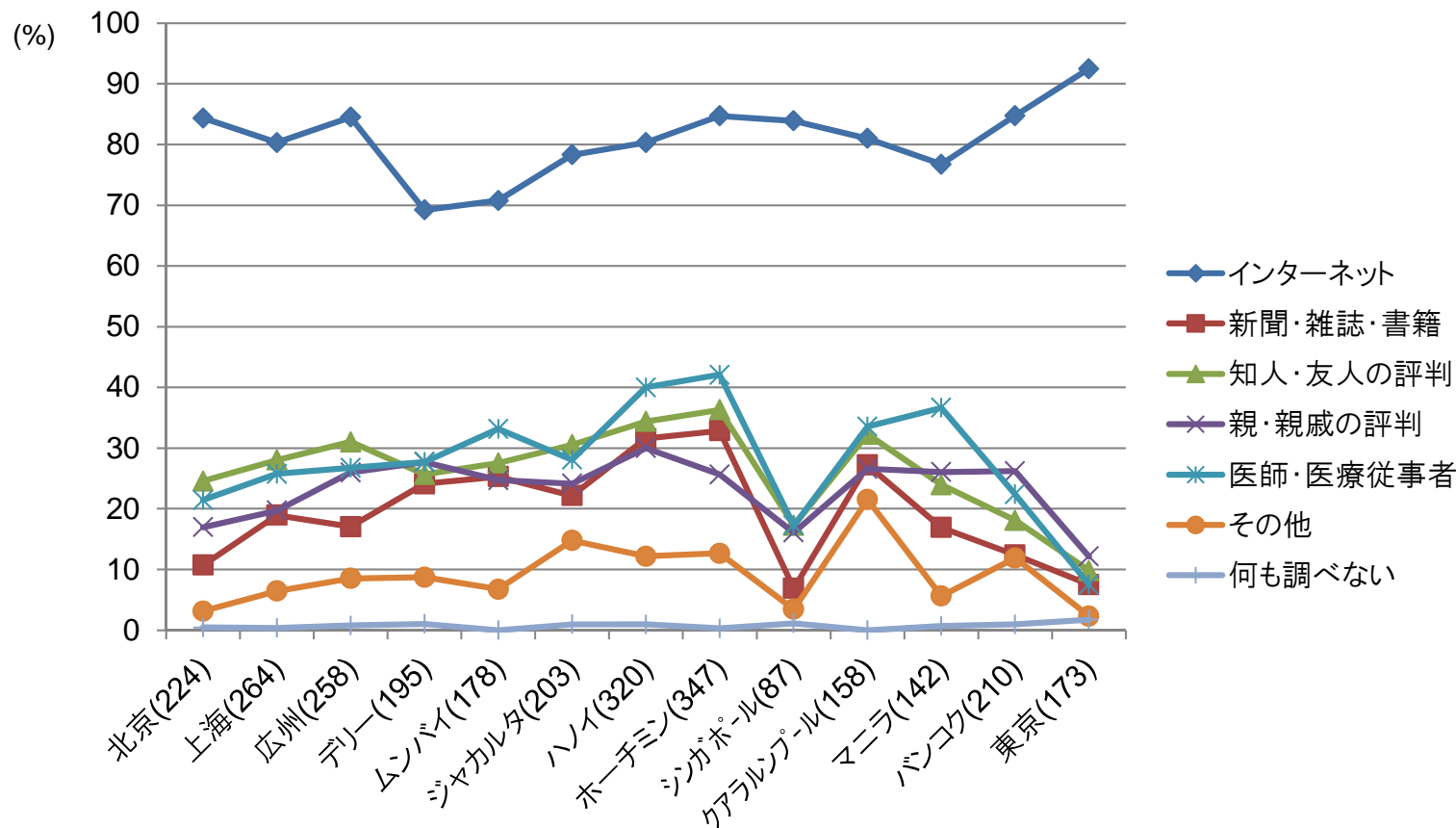


医療サービス情報収集先(症状)

症状に関する事前情報収集先は、全都市で圧倒的に「インターネット」が多い。
ベトナム2都市では、40%以上が「医療・医療従事者」も利用。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(1.症状)

医療サービス情報収集先(症状)(複数回答)(「何も調べない」以外)

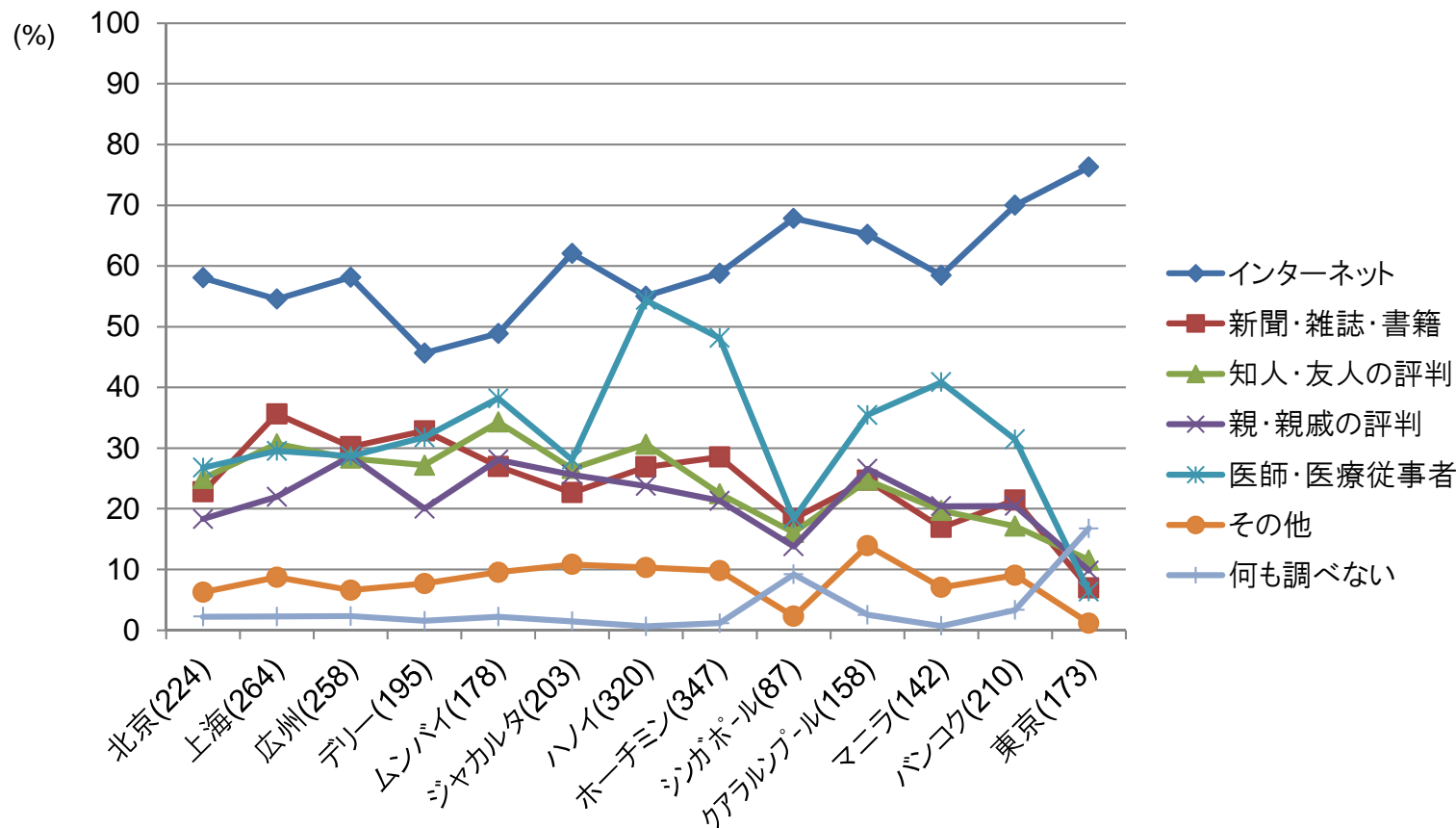


医療サービス情報収集先(治療方法の種類)

治療方法に関する事前情報収集先は、全都市で「インターネット」が最も多い。
ベトナム2都市・マニラでは、40%以上が「医療・医療従事者」も利用。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(2.治療方法の種類)

医療サービス情報収集先(治療方法の種類)(複数回答)(「何も調べず行く」以外)

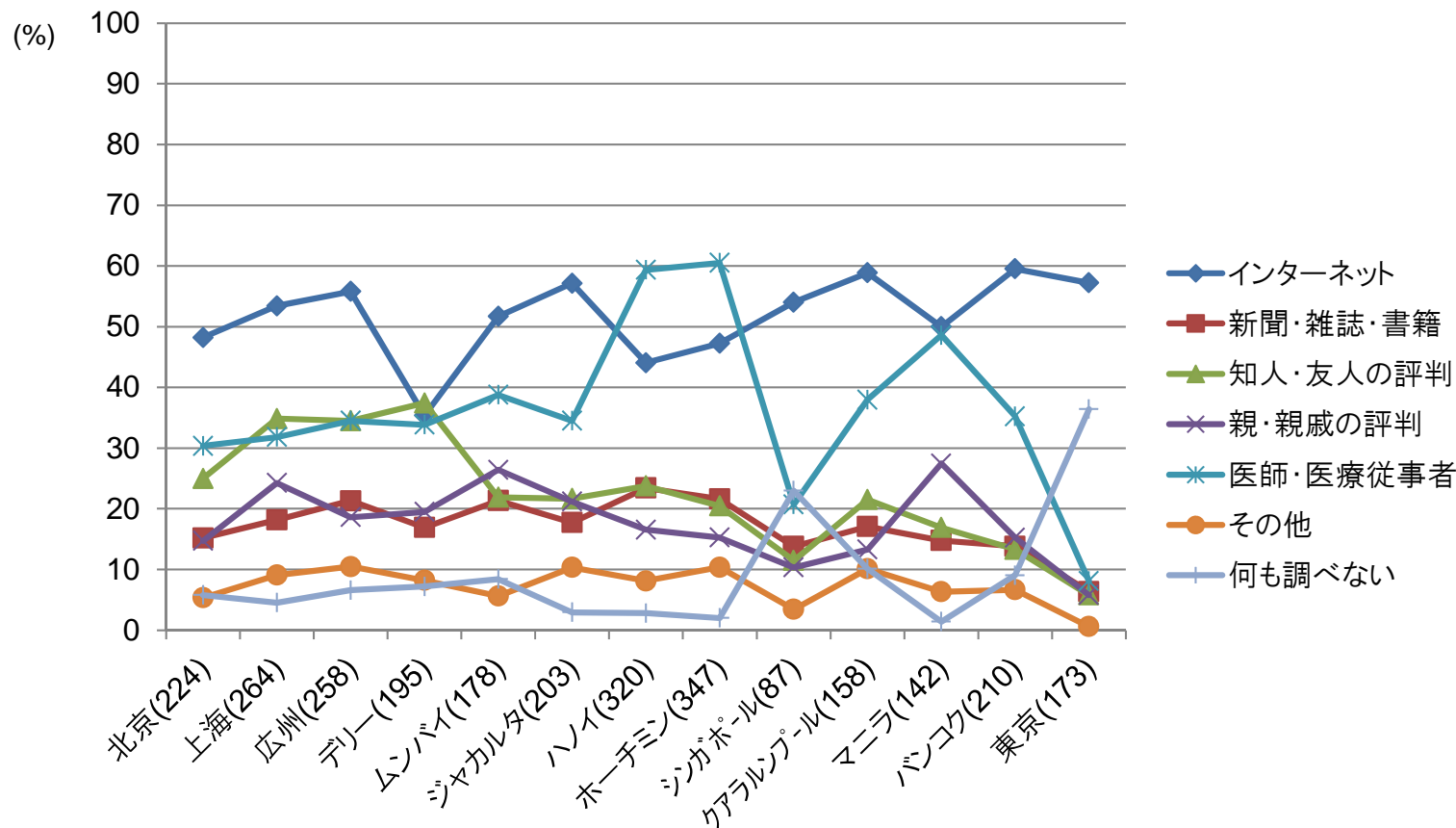


医療サービス情報収集先(薬剤の種類)

薬の種類に関する事前情報収集先は、デリー・ベトナム2都市を除く11都市で「インターネット」が最も多く、ベトナム2都市では「医療・医療従事者」が、デリーでは「知人・友人の評判」が最も多い。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(3.薬剤の種類)

医療サービス情報収集先(薬剤の種類)(複数回答)(「何も調べず行く」以外)

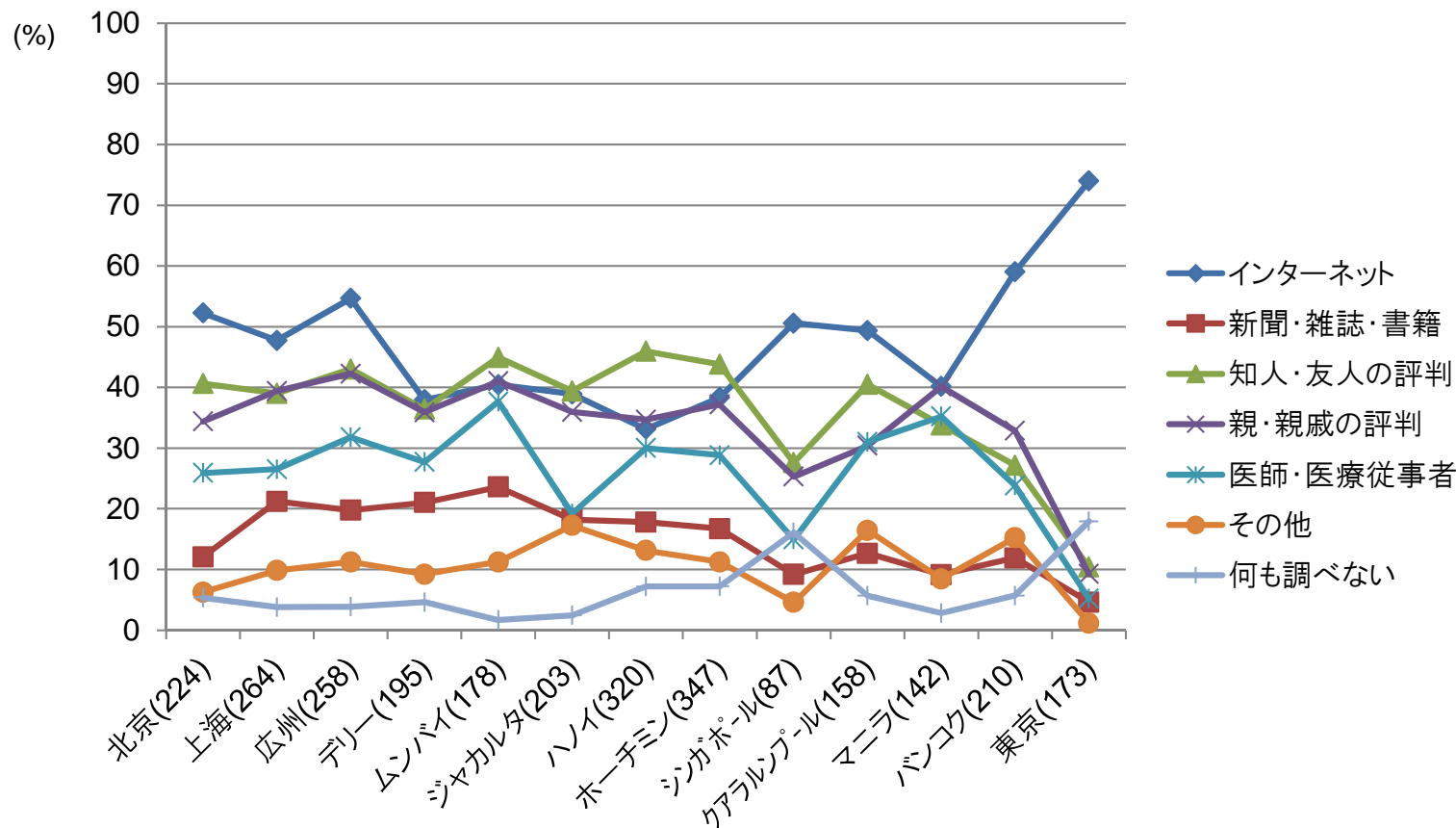


医療サービス情報収集先(病院・医師の評判)

病院・医師の評判に関する事前情報収集先は、ムンバイ・ジャカルタ・ベトナム2都市では「知人・友人の評判」が、その他9都市では「インターネット」が最も多い。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(4.病院・医師に対する口コミ)

医療サービス情報収集先(病院・医師の評判)(複数回答)(「何も調べず行く」以外)

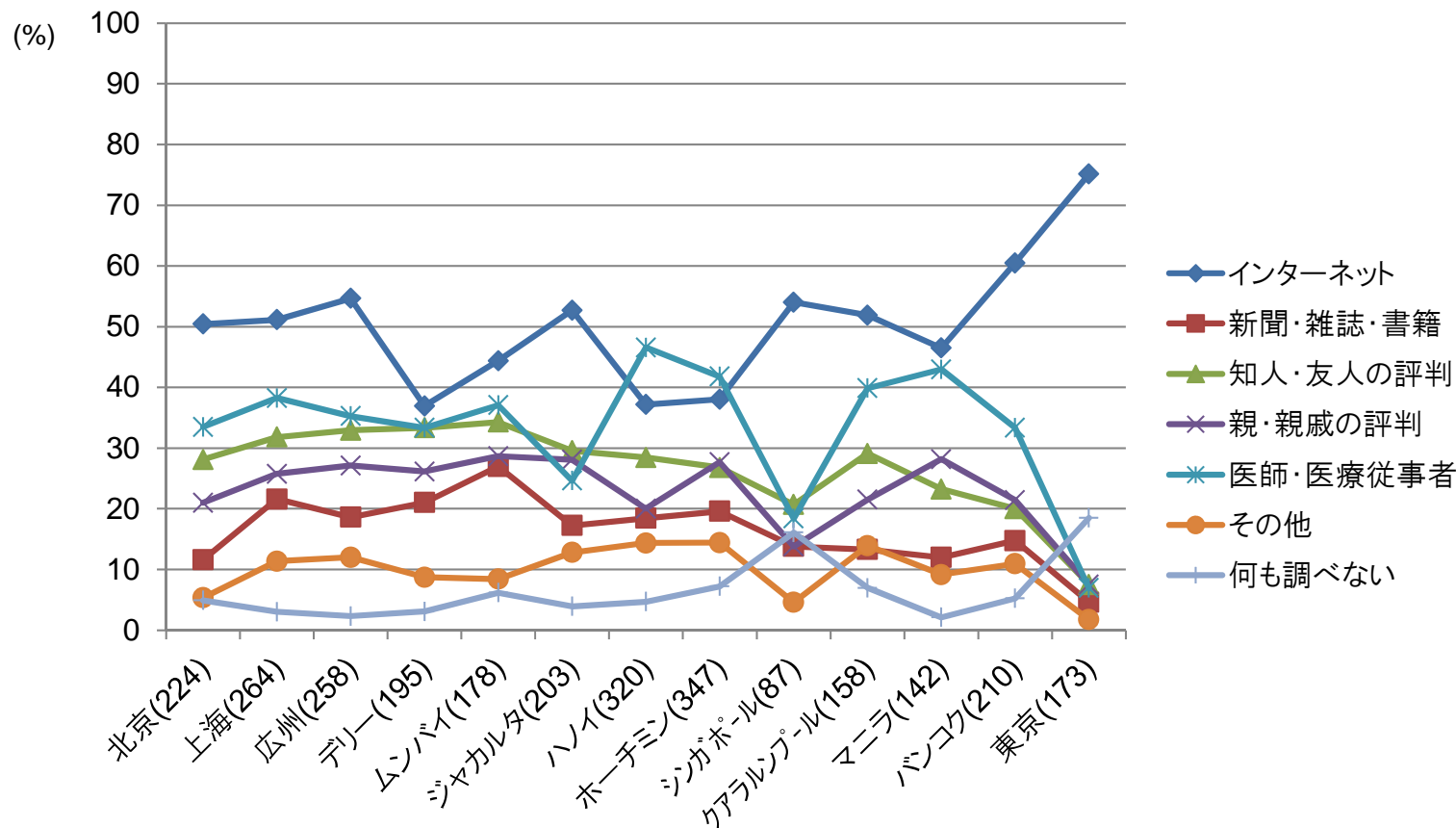


医療サービス情報収集先(病院での特定診療科/専門医の所在)

病院での特定診療科/専門医の所在に関する事前情報収集先は、ベトナム2都市では「医療・医療従事者」が、その他11都市では「インターネット」が最も多い。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(5.病院での特定診療科/専門医の所在)

医療サービス情報収集先(診療科・専門医の所在)(複数回答)(「何も調べない」以外)

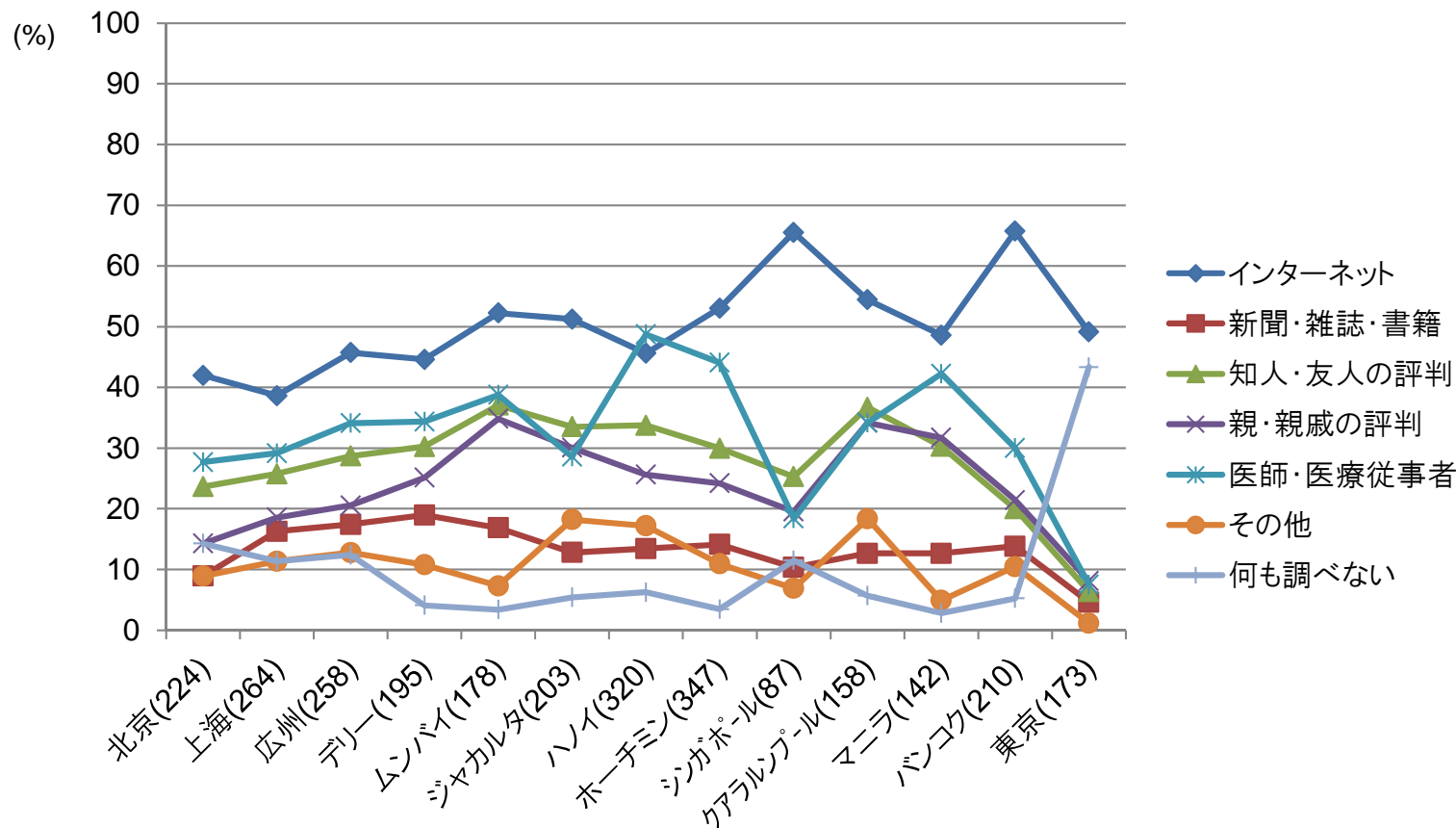


医療サービス情報収集先(治療にかかる費用)

治療にかかる費用に関する事前情報収集先は、ハノイでは「医療・医療従事者」が、その他12都市では「インターネット」が最も多い。

Q18 あなたは病院に行く前の事前情報を何から収集しますか。(6.治療にかかる費用)

医療サービス情報収集先(治療にかかる費用)(複数回答)(「何も調べず行く」以外)

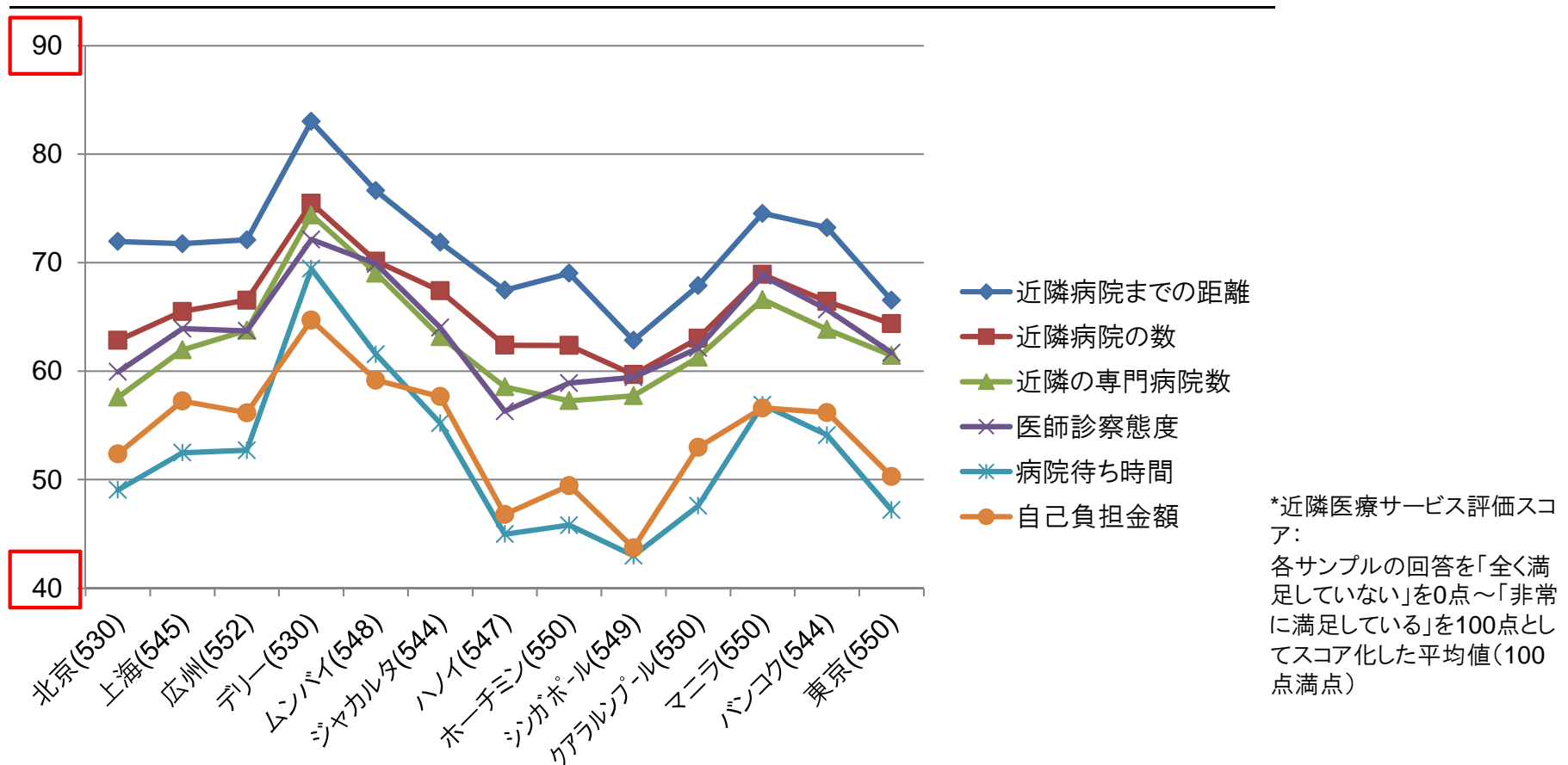


近隣医療サービス評価

「自己負担金額」と「病院の待ち時間」に対する評価スコアが最も低い。
都市別では、ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプールの評価スコアが、他都市に比べ低い。

Q19 ご自宅近隣の病院やそれらで受ける医療サービスに関して、どのように感じていらっしゃいますか。

近隣医療サービス評価スコア*(複数回答)

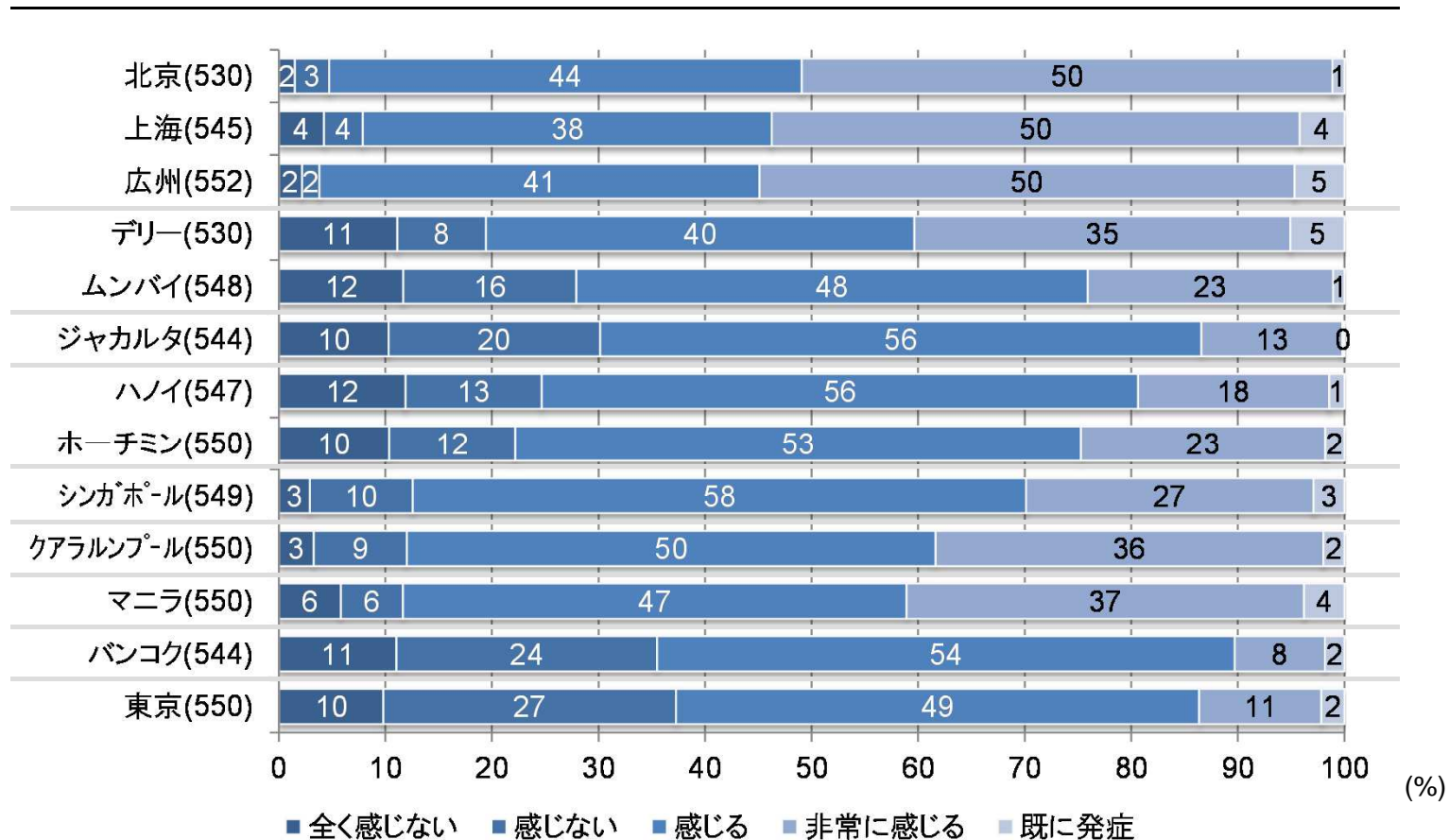


生活習慣病発症への不安

将来の生活習慣病発症への不安を「非常に感じる」+「感じる」割合が、東京では60%に対し、中国3都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラでは90%前後。

Q20 あなたは、将来的に生活習慣病を発症することに不安を感じていますか。

生活習慣病発症への不安

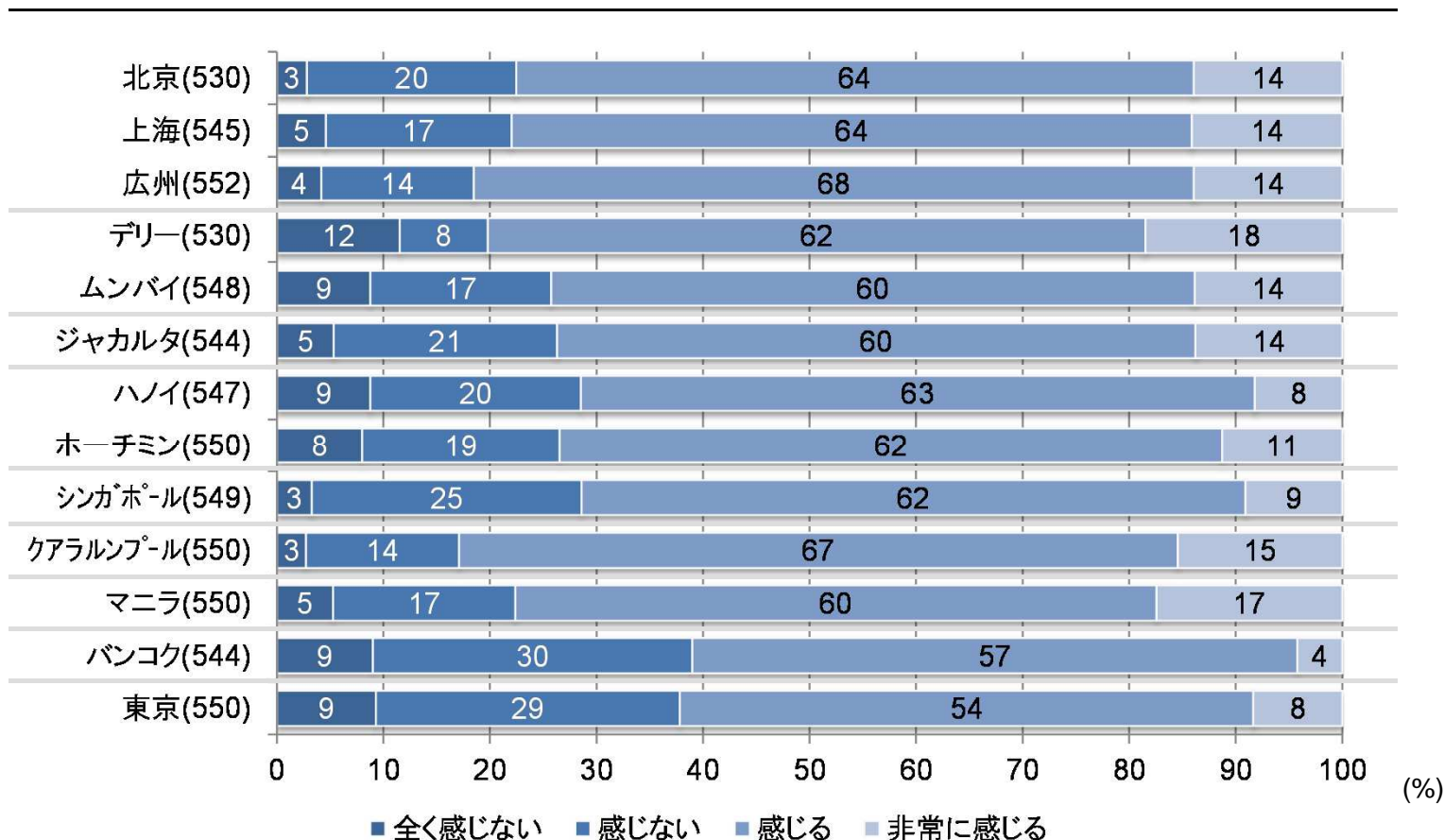


生活習慣改善の必要性認識

生活習慣改善必要性を「非常に感じる」+「感じる」割合が、
東京・バンコク以外の11都市では70%以上。

Q21 あなたは、生活習慣を変える必要があると感じていますか。

生活習慣改善の必要性認識

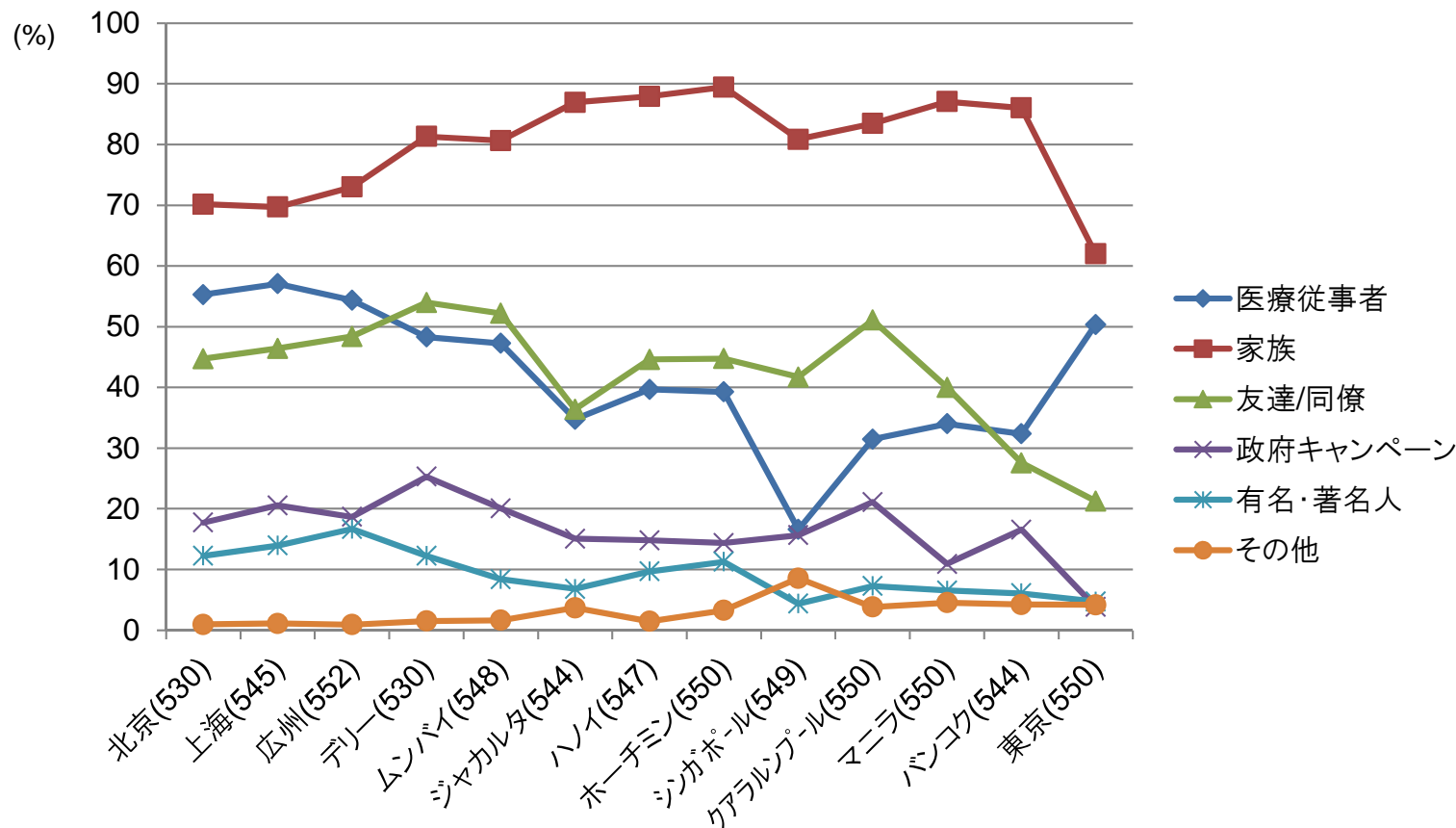


生活習慣改善の決断への影響者

全ての都市で、生活習慣改善への決断に対し最も影響力が強いのは「家族」。
中国3都市・インド2都市・東京以外の7都市では、「医療従事者」が決断に影響を及ぼす割合が40%以下。

Q22 あなたが生活習慣を改善しようと決断する場合、その決断に強く影響を及ぼすのは誰ですか。

生活習慣改善の決断への影響者(複数回答)

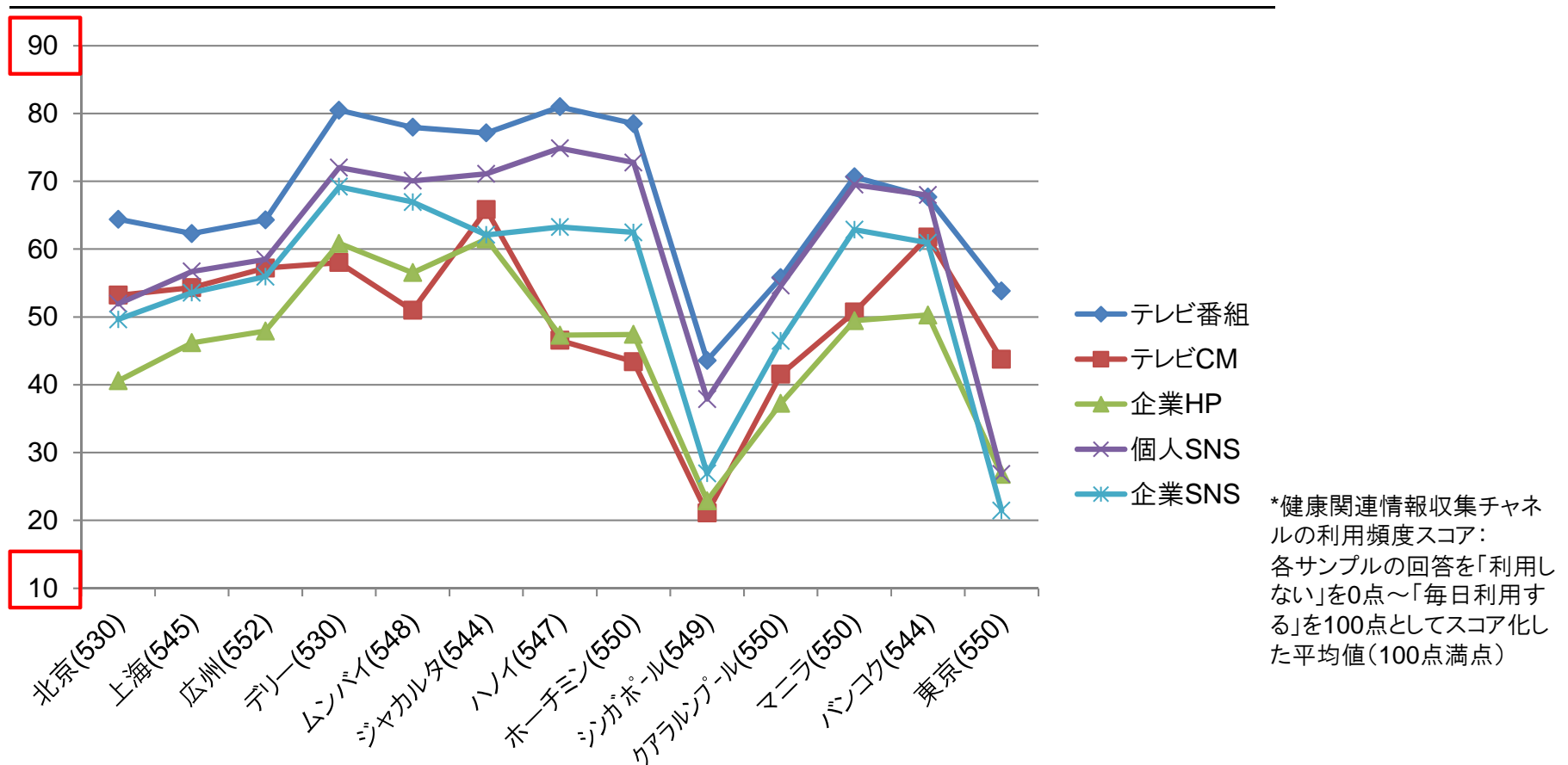


健康関連情報収集チャネルの利用頻度(1/2)

健康関連情報収集チャネルとして利用頻度が高いのは「テレビ番組」で、シンガポール・クアラルンプール・バンコクでは2位、それ以外の10都市では1位。「個人SNS」も利用頻度が高く、バンコクでは利用頻度1位。

Q23 あなたは健康に関連する情報を何からどのくらいの頻度で収集しますか。

健康関連情報収集チャネルの利用頻度スコア*(複数回答)(1/2)

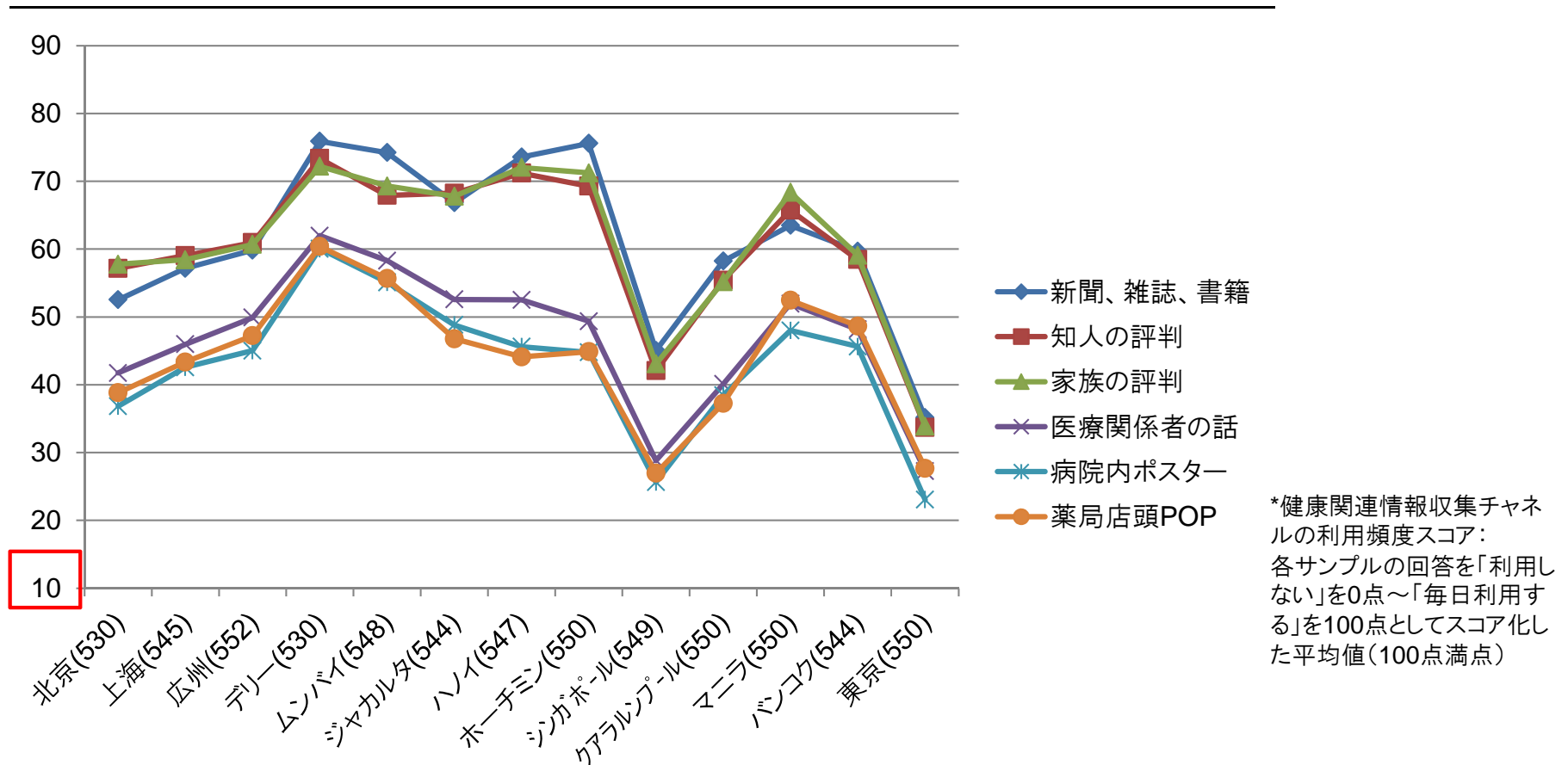


健康関連情報収集チャネルの利用頻度(2/2)

シンガポール・クアラルンプールでは「新聞、雑誌、書籍」の利用頻度が最も高い。
多くの都市で「知人の評判」「家族の評判」も頻度高く利用されている。

Q23 あなたは健康に関連する情報を何からどのくらいの頻度で収集しますか。

健康関連情報収集チャネルの利用頻度スコア*(複数回答)(2/2)

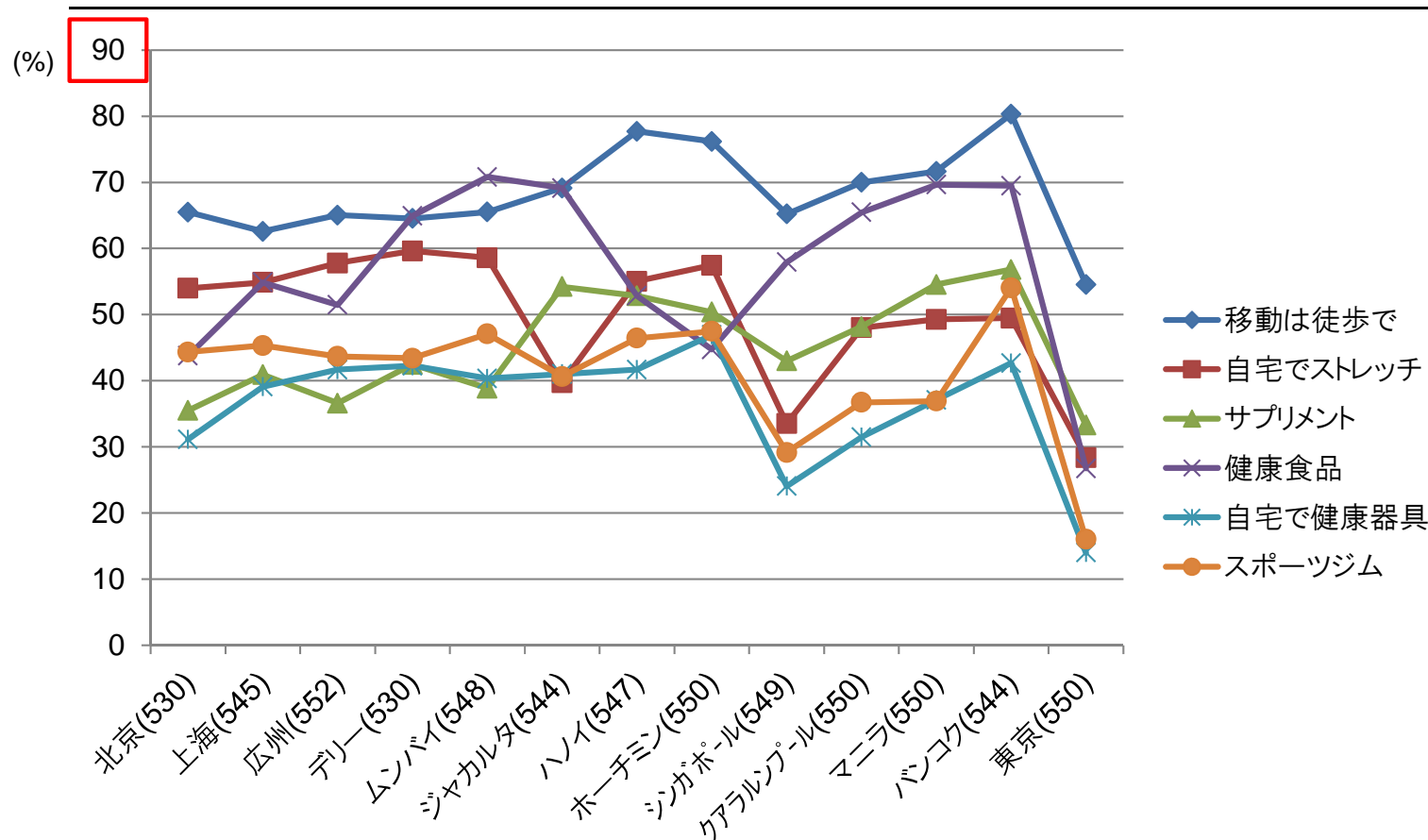


健康のための取り組み(1/2)

ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・東京では「移動は徒歩で」が、インド2都市・ジャカルタでは「健康食品」が、「現在実施中」である健康のための取り組みとして最も割合が高い。

Q24 あなたが行っている健康のための取り組みについて、あてはまるものをお選びください。

健康のための取り組みを「現在実施中」の割合(複数回答)(1/2)

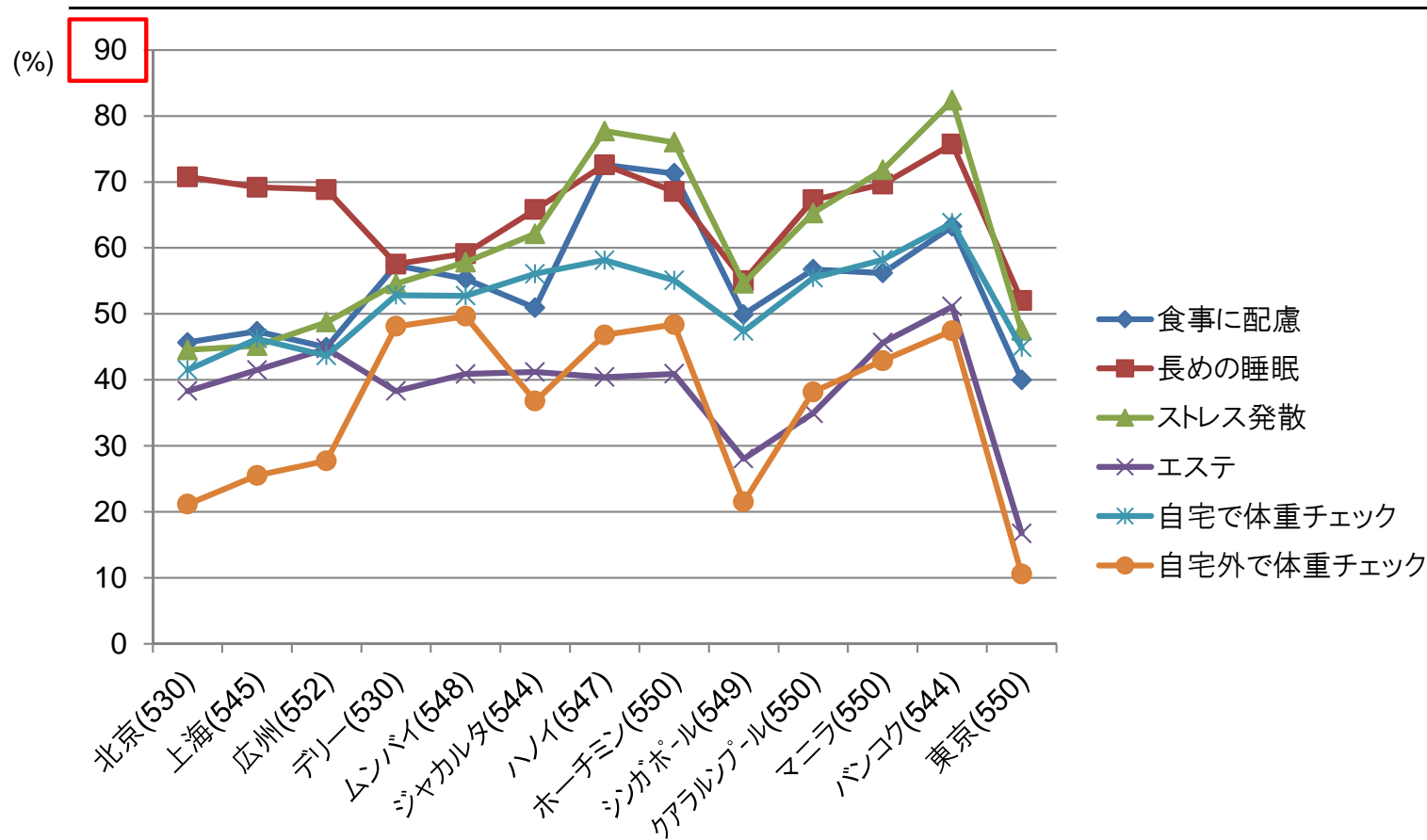


健康のための取り組み(2/2)

中国3都市では「長めの睡眠」が、ハノイ・マニラ・バンコクでは「ストレス発散」が、「現在実施中」である健康のための取り組みとして最も割合が高い。

Q24 あなたが行っている健康のための取り組みについて、あてはまるものをお選びください。

健康のための取り組みを「現在実施中」の割合(複数回答)(2/2)

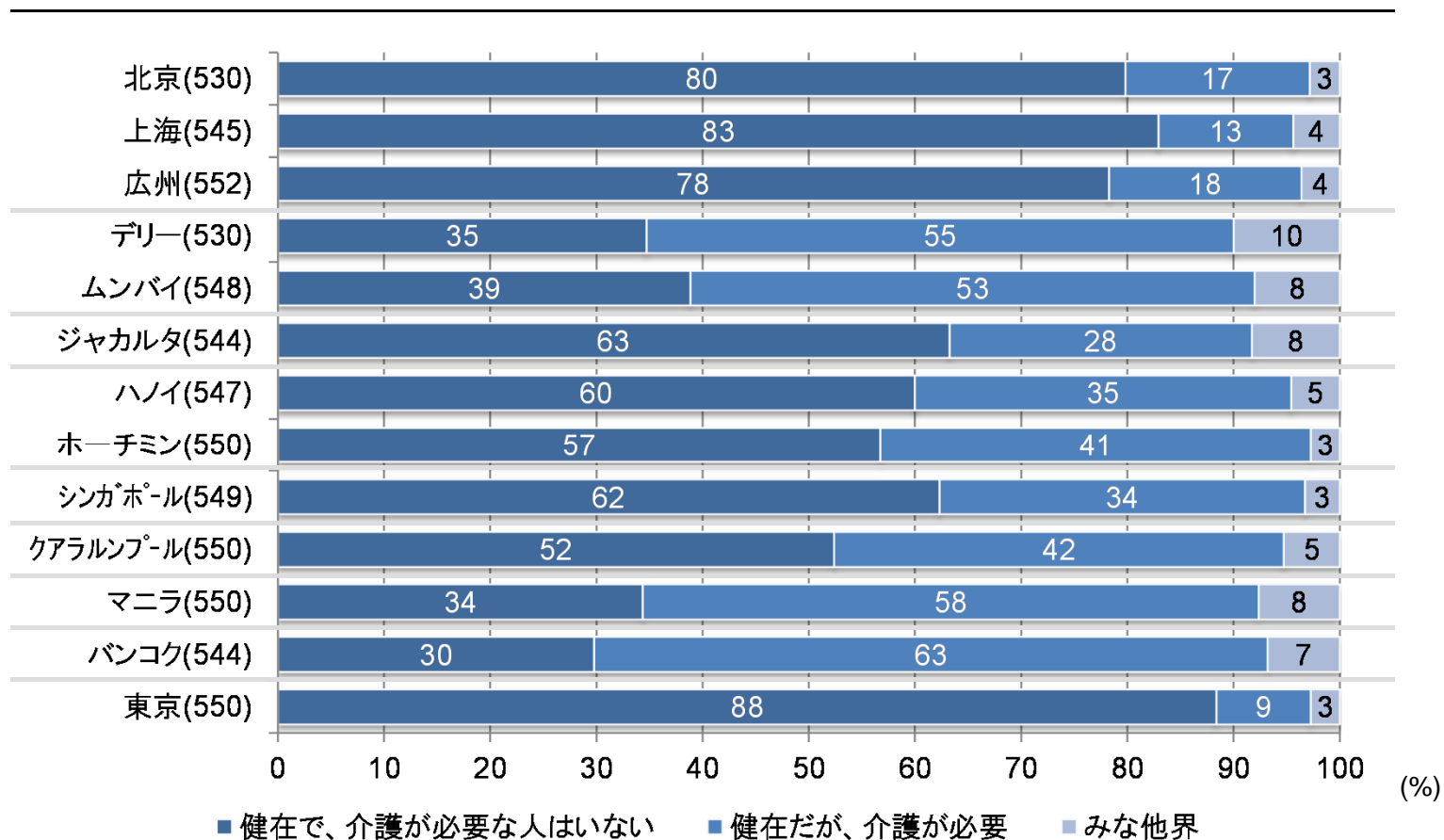


親の要介護状況

「親に対して介護が必要」と感じる割合は、東京が9%に対し、
インド2都市・マニラ・バンコクでは50%を超える。

Q25 あなたのご両親(義理の親を含む)の状況について教えてください。

親の要介護状況



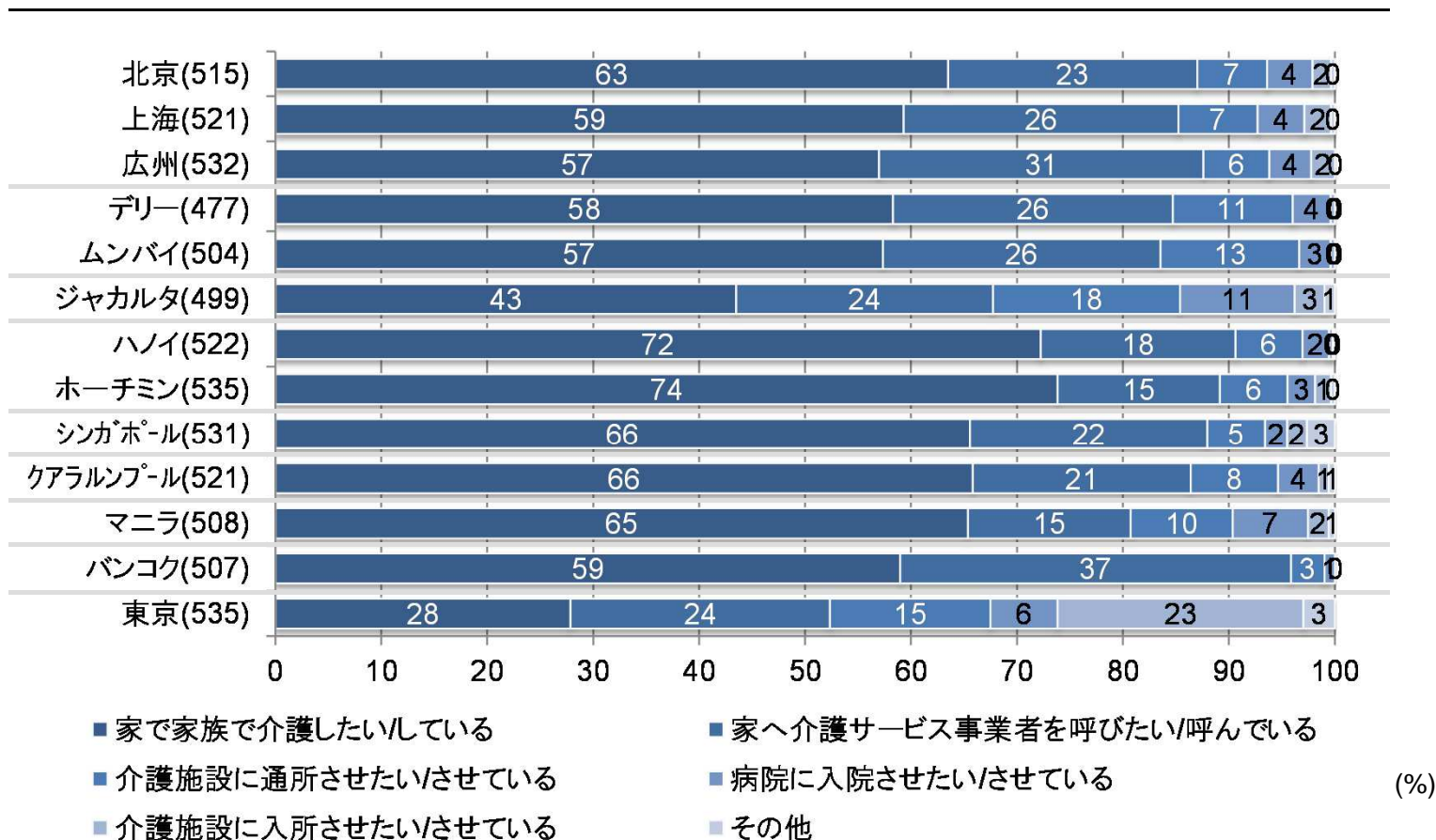
実施している(または希望する)親の介護方法

最も実施率／実施意向が高いのは、「家で家族で介護」。

東京ではその割合が28%に対し、北京・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラでは60%以上。

Q26 あなたは、あなたの親(義理の親を含む)に介護が必要になった場合に、どのように介護したいと思いますか。

実施している／希望する親の介護方法(「親が健在」のみ)

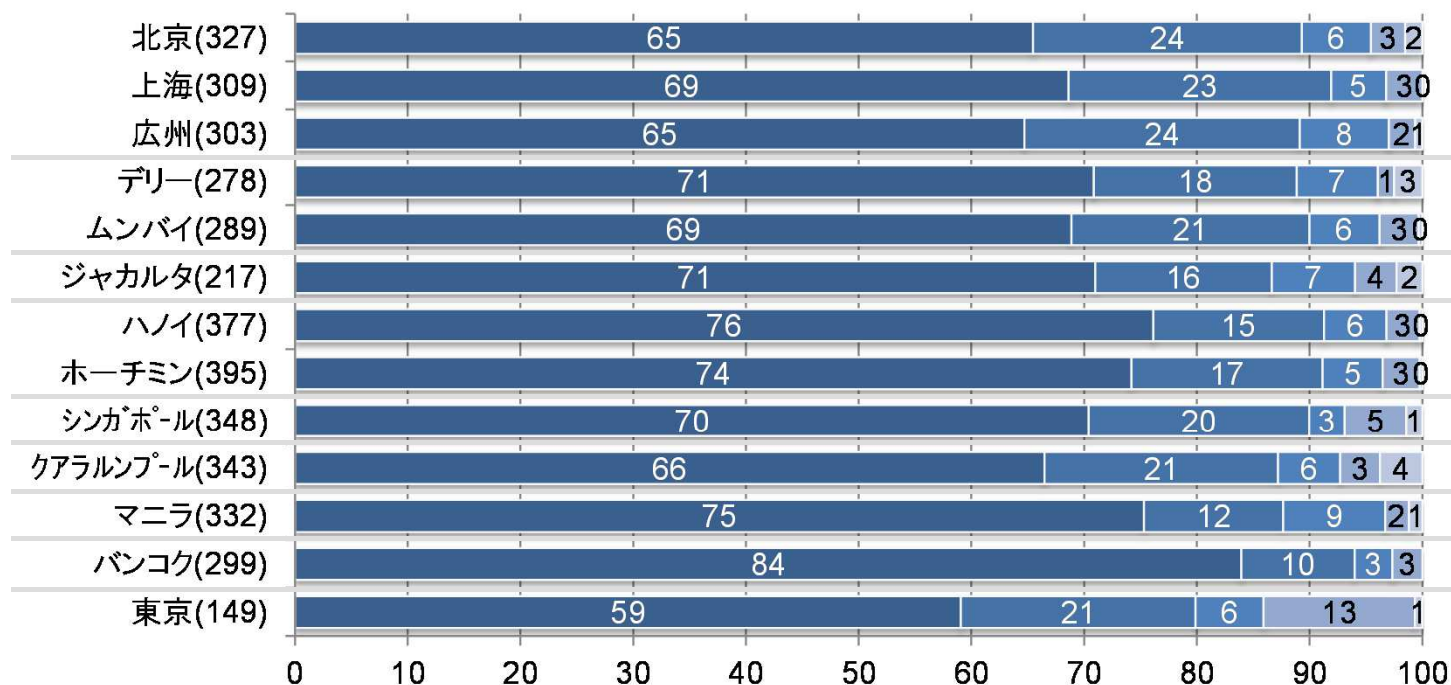


家族で介護できない場合に希望する親の介護方法

家族で介護できないと仮定した場合、全都市とも「親の家へ介護サービス事業者を呼ぶ」が最も意向が高く、バンコク・ハノイ・マニラでは75%以上。

Q27 あなたやあなたの家族が、あなたの親(義理の親を含む)と離れて住んでおり、家族の誰も両親の介護ができない場合に、どのように介護したいと思いますか。

家族で介護できない場合に希望する親の介護方法(「家で家族で介護したい/している」のみ)



- 親の家へ介護サービス事業者を呼びたい
- 親の家の近くの介護施設に通所させたい
- 病院に入院させたい
- 介護施設に入所させたい
- その他

(%)

調査結果(5. インフラ・住まい)

「インフラ・住まい」サマリー

エネルギーインフラに対する評価は比較的高く、下水道等衛生インフラに対する評価は比較的低い。
 住宅購入意向は東京に比べ非常に高く、郊外居住意向が高まりつつある。

インフラ	インフラ満足度	<ul style="list-style-type: none"> • 全都市で最も満足度が低いのは「空気環境」。 • ベトナム2都市では、「下水道」・「ごみ／衛生」に関する満足度スコア*は50点以下。 • 中国3都市・インド2都市・ベトナム2都市では、「都市内車道」に対する満足度が最も低い。
	インフラ支出の評価・削減行動	<ul style="list-style-type: none"> • インド2都市・ベトナム2都市・シンガポール・マニラ・バンコクでは、「電気料金」に対する評価が最も低い一方、中国3都市では評価が最も高い。 • 最も実施率の高い電気代削減行動は、中国3都市・バンコクは「電源を抜く」、他9都市は「こまめな消灯」。
住まい	住宅購入意向	<ul style="list-style-type: none"> • 「3年以内に住宅購入予定」の割合は、東京では9%に対し、インド2都市・ジャカルタ・ホーチミン・マニラでは50%以上。
	今後希望する住宅タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • 全都市とも、50%以上が「都市部」への居住を希望。 • ただし、シンガポールを除く12都市では、現在「郊外」に居住している割合よりも、今後「郊外」に居住を希望する割合の方が大きい。
	住宅購入予算	<ul style="list-style-type: none"> • ジャカルタ・ベトナム2都市・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは、「1,000万円未満」が40%以上に対し、シンガポールでは、「5,000万円以上」が40%以上。

*満足度スコア：各サンプルの回答を「非常に不満」を0点～「非常に満足」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

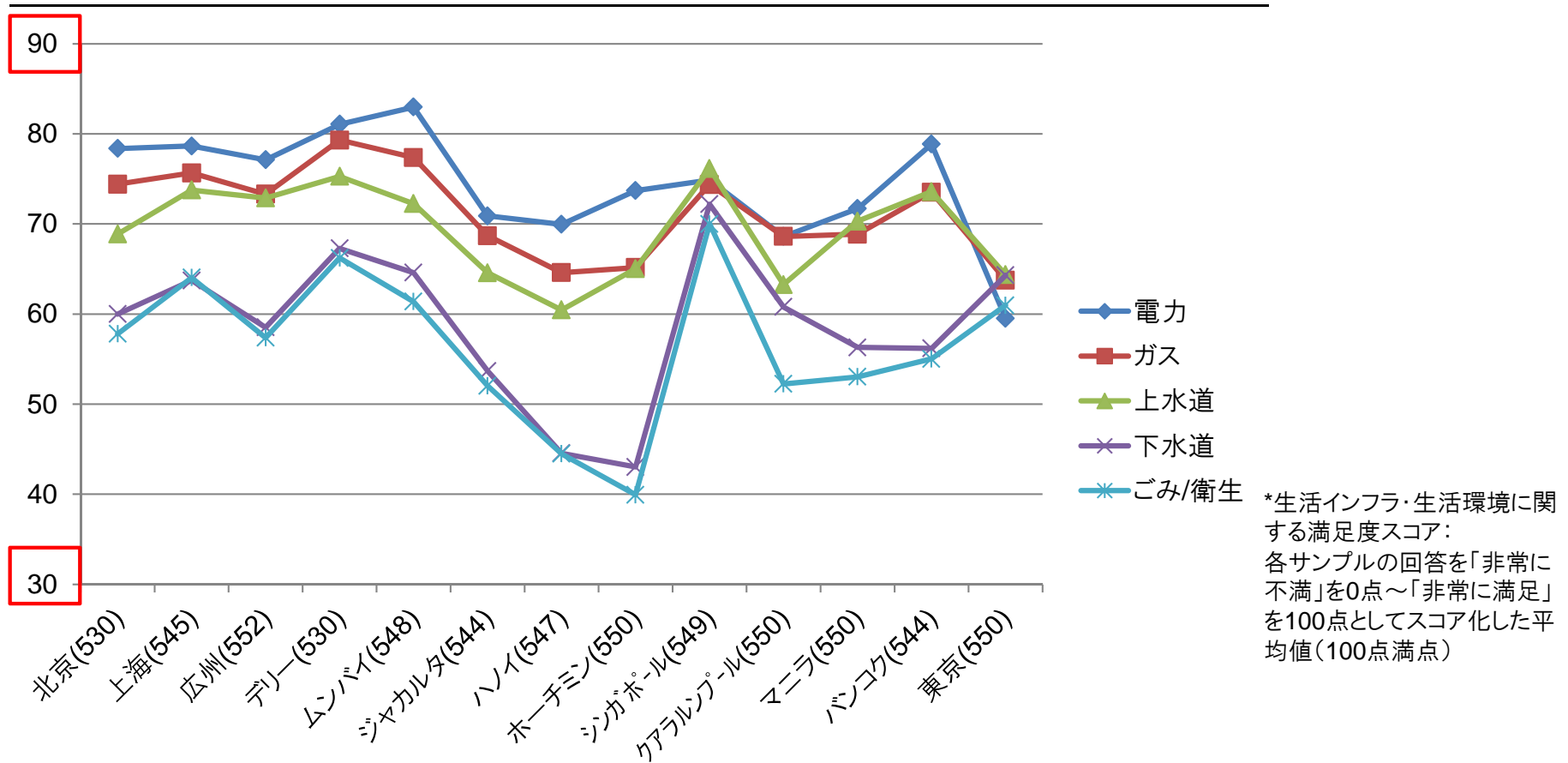
生活インフラ・生活環境満足度(1/2)

「電力」「ガス」「上水道」に対する満足度は多くの都市で比較的高い。

一方「下水道」「ごみ/衛生」に関する満足度は多くの都市で低く、ベトナム2都市の満足度スコア*は50点以下。

Q28 あなたは、現在居住している都市で暮らすにあたり、次の生活インフラ・生活環境にどの程度満足していますか。

生活インフラ・生活環境に対する満足度スコア*(複数回答)(1/2)

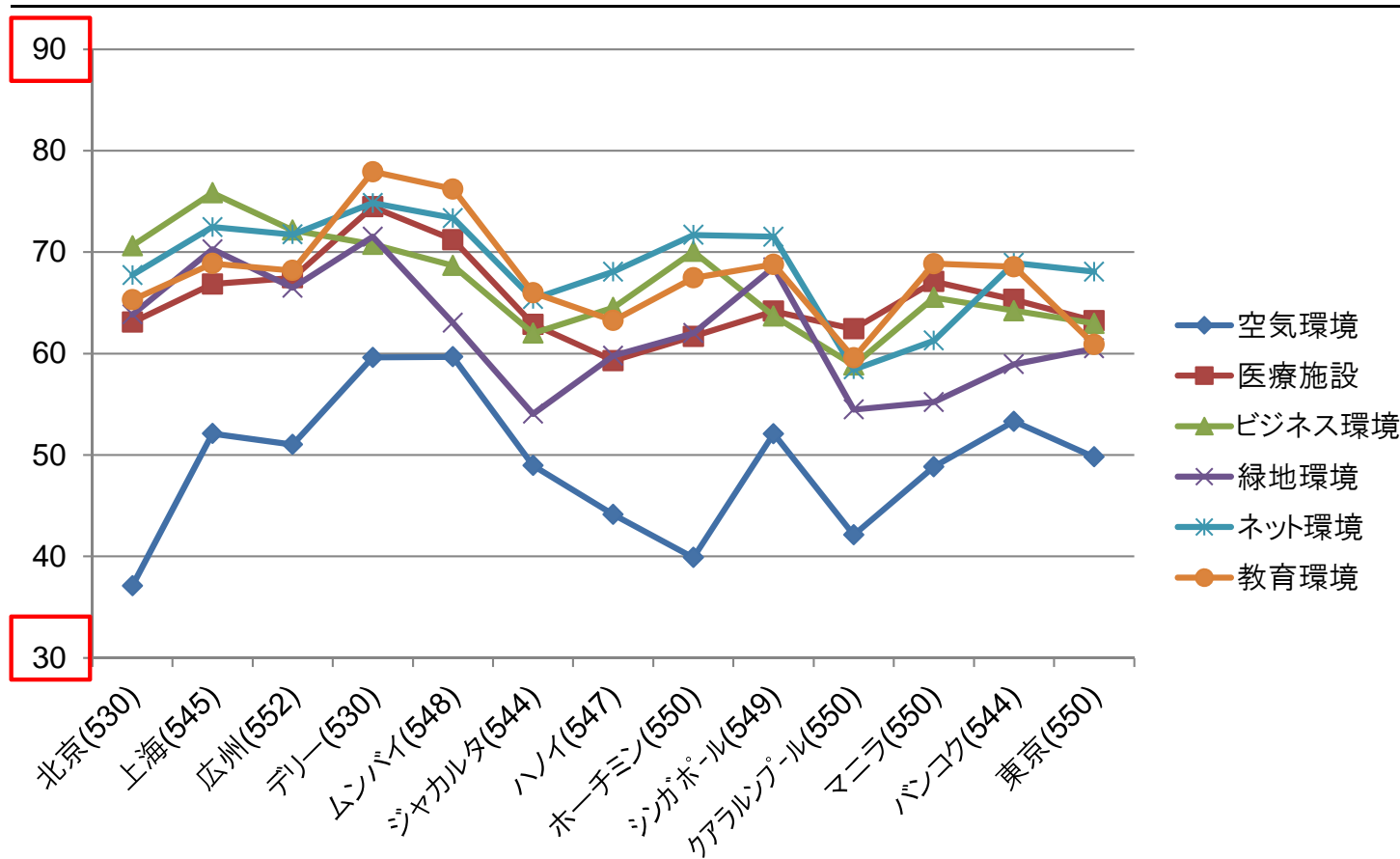


生活インフラ・生活環境満足度(2/2)

「空気環境」は全都市で満足度が最も低く、北京・ホーチミンでは満足度スコア*が40点以下。

Q28 あなたは、現在居住している都市で暮らすにあたり、次の生活インフラ・生活環境にどの程度満足していますか。

生活インフラ・生活環境に対する満足度スコア*(複数回答)(2/2)



*生活インフラ・生活環境に関する満足度スコア：
各サンプルの回答を「非常に不満」を0点～「非常に満足」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

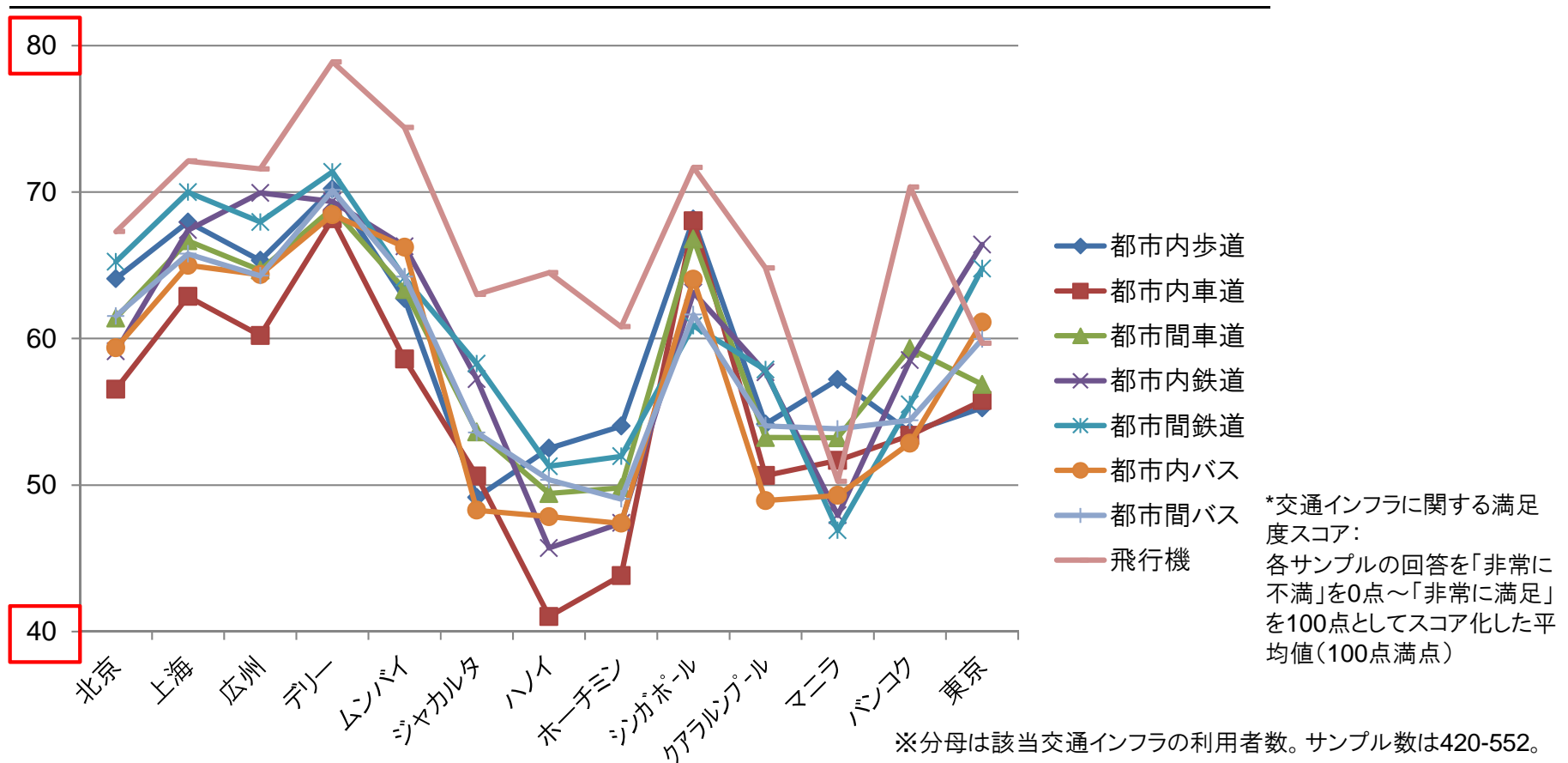
交通インフラ満足度

都市別では、ベトナム2都市・マニラの満足度が全体に低い。

中国3都市・インド2都市・ベトナム2都市では、「都市内車道」の満足度スコア*が最も低い。

Q29 あなたは、現在居住している都市で暮らすにあたり、次の交通インフラにどの程度満足していますか。

交通インフラに対する満足度スコア*(複数回答)(利用者のみ)

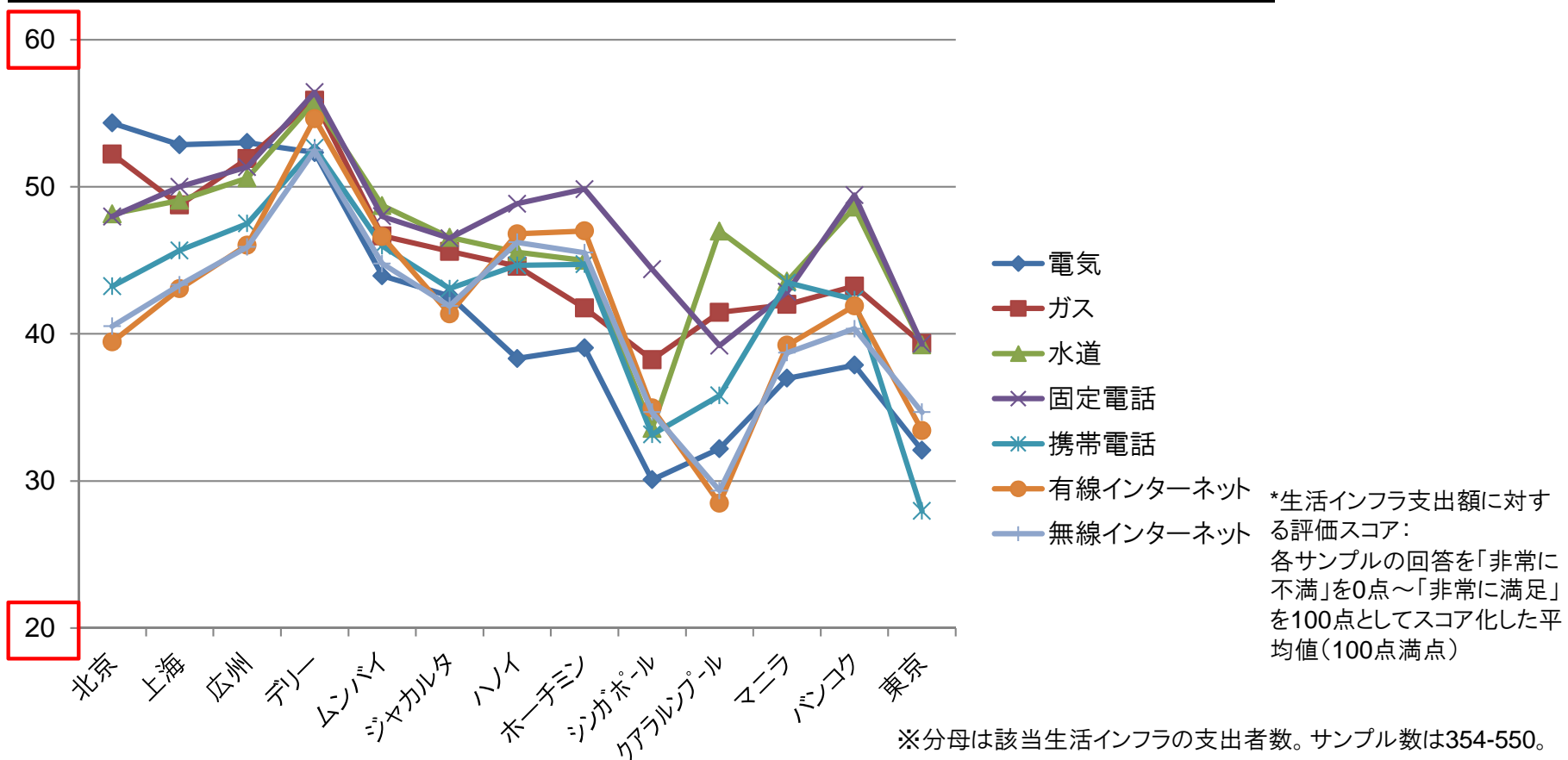


生活インフラ支出額評価

「電気料金」に対する評価は都市により大きく異なり、中国3都市では評価スコア*が最も高いが、インド2都市・ベトナム2都市・シンガポール・マニラ・バンコクでは最も低い。

Q34 あなたの世帯では、電気・ガス・水道、通信に関する費用をどのように感じていますか。

生活インフラ支出額に対する評価スコア*(複数回答)(「払っていない」「分からない」以外)

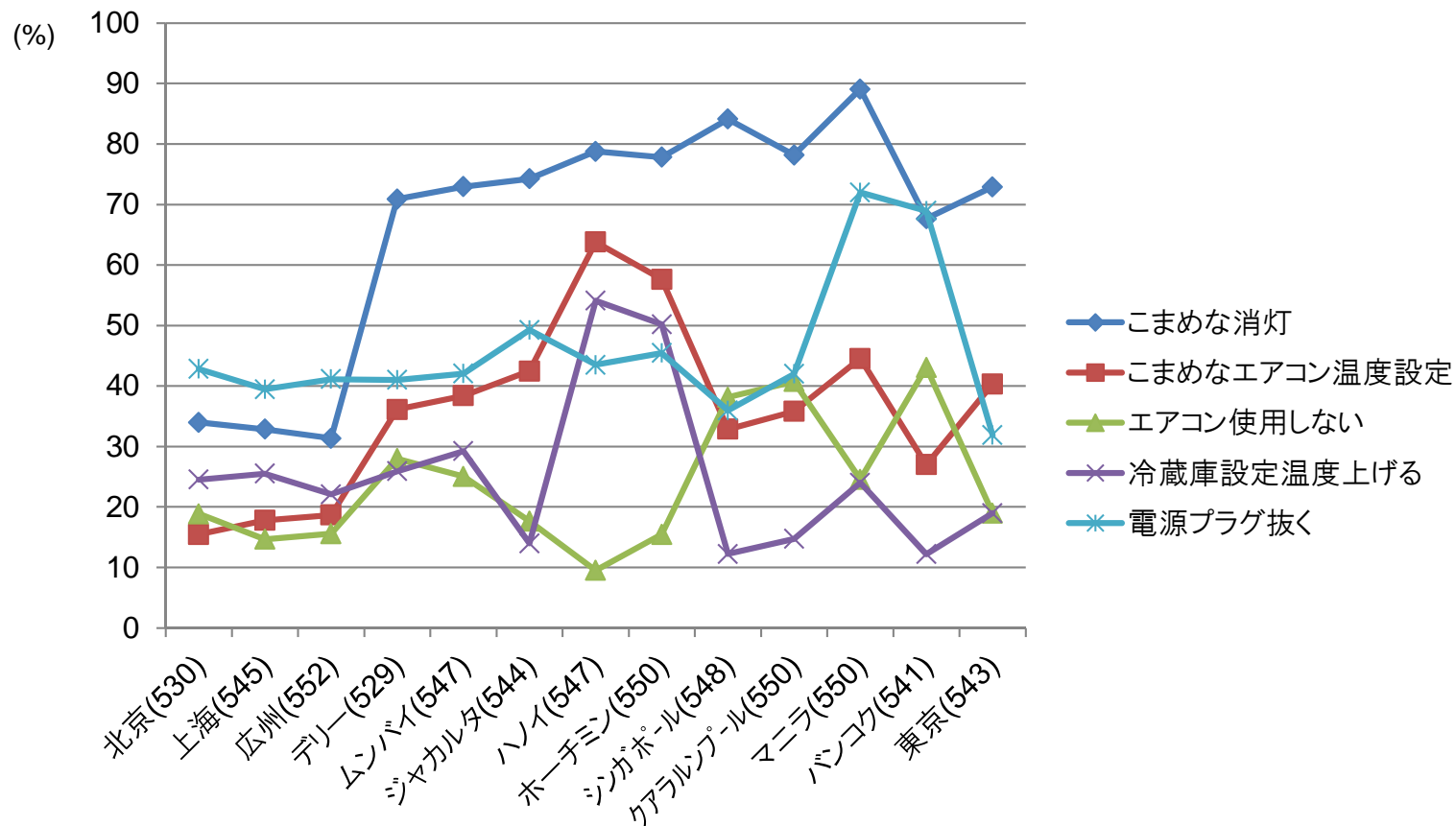


電気代削減取り組み(1/2)

中国3都市・バンコクで最も多く取り組まれているのは「電源プラグを抜く」、他の9都市では「こまめな消灯」。
ベトナム2都市では、50%以上がエアコンや冷蔵庫の温度設定変更に取り組んでいる。

Q35 あなたは電気代削減・電力使用量削減に向けた取り組みをしていますか。

電気代削減取り組み(複数回答)(電気代を「支払っていない」以外)(1/2)

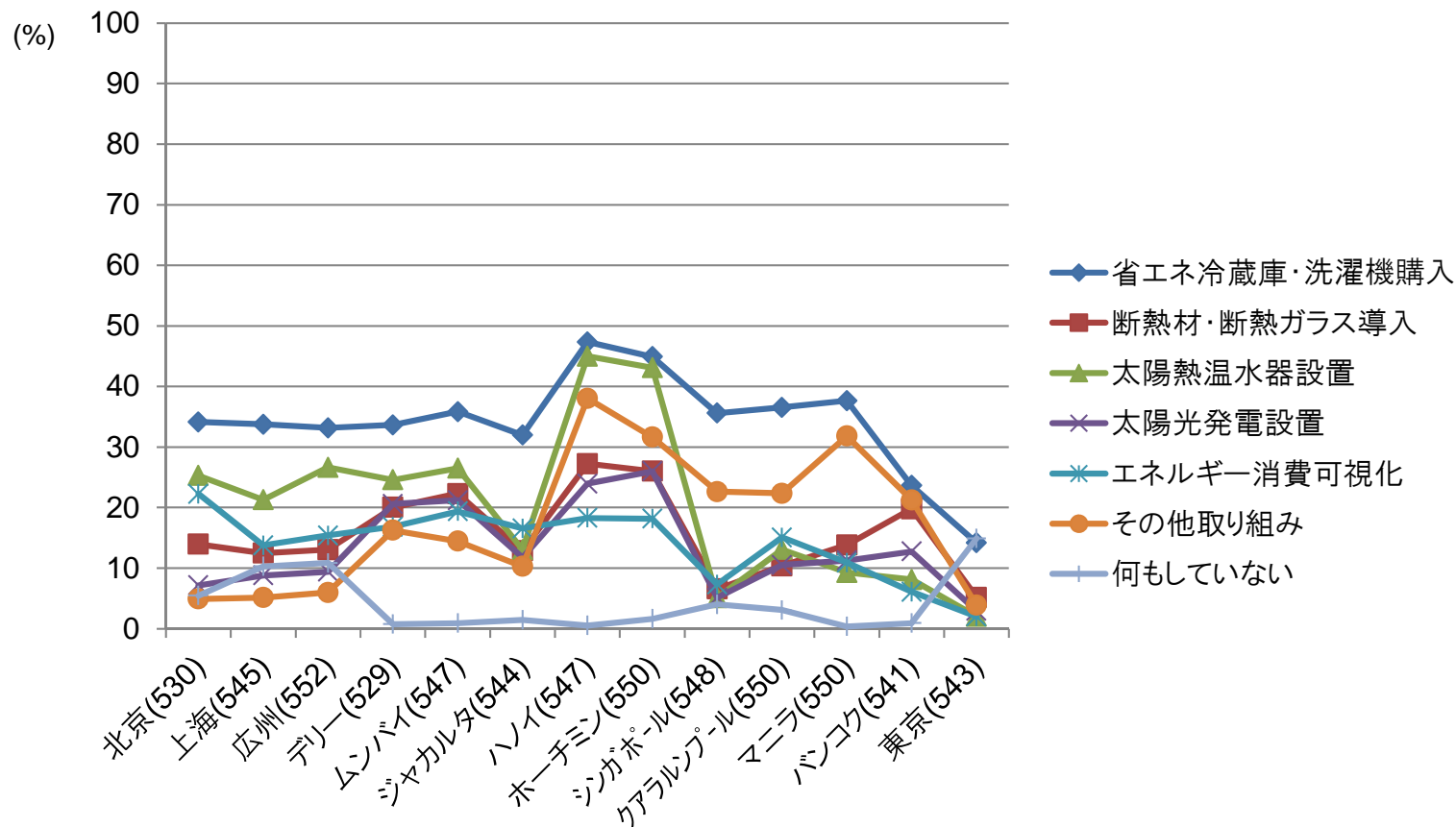


電気代削減取り組み(2/2)

ベトナム2都市では、40%以上が省エネ家電や太陽熱温水器を導入している。

Q35 あなたは電気代削減・電力使用量削減に向けた取り組みをしていますか。

電気代削減取り組み(複数回答)(電気代を「支払っていない」以外) (2/2)

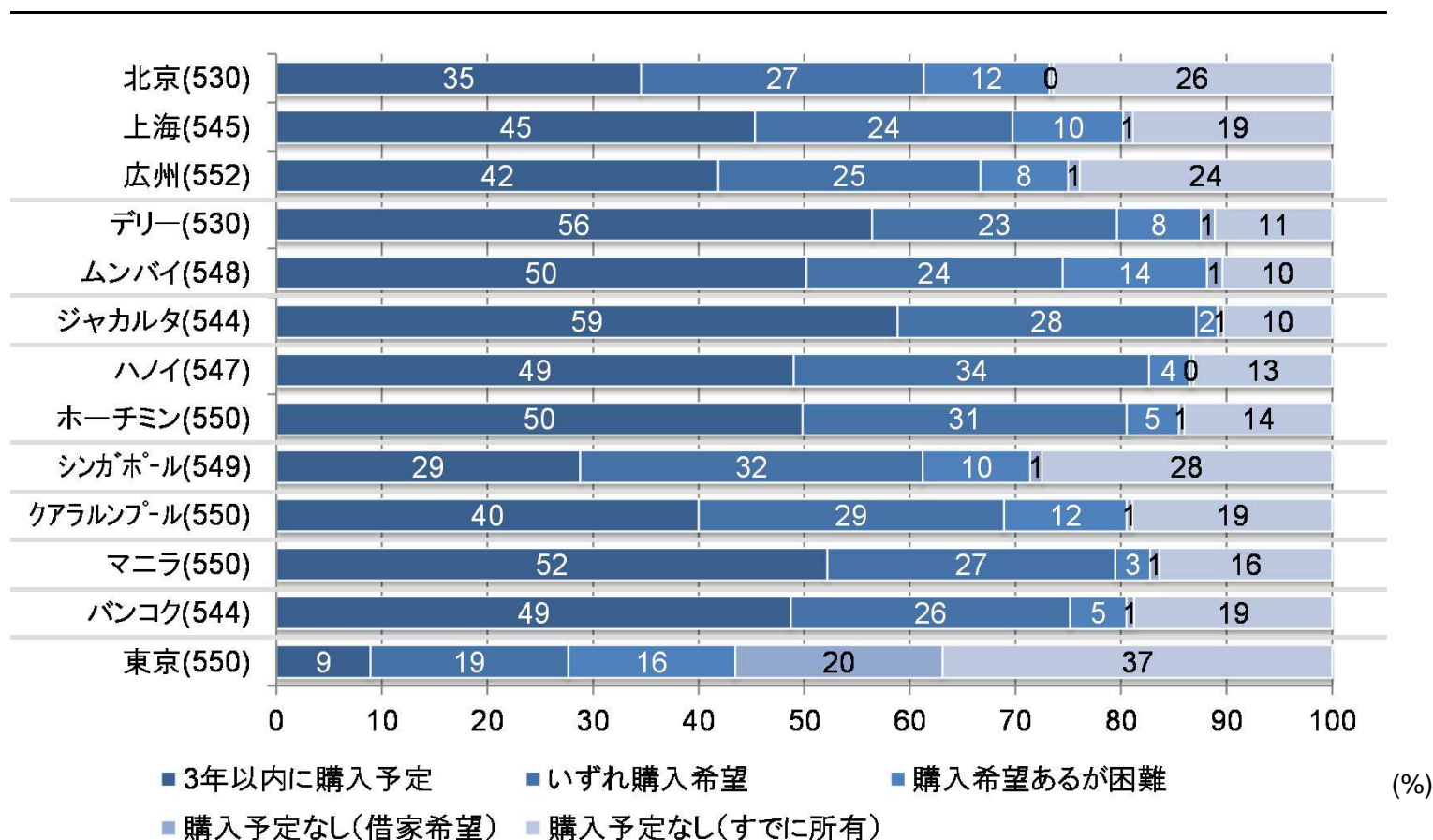


住宅購入意向

「3年以内に住宅購入予定」の割合は、東京では9%に対し、インド2都市・ジャカルタ・ホーチミン・マニラでは50%以上。

Q30 あなたは今後、居住用の住宅を購入する予定がありますか。

住宅購入意向



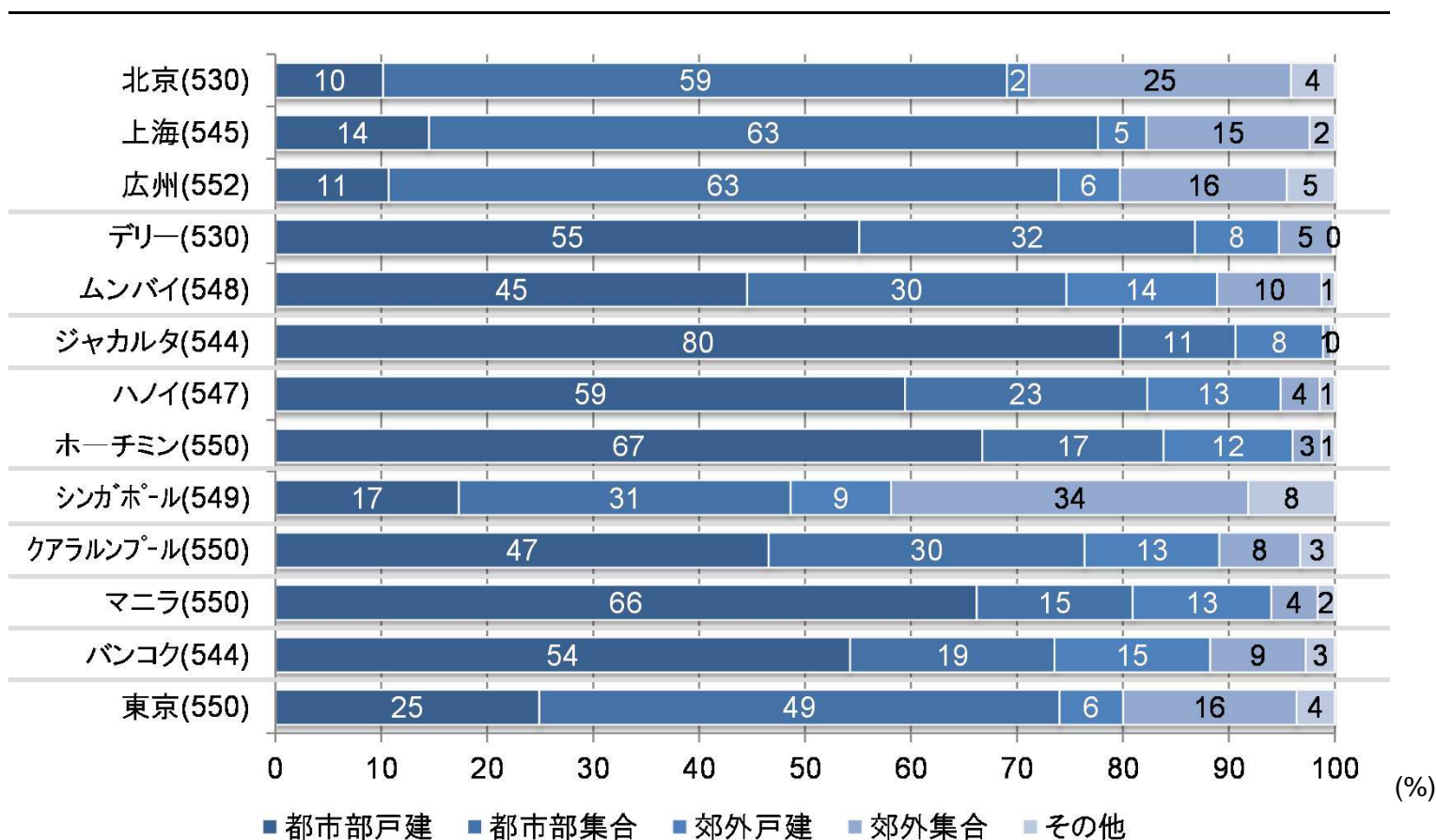
現在の住居タイプ

シンガポール以外の12都市では、過半数が都市部に居住。

中国3都市・シンガポール・東京以外の8都市では、過半数が戸建住宅に居住。

Q31 あなたの「現在の住居のタイプ」を教えてください。

現在の住居タイプ(エリア・建て方)



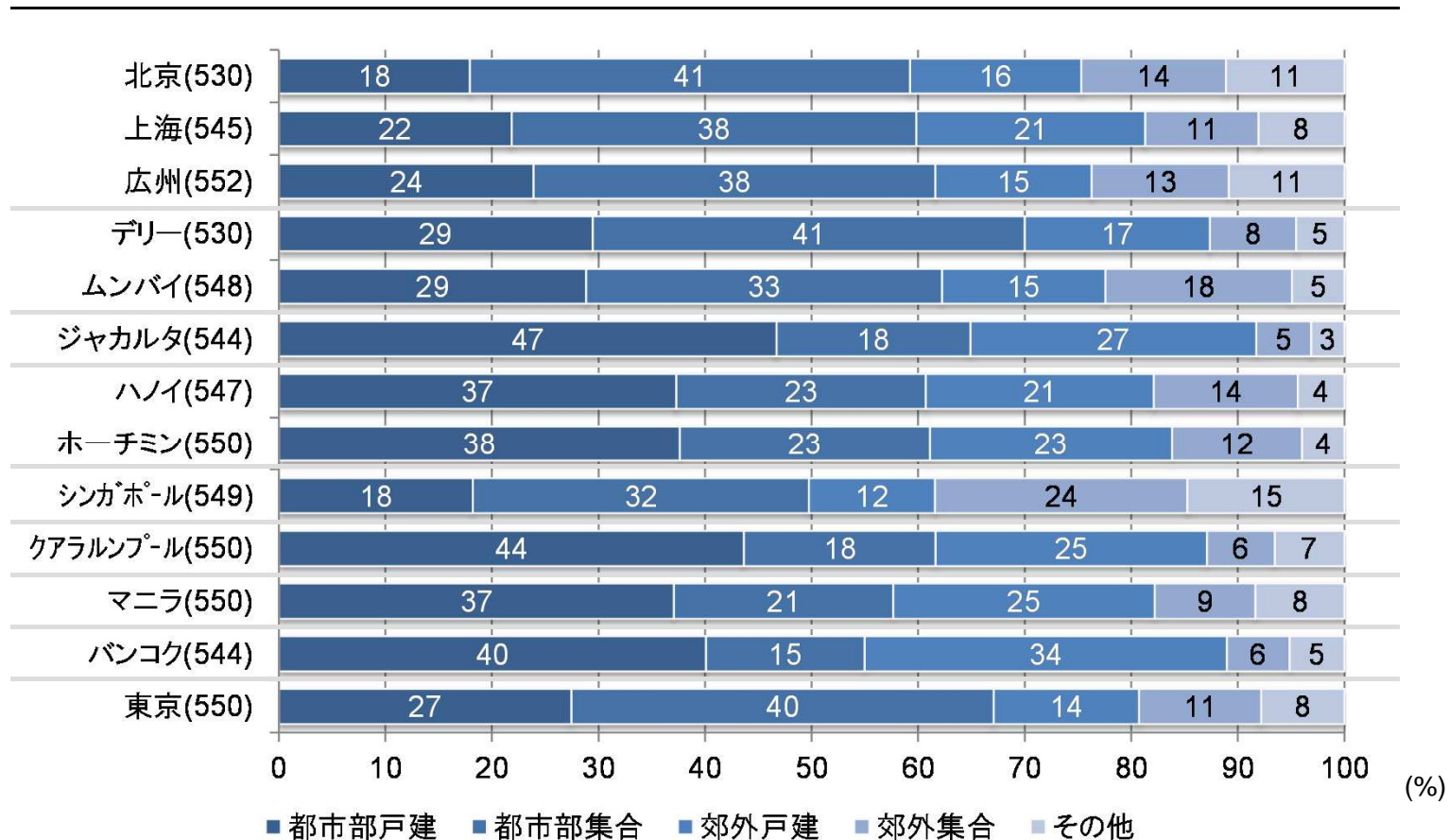
今後希望する住居タイプ

全都市とも、過半数が都市部への居住を希望。

ただしシンガポールを除く12都市では、現在の郊外居住割合よりも、今後の郊外居住希望割合の方が大きい。

Q31 あなたの「今後住むであろう住居のタイプ」を教えてください。

今後希望する住居タイプ(エリア・建て方)

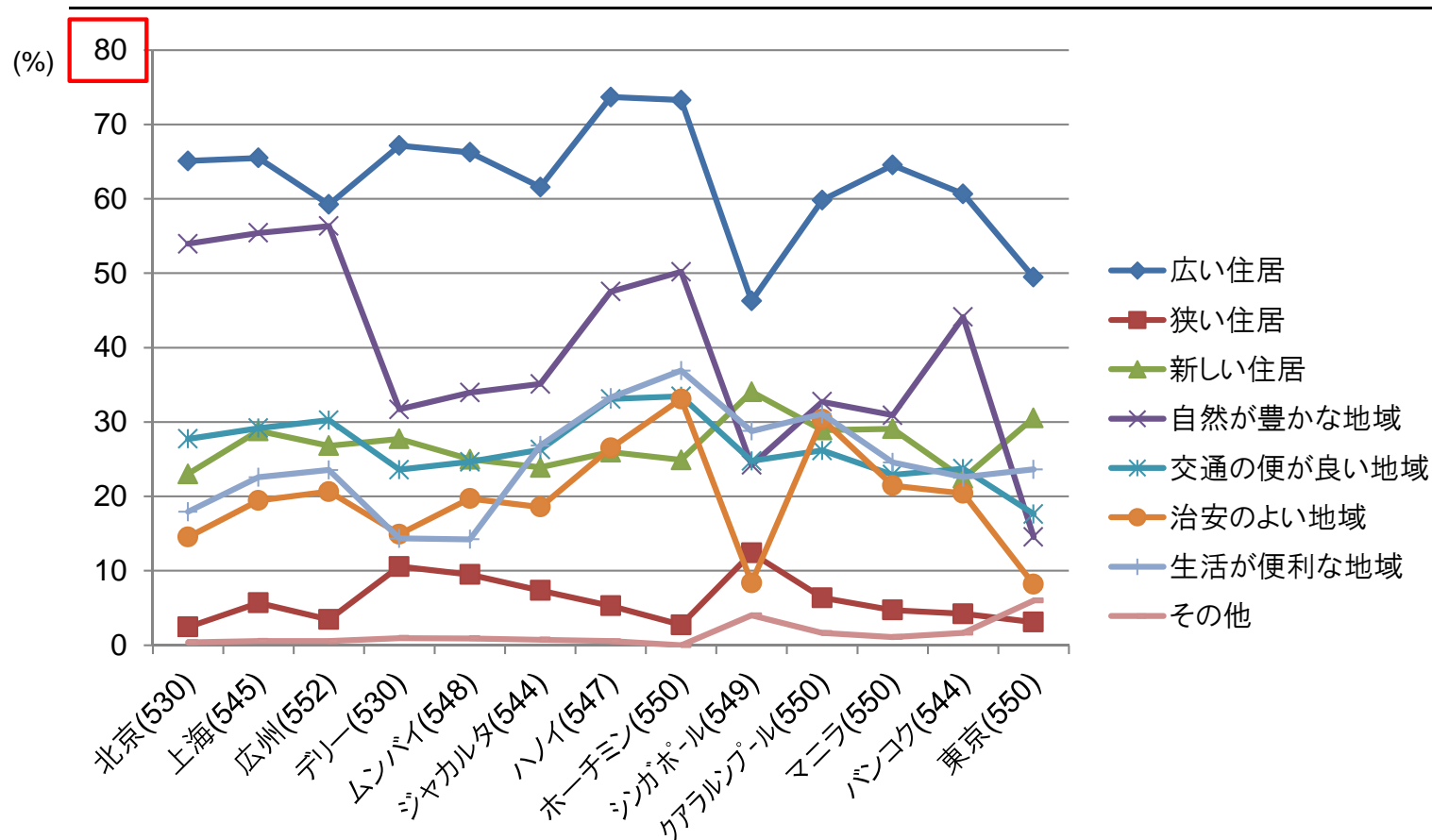


今後希望する住居タイプの選択理由

全都市で、今後希望する住居タイプの選択理由として最も多いのは「広い住居」。
中国3都市・ベトナム2都市・バンコクでは、「自然が豊かな地域」を選んだ割合が40%以上。

Q32 今後の住まいとして、前問で下記の住居のタイプを選んだ理由としてあてはまるものを全てお選びください。

今後希望する住居タイプの選択理由（複数回答）

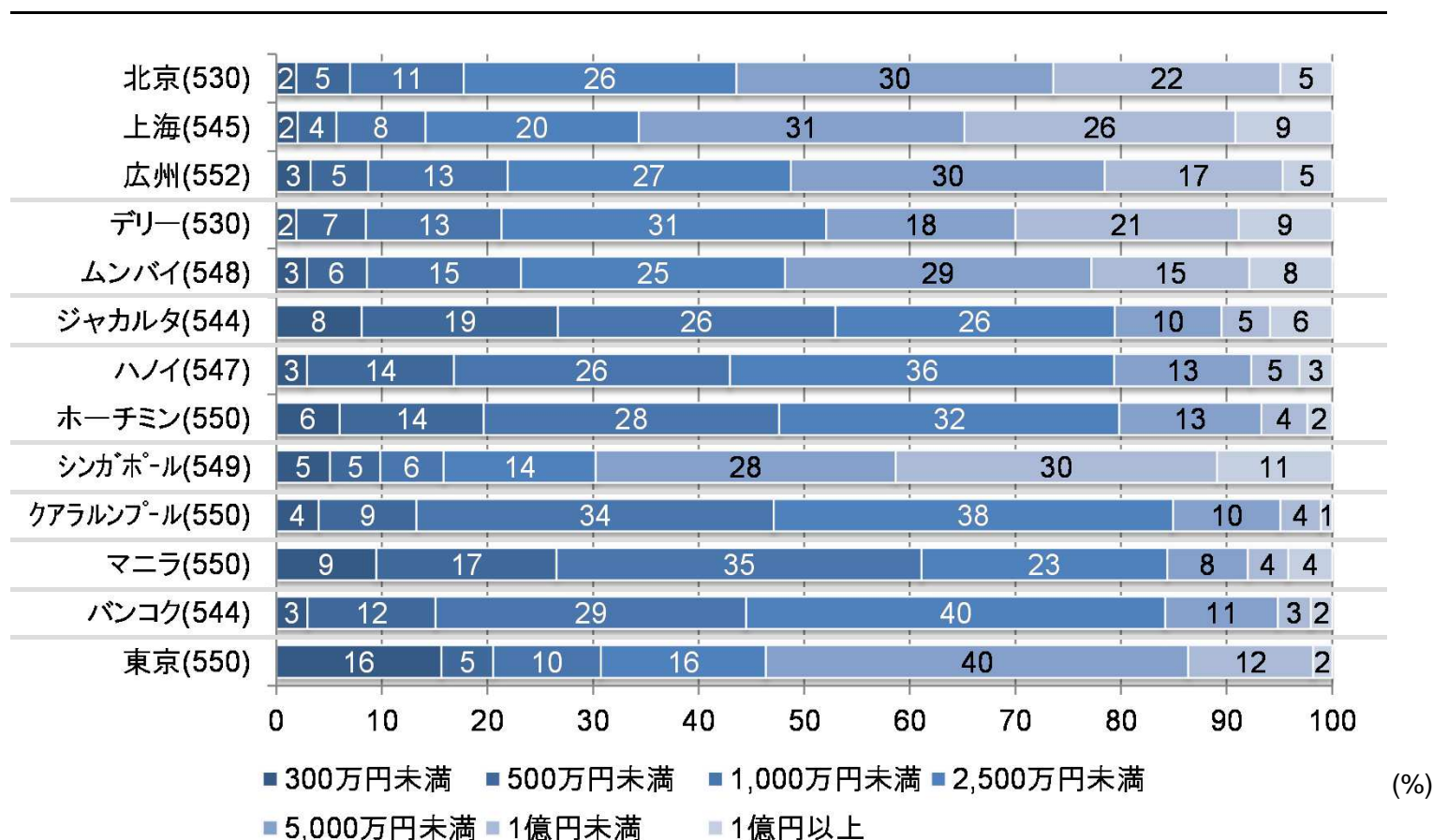


住宅購入予算

ジャカルタ・ベトナム2都市・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは、「1,000万円未満」が40%以上に対し、シンガポールでは、「5,000万円以上」が40%以上。

Q33 購入する住宅の予算をお答えください。

住宅購入予算



調査結果(6. スポーツ)

「スポーツ」サマリー

スポーツ参加(実施・観戦)状況や支出頻度は、国によって大きく傾向が異なる。
 スポーツ実施時には「ストレス解消」や「自分・家族の健康」を重視している。

参加状況	スポーツ実施	<ul style="list-style-type: none"> 最も実施率の高いスポーツは、ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「ジョギング」、中国3都市・東京では「ウォーキング／ハイキング」、インド2都市では「クリケット」。
	スポーツ観戦	<ul style="list-style-type: none"> 最も観戦率の高いスポーツは、ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・バンコクでは「サッカー」、中国3都市・マニラでは「バスケットボール」、クアラルンプールでは「バドミントン」、東京では「野球」。
支出状況	スポーツへの支出頻度	<ul style="list-style-type: none"> 最も支出頻度スコア*が高いスポーツは、中国3都市・ジャカルタ・ベトナム2都市・バンコクでは「水泳」、ムンバイ・東京では「ジム・エアロビクス」、シンガポール・クアラルンプールでは「ボウリング」、デリーでは「クリケット」、マニラでは「バドミントン」。
	スポーツ関連商品の利用・支出意向	<ul style="list-style-type: none"> 有料での利用意向が最も高いスポーツ用品製造国は、上海・シンガポール・マニラ・バンコクでは「米国」、広州・クアラルンプールでは「欧州」。 中国3都市では、日本製スポーツ用品の有料利用意向が製造国別で最も低い。
重視点	スポーツ実施時の重視点	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ実施時の重視度スコア**が最も高いのは、中国3都市・バンコクでは「自分・家族の健康」、その他9都市では「ストレス解消」。

*支出頻度スコア:各サンプルの回答を「支出しない」を0点～「頻繁に支出する」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

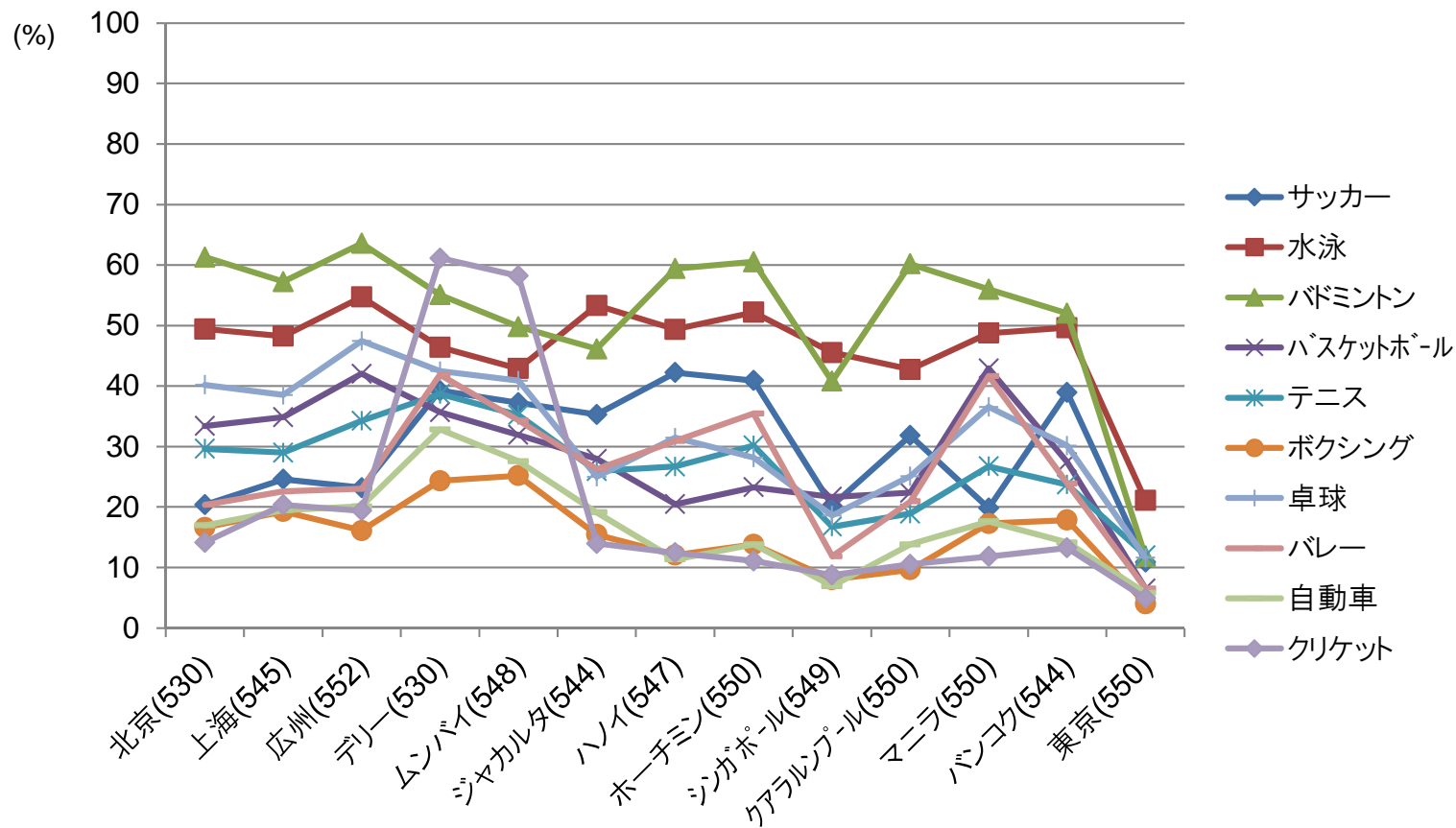
**重視度スコア:各サンプルの回答を「全く重視しない」を0点～「とても重視する」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

スポーツ実施率(1/2)

インド2都市では、「クリケット」が最も実施率の高いスポーツ。

Q36 あなたは、次の各スポーツを自分で行いますか？

スポーツ実施率(複数回答)(1/2)

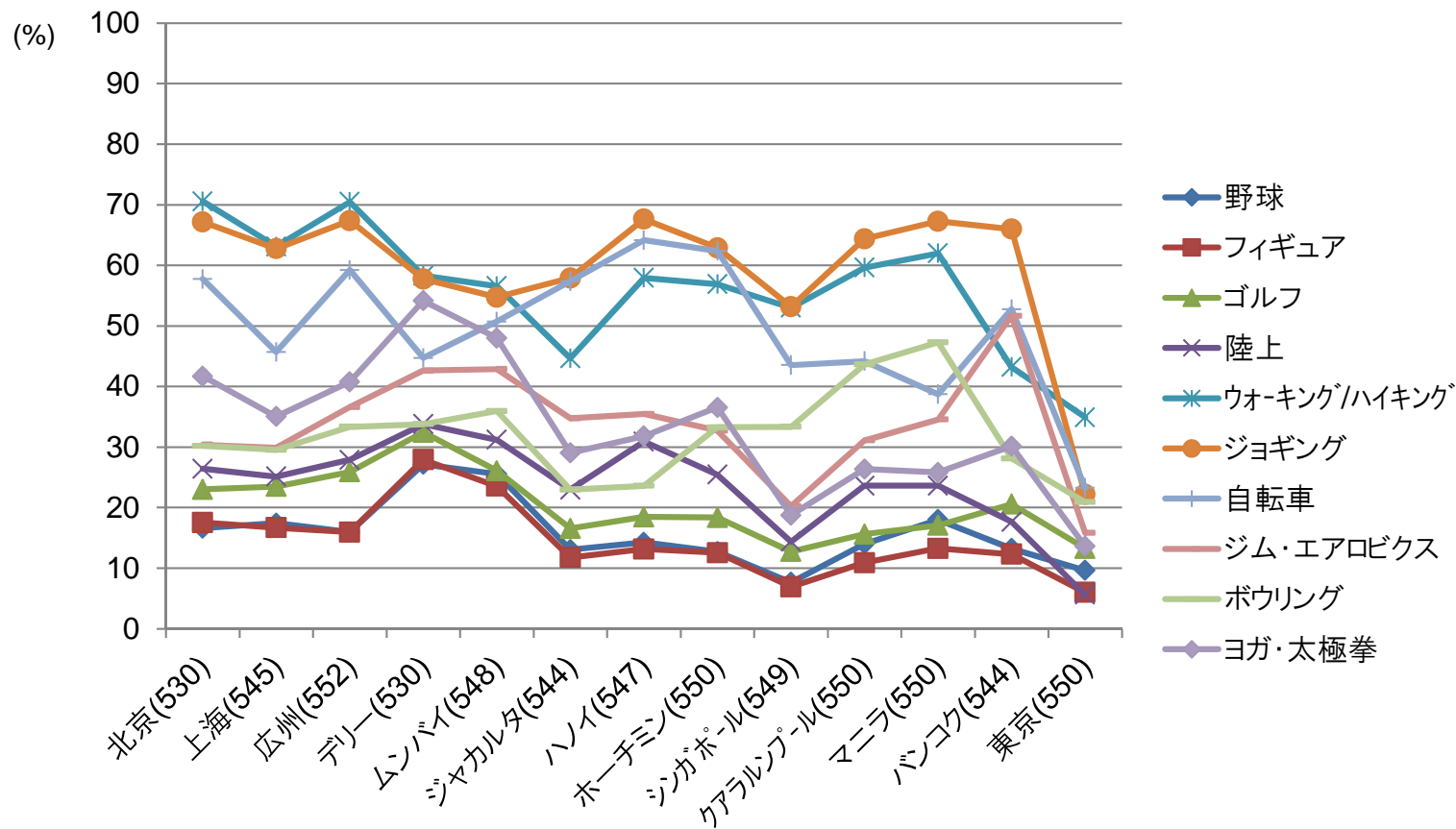


スポーツ実施率(2/2)

ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「ジョギング」が、中国3都市・東京では「ウォーキング／ハイキング」が、最も実施率の高いスポーツ。

Q36 あなたは、次の各スポーツを自分で行いますか？

スポーツ実施率(複数回答)(2/2)

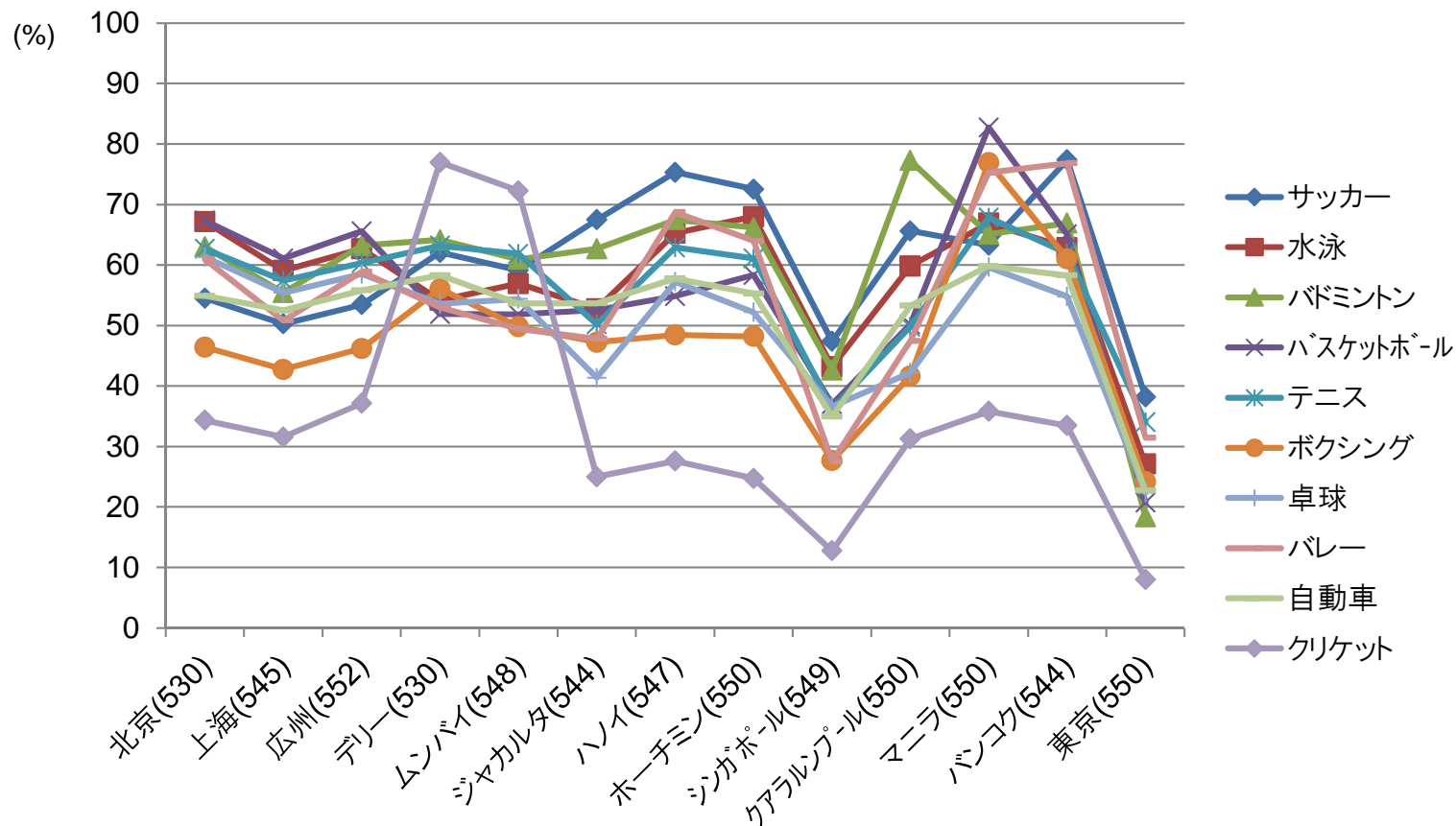


スポーツ観戦率(1/2)

ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・バンコクでは「サッカー」が、クアラルンプールでは「バドミントン」が、中国3都市・マニラでは「バスケットボール」が、インド2都市では「クリケット」が、最も観戦率の高いスポーツ。

Q36 あなたは、次の各スポーツを観(TV/現地観戦・観覧等)ますか？

スポーツ観戦率(複数回答)(1/2)

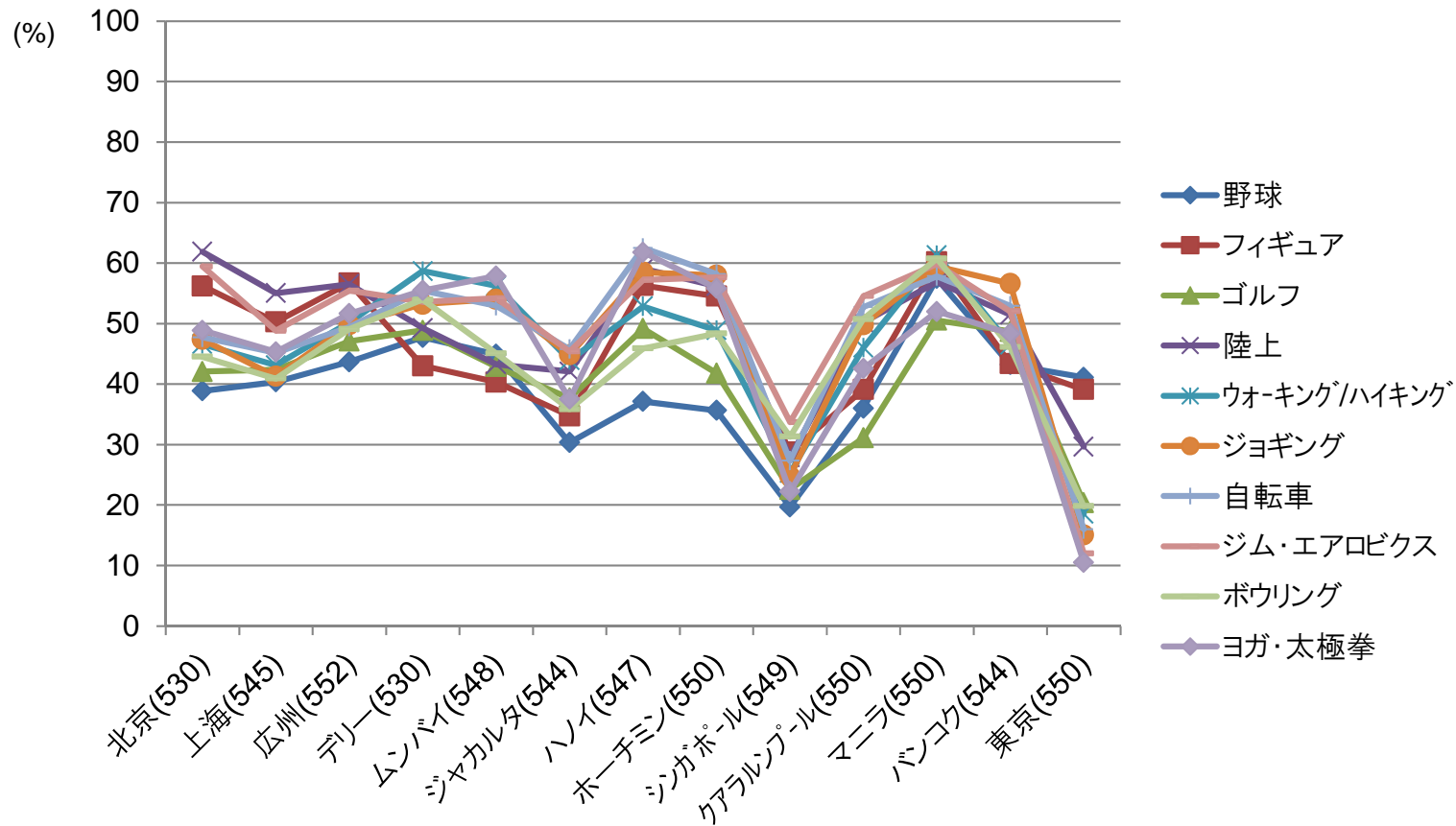


スポーツ観戦率(2/2)

東京では「野球」が最も観戦率の高いスポーツ。

Q36 あなたは、次の各スポーツを観(TV/現地観戦・観覧等)ますか？

スポーツ観戦率(複数回答)(2/2)

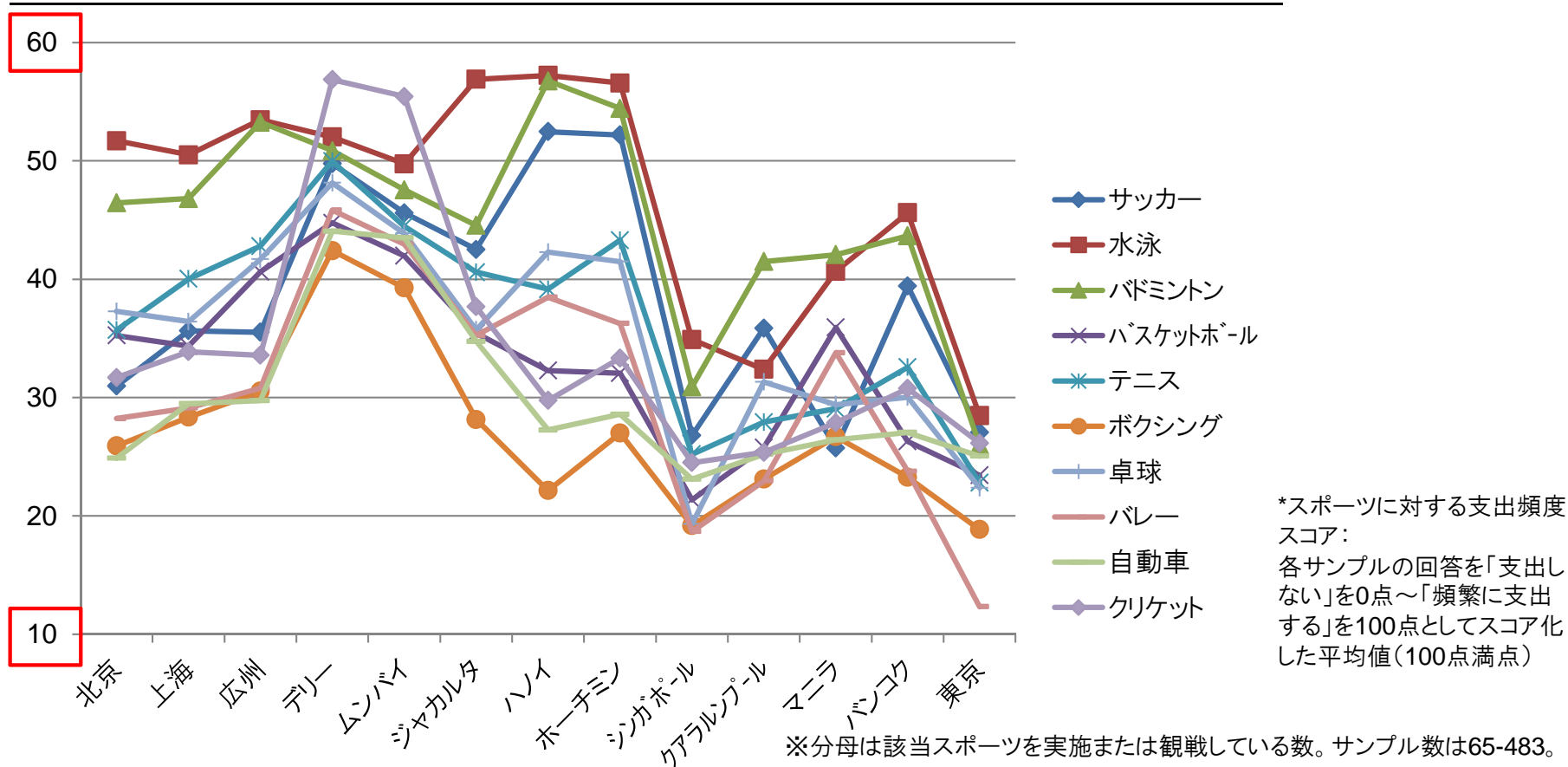


スポーツへの支出頻度(1/2)

中国3都市・ジャカルタ・ベトナム2都市・バンコクでは「水泳」が、デリーでは「クリケット」が、マニラでは「バドミントン」が、最も支出頻度スコア*の高いスポーツ。

Q37 あなたは、自分でやる、あるいは観るのが好きと選択したスポーツに関して、どの程度のお金を支払いますか？

スポーツに対する支出頻度スコア*(複数回答)(「実施も観戦もしない」以外)(1/2)

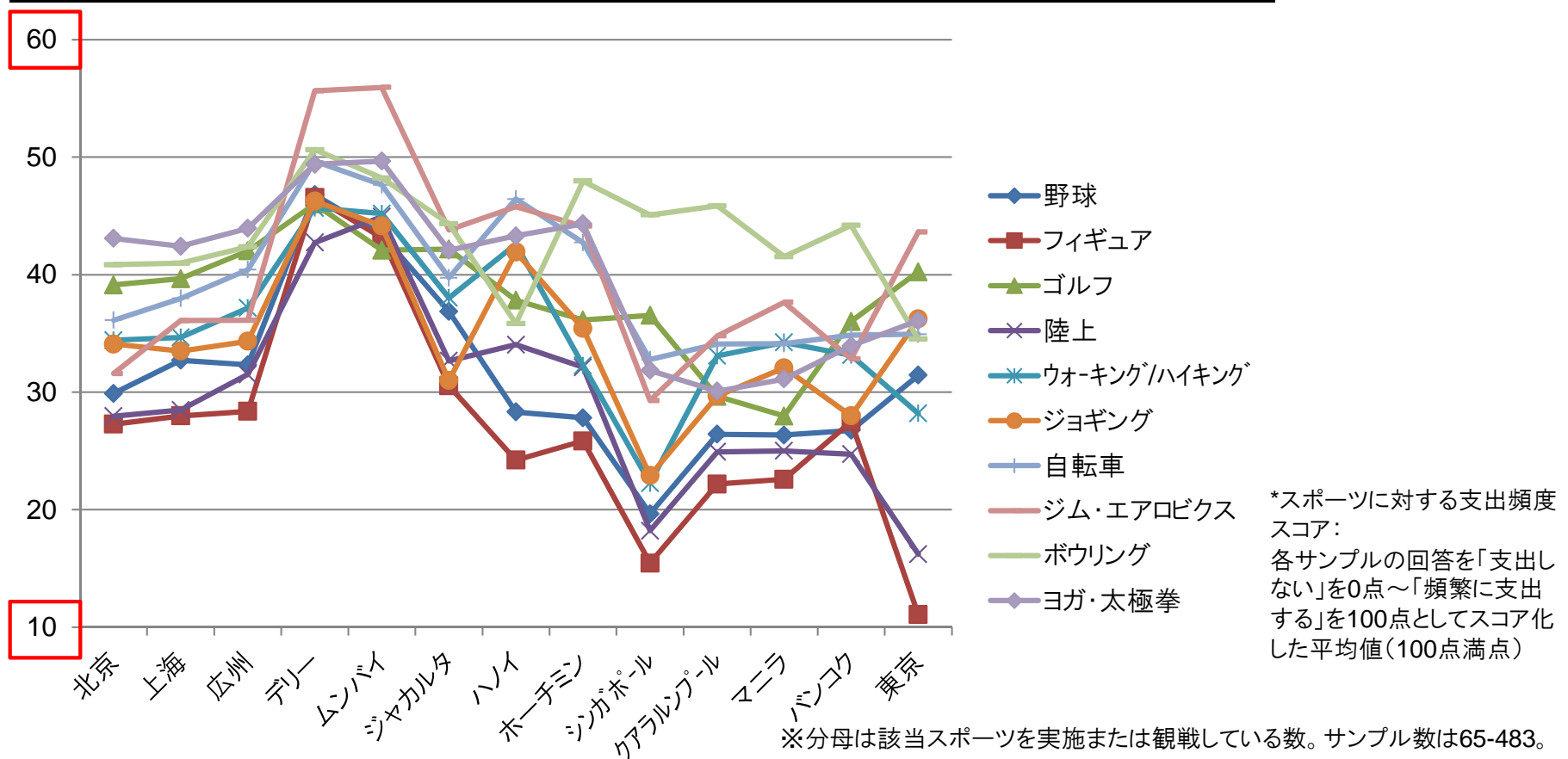


スポーツへの支出頻度(2/2)

ムンバイ・東京では「ジム・エアロビクス」が、シンガポール・クアラルンプールでは「ボウリング」が、最も支出頻度スコア*の高いスポーツ。

Q37 あなたは、自分でやる、あるいは観るのが好きと選択したスポーツに関して、どの程度のお金を支払いますか？

スポーツに対する支出頻度スコア*(複数回答)(「実施も観戦もしない」以外)(2/2)

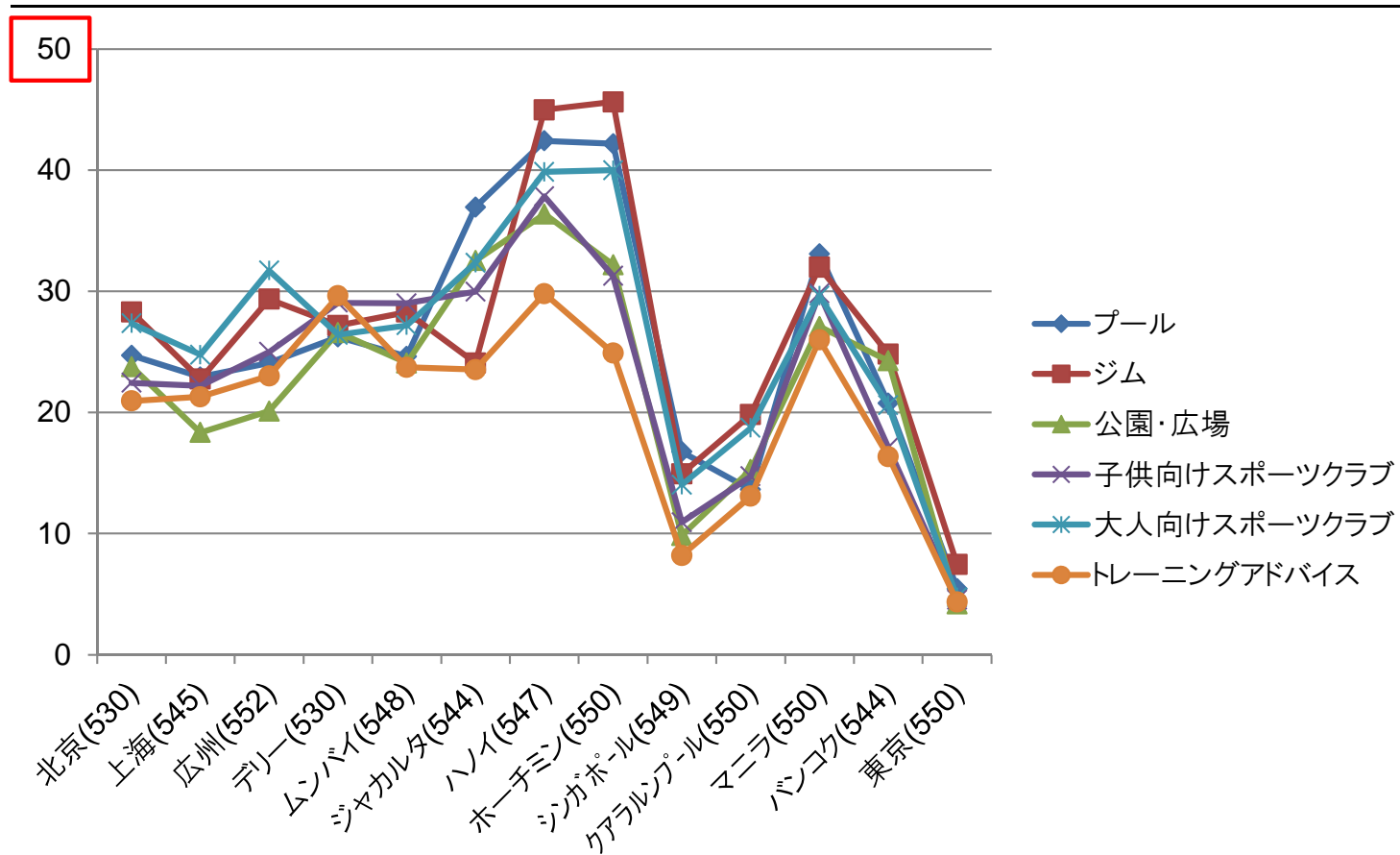


スポーツ関連商品利用意向(1/3)

有料利用意向が最も高いスポーツ関連商品は、ホーチミンでは「ジム」。

Q38 あなたは、今後、以下のスポーツ関連の商品・サービス・施設を購入あるいは利用したいですか？

スポーツ関連商品の有料利用意向(複数回答)(1/3)

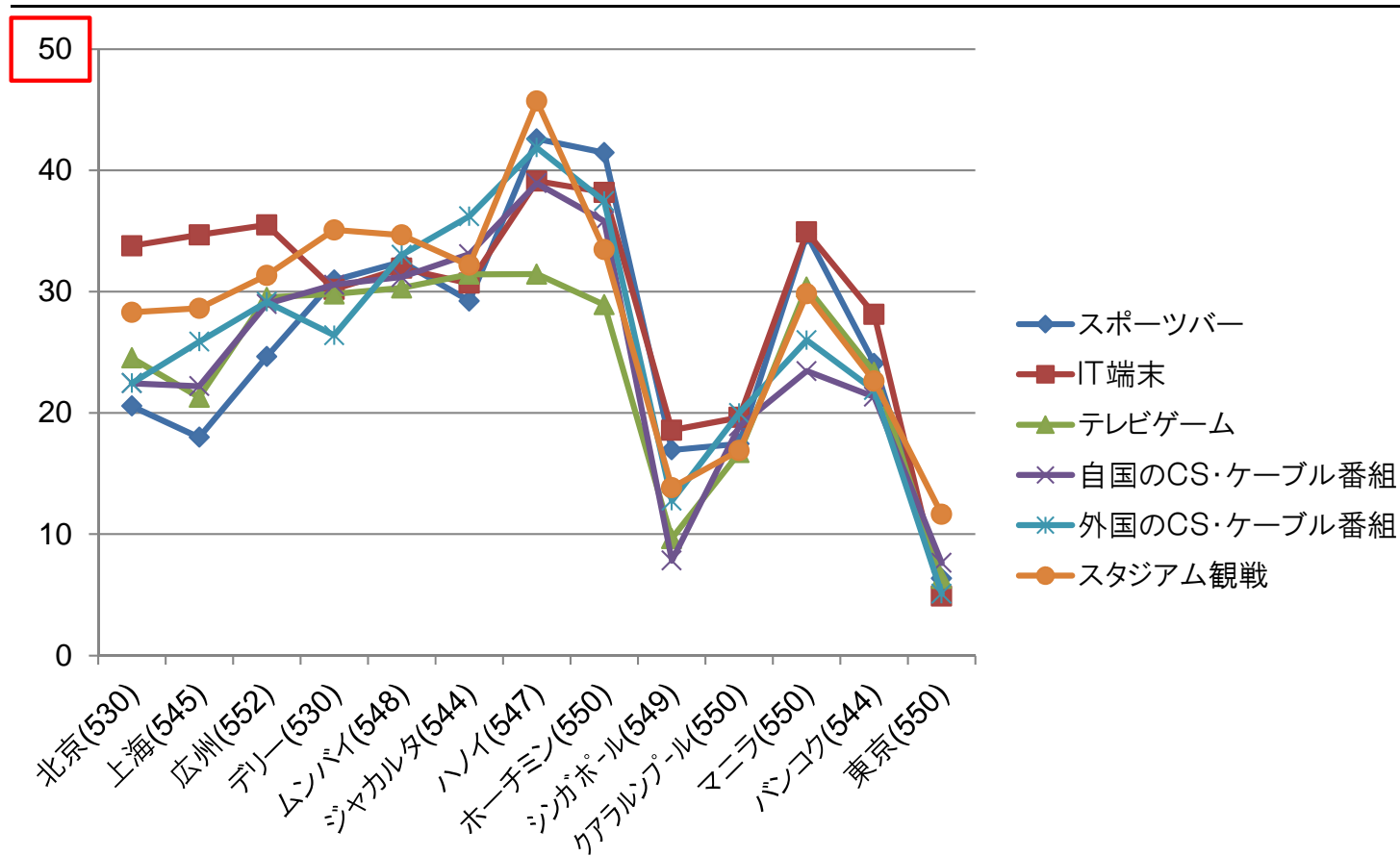


スポーツ関連商品利用意向(2/3)

有料での利用意向が最も高いスポーツ関連商品は、インド2都市・ハノイでは「スタジアム観戦」。

Q38 あなたは、今後、以下のスポーツ関連の商品・サービス・施設を購入あるいは利用したいですか？

スポーツ関連商品の有料利用意向(複数回答)(2/3)

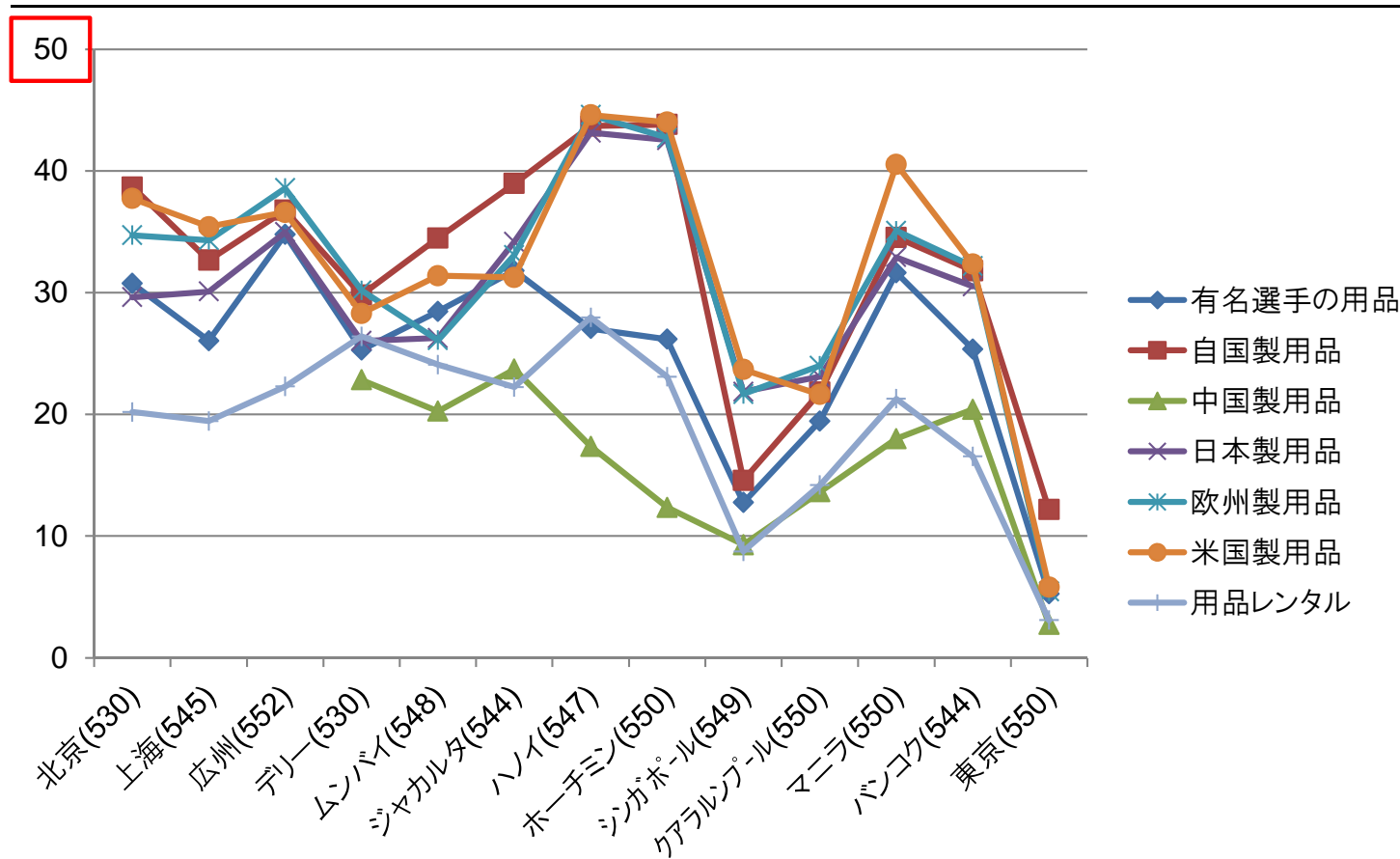


スポーツ関連商品利用意向(3/3)

有料での利用意向が最も高いスポーツ関連商品は、北京・ジャカルタ・東京では「**自国製品**」、
広州・クアラルンプールでは「**欧州製品**」、上海・シンガポール・マニラ・バンコクでは「**米国製品**」。

Q38 あなたは、今後、以下のスポーツ関連の商品・サービス・施設を購入あるいは利用したいですか？

スポーツ関連商品の有料利用意向(複数回答)(3/3)

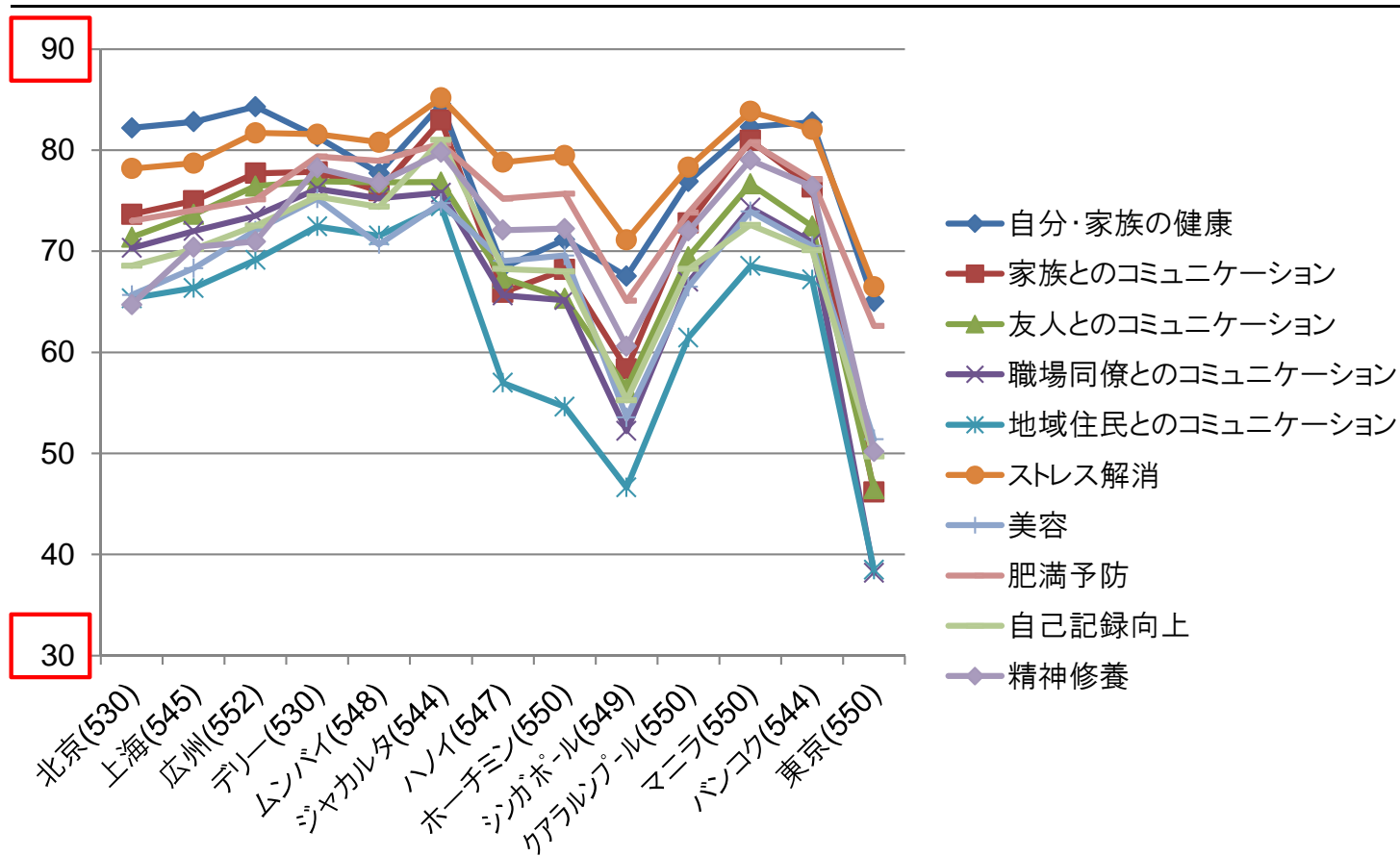


スポーツ実施時の重視点

スポーツ実施時の重視度スコア*が最も高いのは、
中国3都市・バンコクでは「自分・家族の健康」、
中国3都市・バンコクでは「自分・家族の健康」、その他9都市では「ストレス解消」。

Q39 あなたがスポーツをするにあたって、以下の項目をどの程度重視していますか？

スポーツ実施時の重視度スコア*(複数回答)



*スポーツ実施時の重視度スコア：
各サンプルの回答を「全く重視しない」を0点～「とても重視する」を100点としてスコア化した平均値(100点満点)

調査結果(7. 観光)

「観光」サマリー

全ての都市で30%以上が1年以内の訪日観光旅行を予定。

訪日観光旅行目的のトップは全ての都市で「自然景観」、その他「日本食」「伝統文化」などに関心が高い。

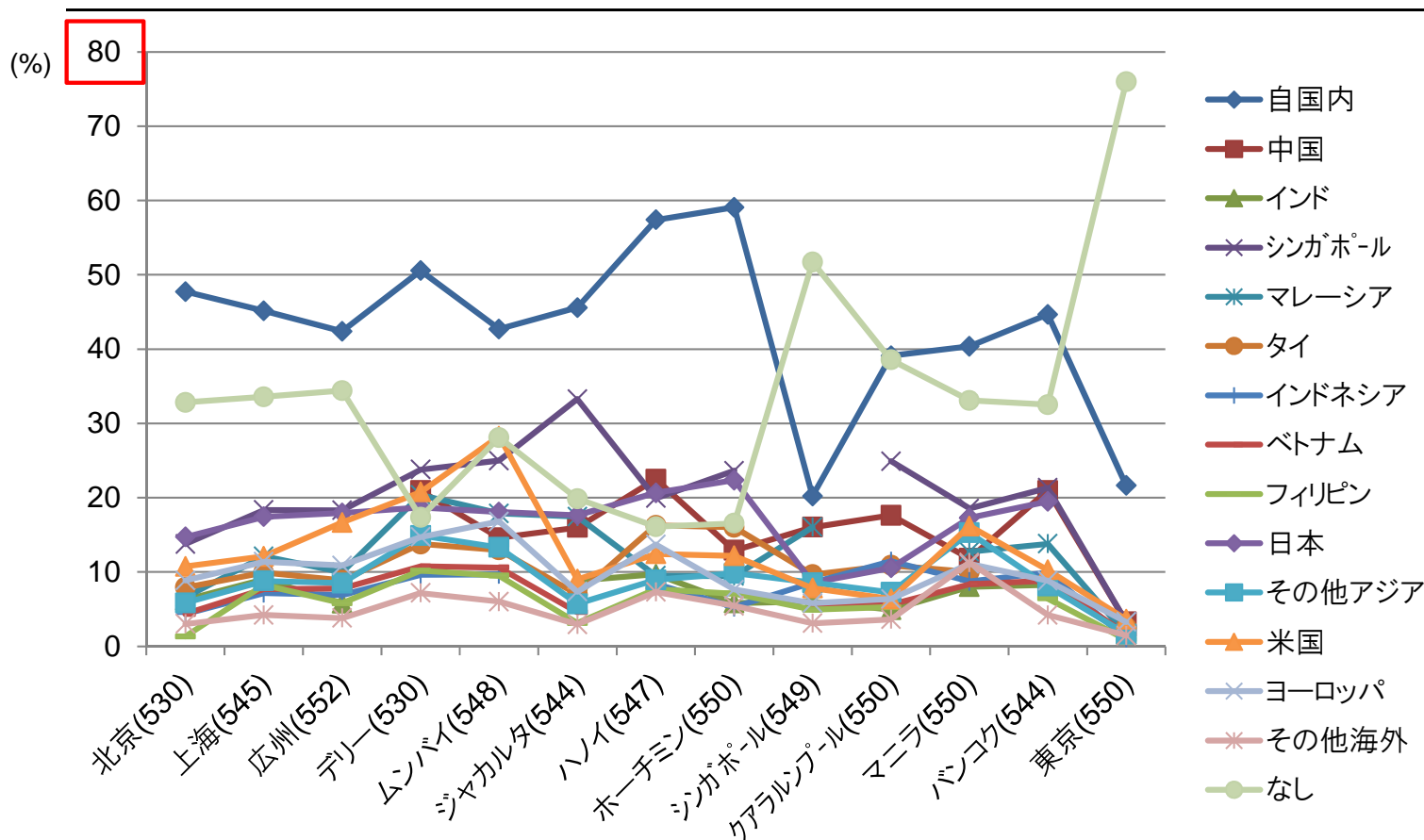
海外旅行	過去1年の外国旅行経験	<ul style="list-style-type: none"> 自国以外への観光旅行先のトップは、インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプール・マニラでは「シンガポール」、中国3都市およびバンコクでは「日本」、東京では「欧州」。
	訪日旅行経験	<ul style="list-style-type: none"> 訪日観光旅行経験者が多い都市トップ3は、バンコク(70%)・上海(68%)・広州(61%)。
訪日観光旅行	旅行意向	<ul style="list-style-type: none"> 全12都市で、30%以上が「1年以内に訪日観光旅行を予定」。 「1年以内に訪日観光旅行を予定」のトップ3は、バンコク(58%)・ジャカルタ(53%)・上海(50%)。
	旅行目的	<ul style="list-style-type: none"> 全12都市で、「自然景観」が訪日観光旅行目的のトップ。 訪日観光旅行目的の第2位は、中国3都市・ホーチミン・シンガポール・マニラ・バンコクでは「日本食」、インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプールでは「伝統的な建築や町並み」、ハノイでは「伝統文化」。
	直近の旅行での不満	<ul style="list-style-type: none"> 直近の訪日観光旅行時の不満のトップは、デリー・ジャカルタ・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「滞在費が高かった」、中国3都市では「母国語が使えなかった」、ムンバイでは「放射性物質による悪影響が心配だった」。
	旅行に踏み切れない理由	<ul style="list-style-type: none"> 訪日観光旅行に踏み切れない理由のトップは、インド2都市・ベトナム2都市・シンガポール・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「滞在費が高そう」、デリー・ジャカルタでは「渡航費が高そう」、北京・広州では「ビザ取得が困難／面倒そう」、上海では「放射性物質による悪影響が心配」。

過去1年の旅行経験(ビジネス)

自国以外へのビジネス旅行先のトップは、上海・広州・デリー・ジャカルタ・ホーチミン・クアラルンプール・マニラ・バンコクは「シンガポール」、ハノイ・シンガポールは「中国」、ムンバイ・東京は「米国」、北京は「日本」。

Q40 あなたは、過去1年間(2014年9月~2015年8月の期間)で旅行をされましたか。(1.ビジネス)

過去1年の旅行経験(ビジネス)(複数回答)

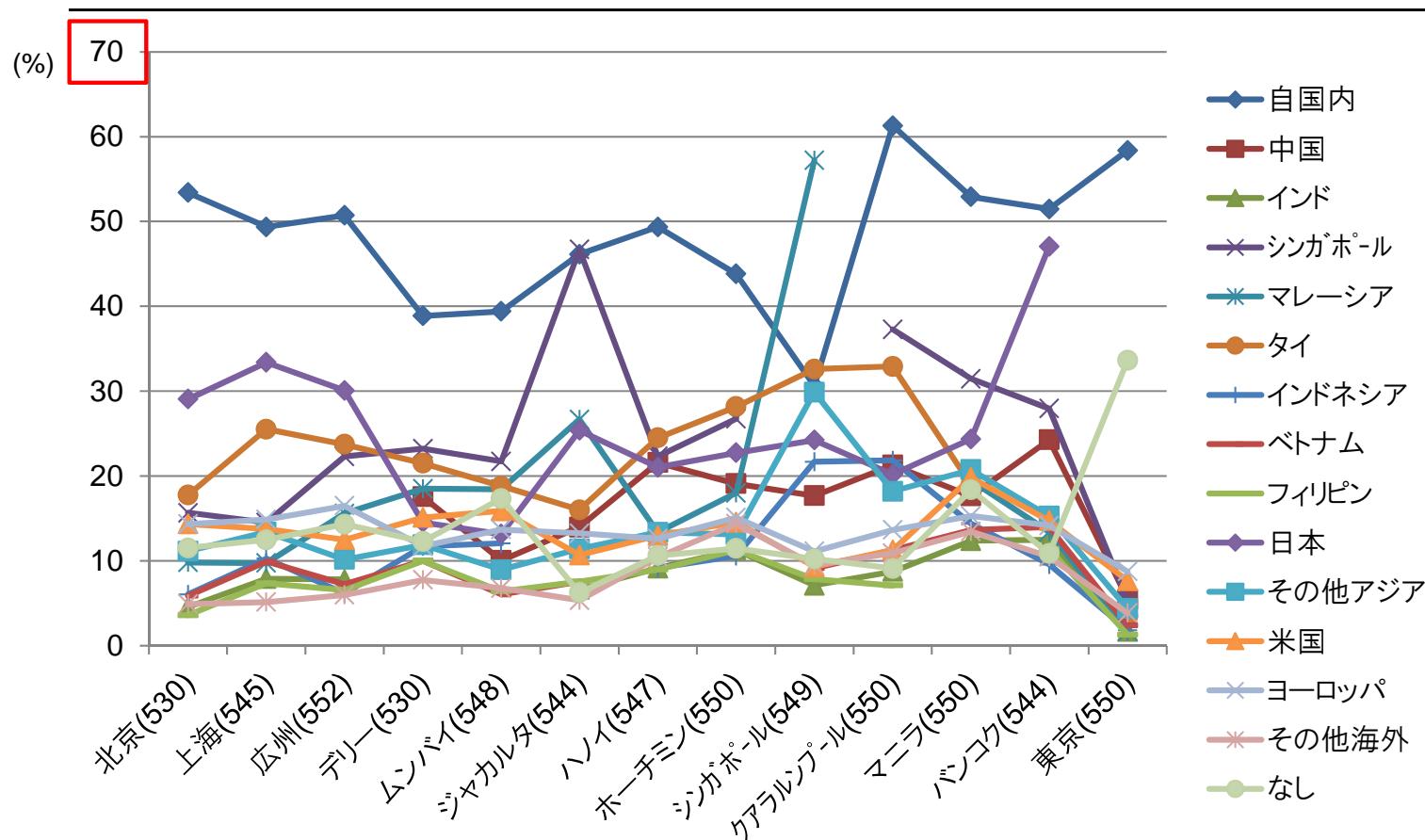


過去1年の旅行経験(ビジネス以外)

自国以外への観光旅行先トップは、インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプール・マニラは「シンガポール」、ベトナム2都市は「タイ」、シンガポールは「マレーシア」、中国3都市およびバンコクは「日本」、東京は「欧州」。

Q40 あなたは、過去1年間(2014年9月~2015年8月の期間)で旅行をされましたか。(2.観光などビジネス以外)

過去1年の旅行経験(ビジネス以外)(複数回答)

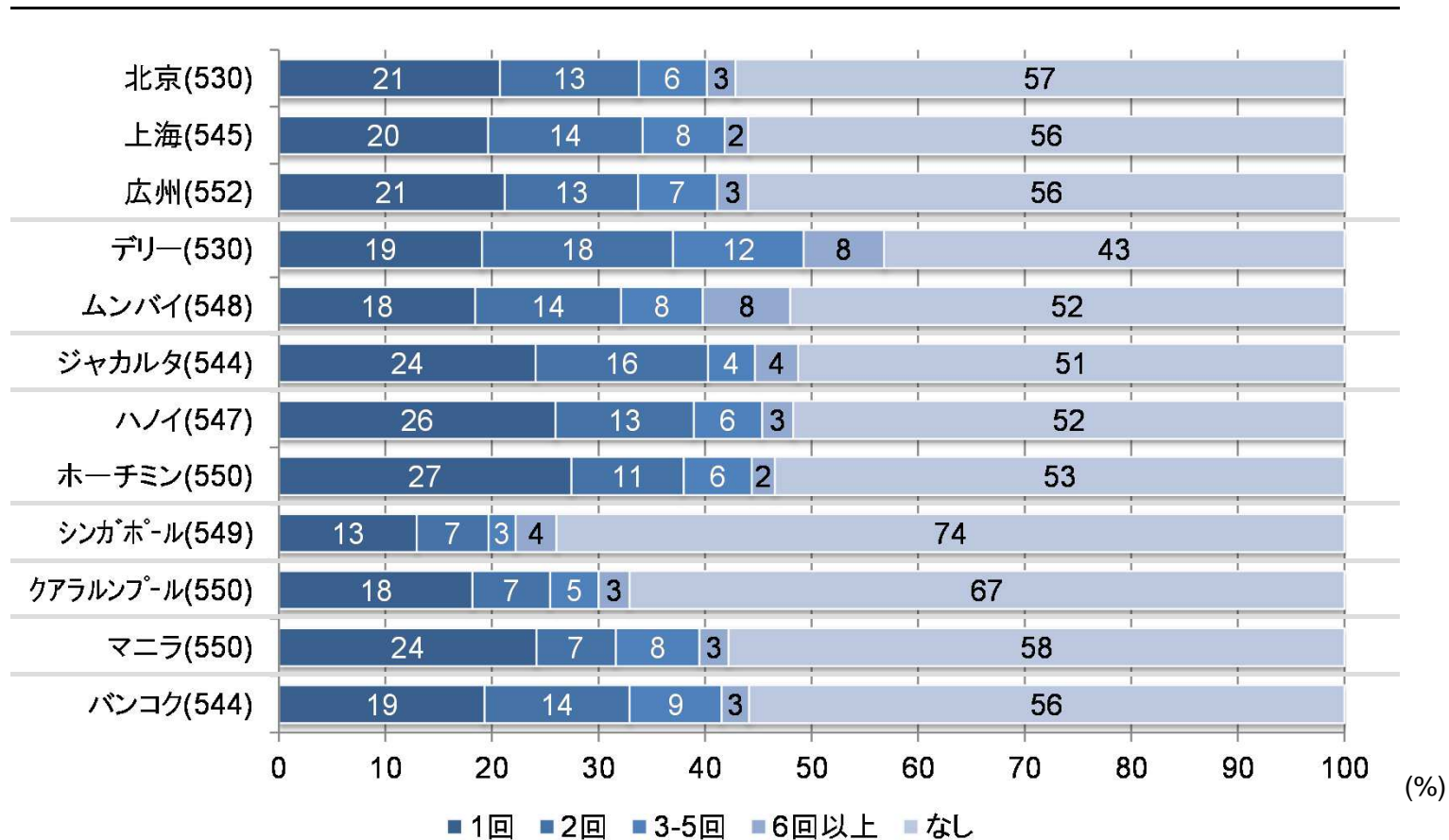


訪日経験(ビジネス)

訪日ビジネス旅行経験者が多い都市トップ3は、デリー・ジャカルタ・ハノイ。

Q41 あなたは、これまでに何回日本に行ったことがありますか。(1.ビジネス)

訪日経験(ビジネス)

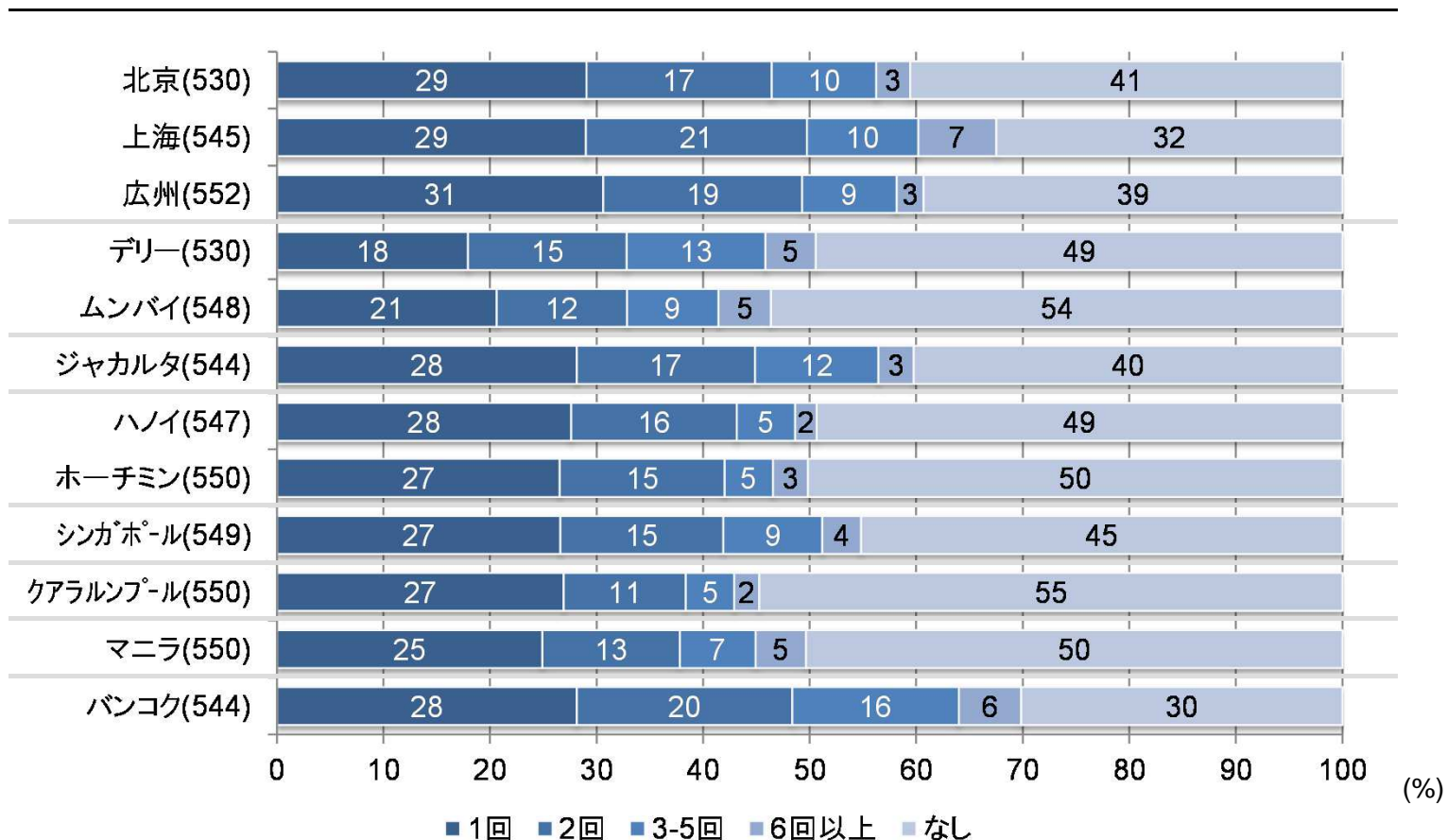


訪日経験(ビジネス以外)

訪日観光旅行経験者が多い都市トップ3は、バンコク・上海・広州。

Q41 あなたは、これまでに何回日本に行ったことがありますか。(2.観光などビジネス以外)

訪日経験(ビジネス以外)

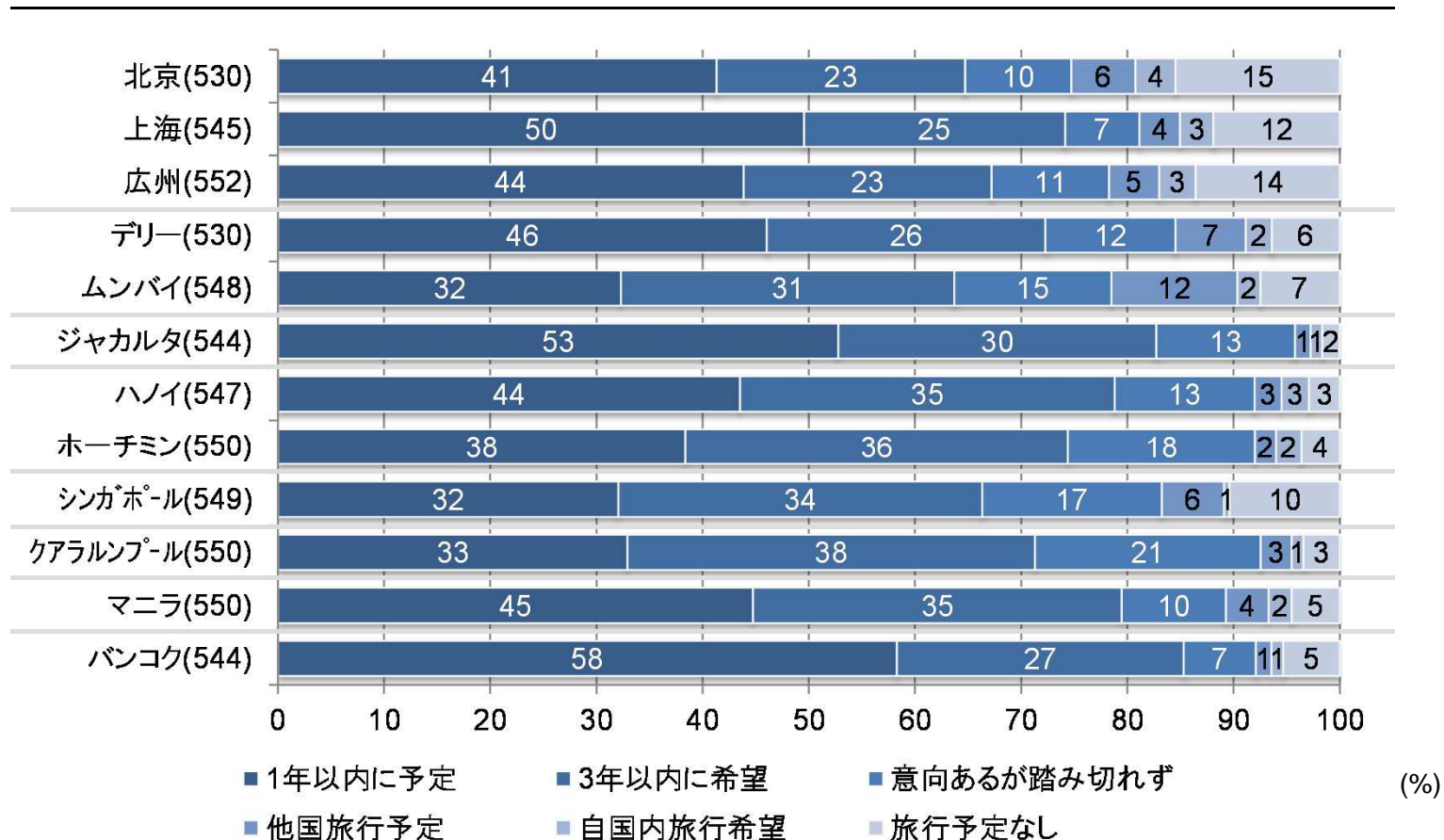


訪日観光旅行意向

全12都市で30%以上が「1年以内に訪日観光旅行を予定」しており、過去1年の旅行経験を大きく上回る。
「1年以内に訪日観光旅行を予定」のトップ3は、バンコク・ジャカルタ・上海。

Q42 あなたは、日本への観光旅行にご興味はありますか。

訪日観光旅行意向



出所：日本総研「2015年度 アジア主要都市コンシューマインサイト比較調査」

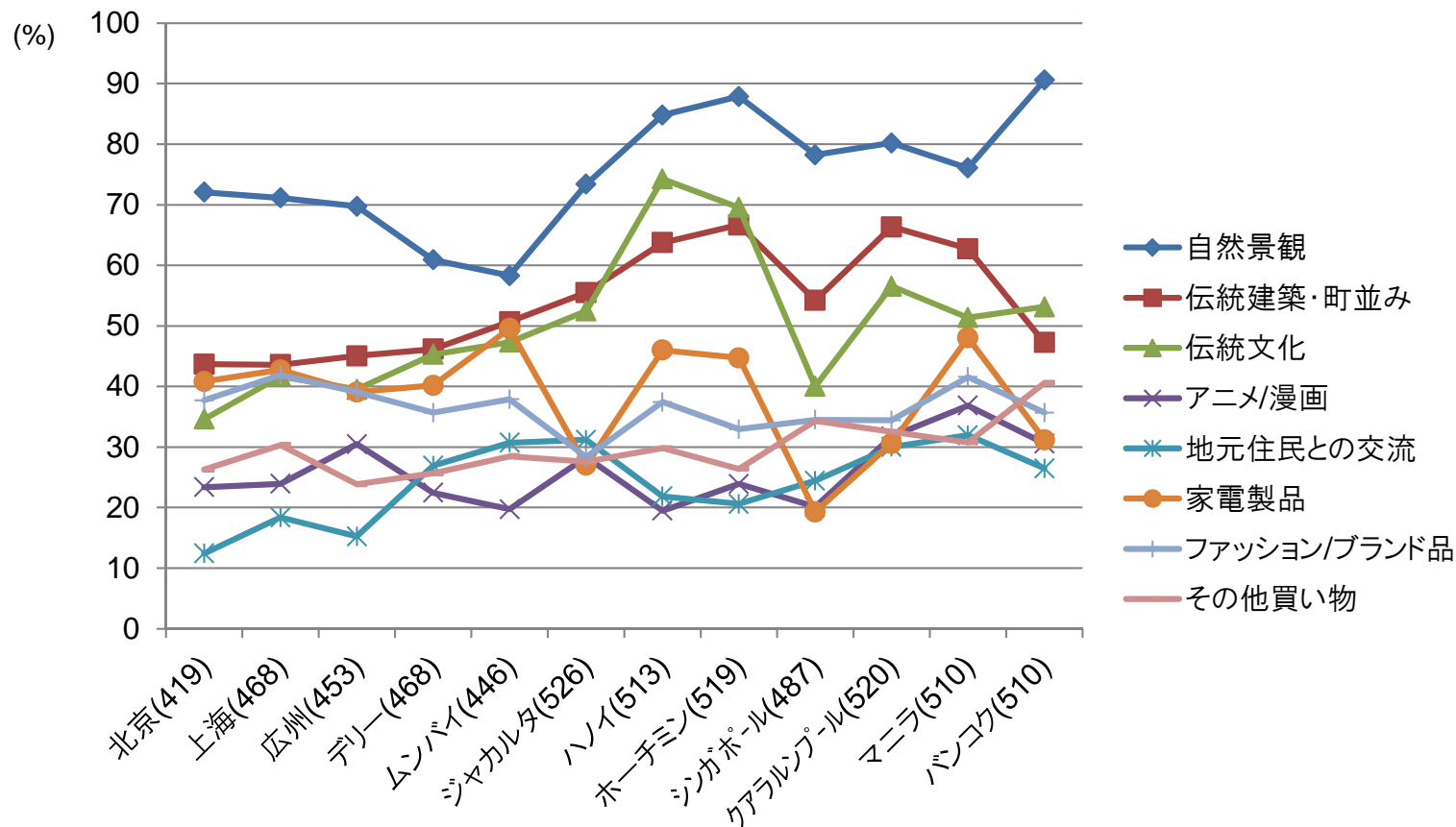
訪日観光旅行の目的(1/2)

全12都市で、「自然景観」が訪日観光旅行目的のトップ。

第2位は、インド2都市・ジャカルタ・クアラルンプールでは「伝統的な建築や町並み」、ハノイでは「伝統文化」。

Q44 日本への観光旅行の目的は何ですか。

訪日観光旅行の目的(複数回答)(訪日観光旅行経験または旅行意向あり)(1/2)

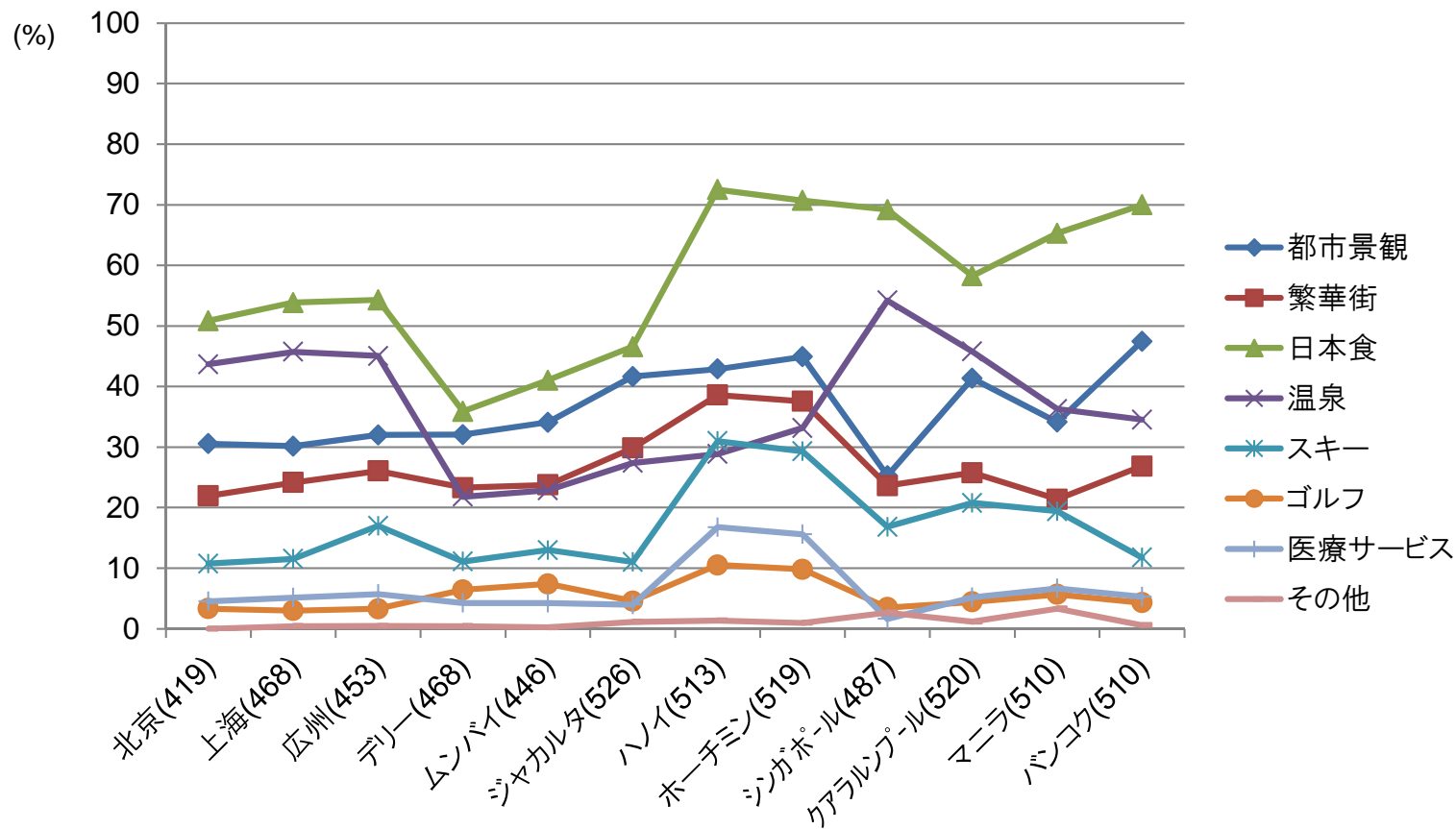


訪日観光旅行の目的(2/2)

訪日観光旅行目的の第2位は、中国3都市・ホーチミン・シンガポール・マニラ・バンコクでは「日本食」。

Q44 日本への観光旅行の目的は何ですか。

訪日観光旅行の目的(複数回答)(訪日観光旅行経験または旅行意向あり)(2/2)

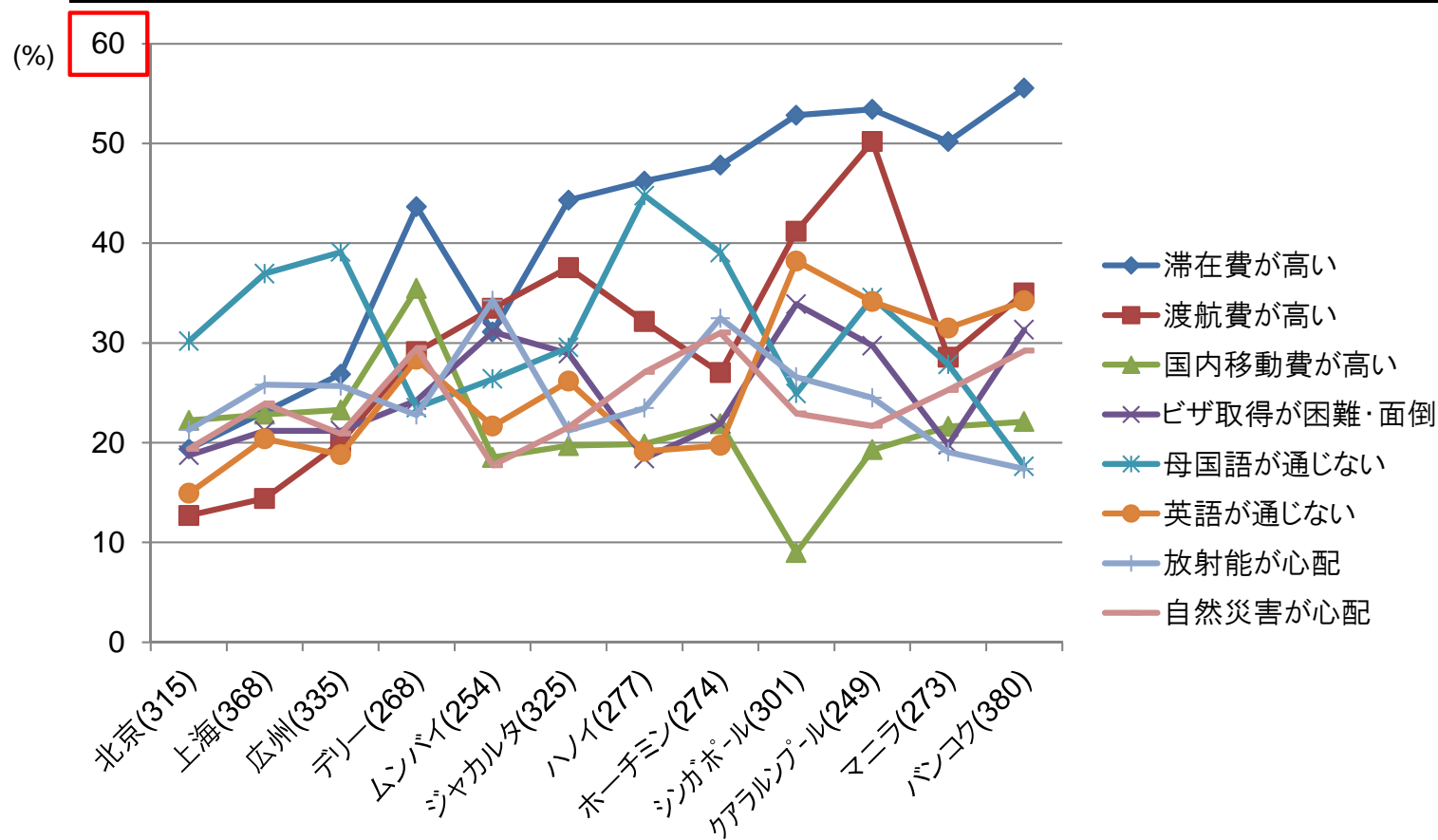


直近の訪日観光旅行での不満(1/2)

直近の訪日観光旅行時の不満のトップは、中国3都市は「母国語が使えなかった」、ムンバイでは「放射性物質による悪影響が心配だった」、その他8都市は「滞在費が高かった」。

Q45 日本への直近の観光旅行で不満だったことは何ですか。

直近の訪日観光旅行での不満(複数回答)(訪日観光旅行経験あり)(1/2)

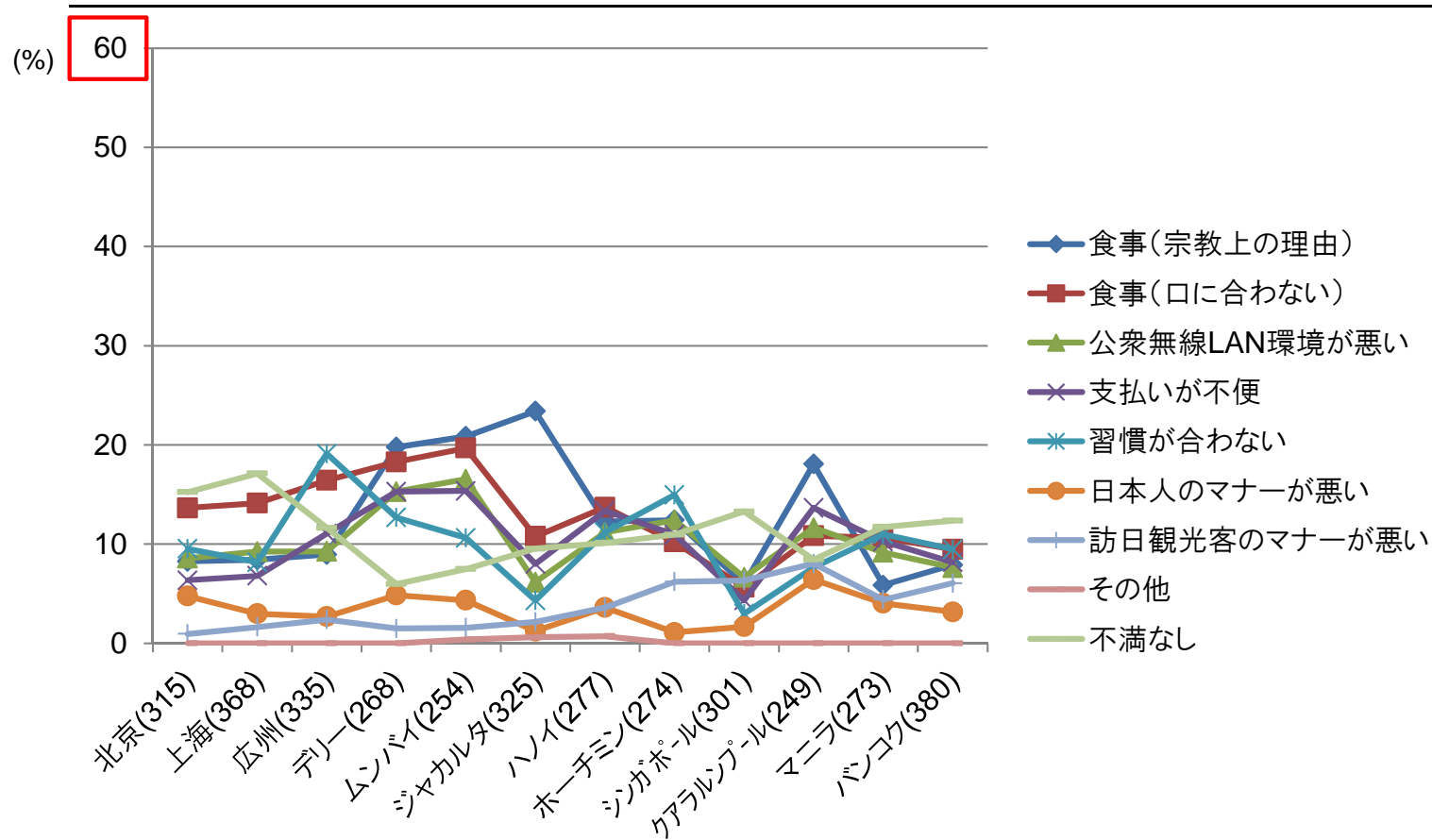


直近の訪日観光旅行での不満(2/2)

「不満なし」の割合が高いのは上海(17%)・北京(15%)。

Q45 日本への直近の観光旅行で不満だったことは何ですか。

直近の訪日観光旅行での不満(複数回答)(訪日観光旅行経験あり)(2/2)

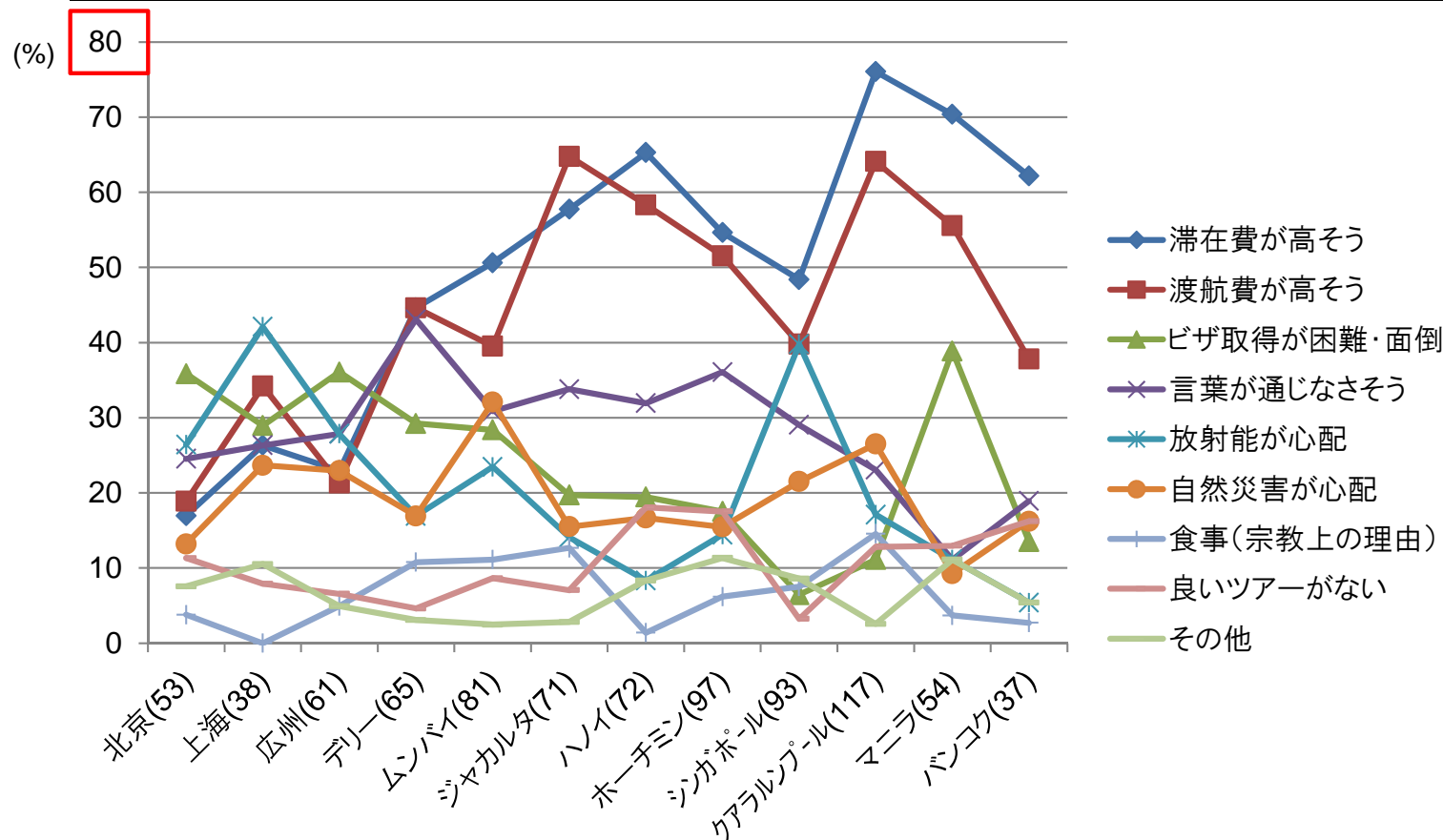


訪日観光旅行に踏み切れない理由

訪日観光旅行に踏み切れない理由のトップは、デリー・ジャカルタは「渡航費が高そう」、北京・広州は「ビザ取得が困難／面倒そう」、上海は「放射性物質による悪影響が心配」、その他7都市は「滞在費が高そう」。

Q43日本へ観光旅行に踏み切ることができない理由はなんですか。

訪日観光旅行に踏み切れない理由(複数回答)('意向あるが踏み切れず'のみ)



調査結果(8. 子ども)

「子ども」サマリー

末子(最も年齢の低い子ども)*の習い事のトップは、シンガポールと東京を除く11都市で「英語」。
 末子に将来就いてほしい職業のトップは、東京以外では「医師」または「経営者」。

習い事	末子の習い事	<ul style="list-style-type: none"> 18歳未満の末子の習い事のトップは、シンガポールと東京では「スイミング」、その他11都市では「英語」。
	末子に望む育ち方	<ul style="list-style-type: none"> 末子に望む育ち方のトップは、広州・デリー・ジャカルタ・ハノイ・シンガポール・東京では「人との約束を必ず守る」、ハノイ・バンコクでは「主体的に取り組む」、ホーチミンでは「探求に強い関心を持つ」、バンコクでは「他人の気持ちを理解しようとする」、その他5都市では「目上の人に対して適切な言葉使いをする」。
	末子に就かせたい職業	<ul style="list-style-type: none"> 末子に将来就かせたい職業のトップは、インド2都市・ジャカルタ・ベトナム2都市・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「医師」、中国3都市・シンガポールでは「企業経営者」、東京では「技術者・科学者」。

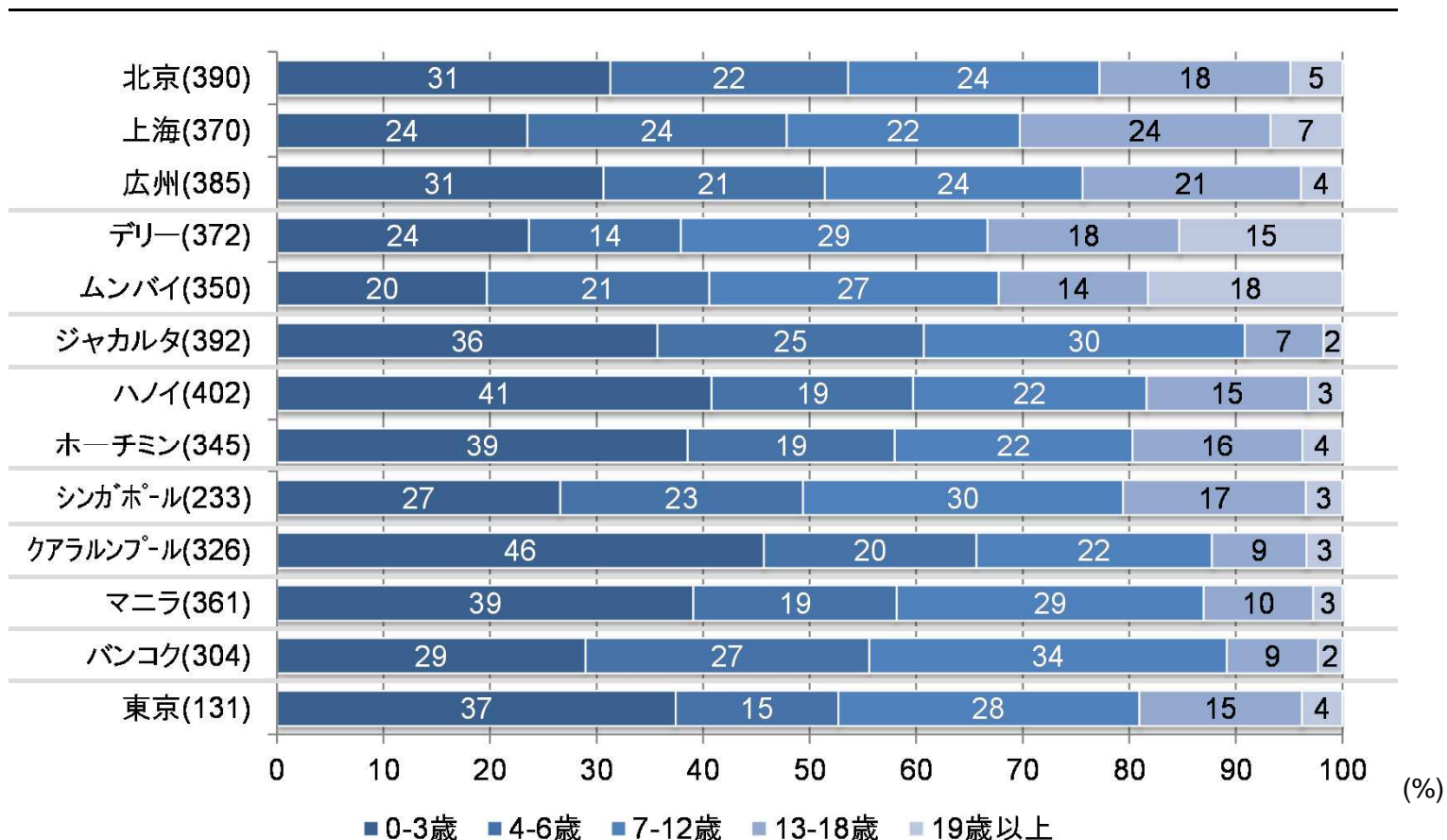
*末子：世帯が複数の子どもを持つ場合、最も年齢の低い子どものこと。
 一般に、末子とその世帯の生活および消費行動を規定するとされることから、本調査では末子を対象として質問している。

末子年齢

末子年齢が3歳未満の割合が最も高いのはクアラルンプール、
末子年齢が19歳以上の割合が高いのはインド2都市。

Q46 あなたのお子さんで、一番年齢の低い方(末子)の年齢は何歳ですか。

末子年齢(「子供あり」のみ)

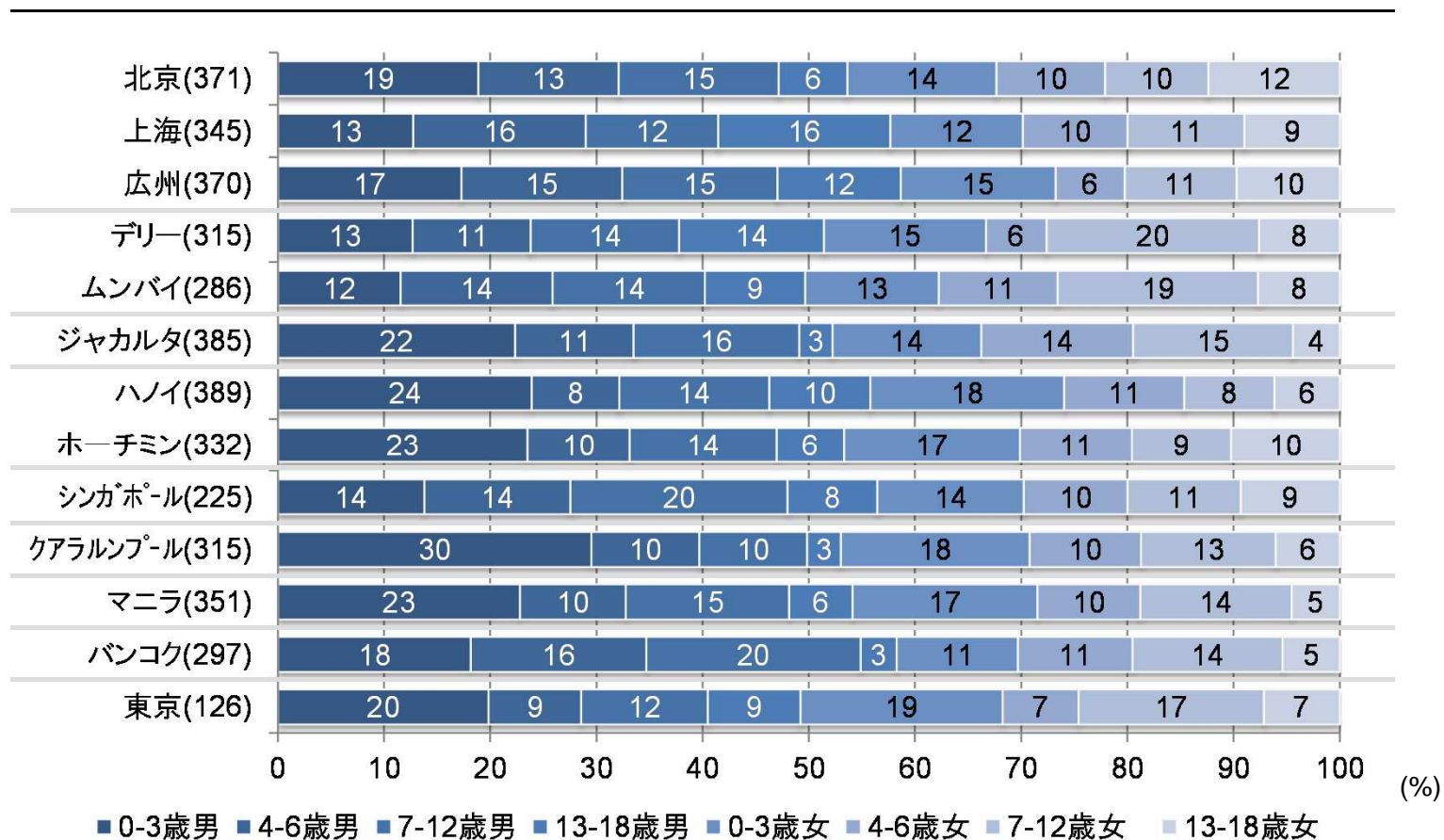


18歳以下の末子の性別

ムンバイ・東京以外の11都市では、男子の割合が女子より高い。
最も男子比率が高いのは広州(59%)。

Q47 末子の性別は何ですか。

18歳以下の末子の性別(「子供あり」のみ)

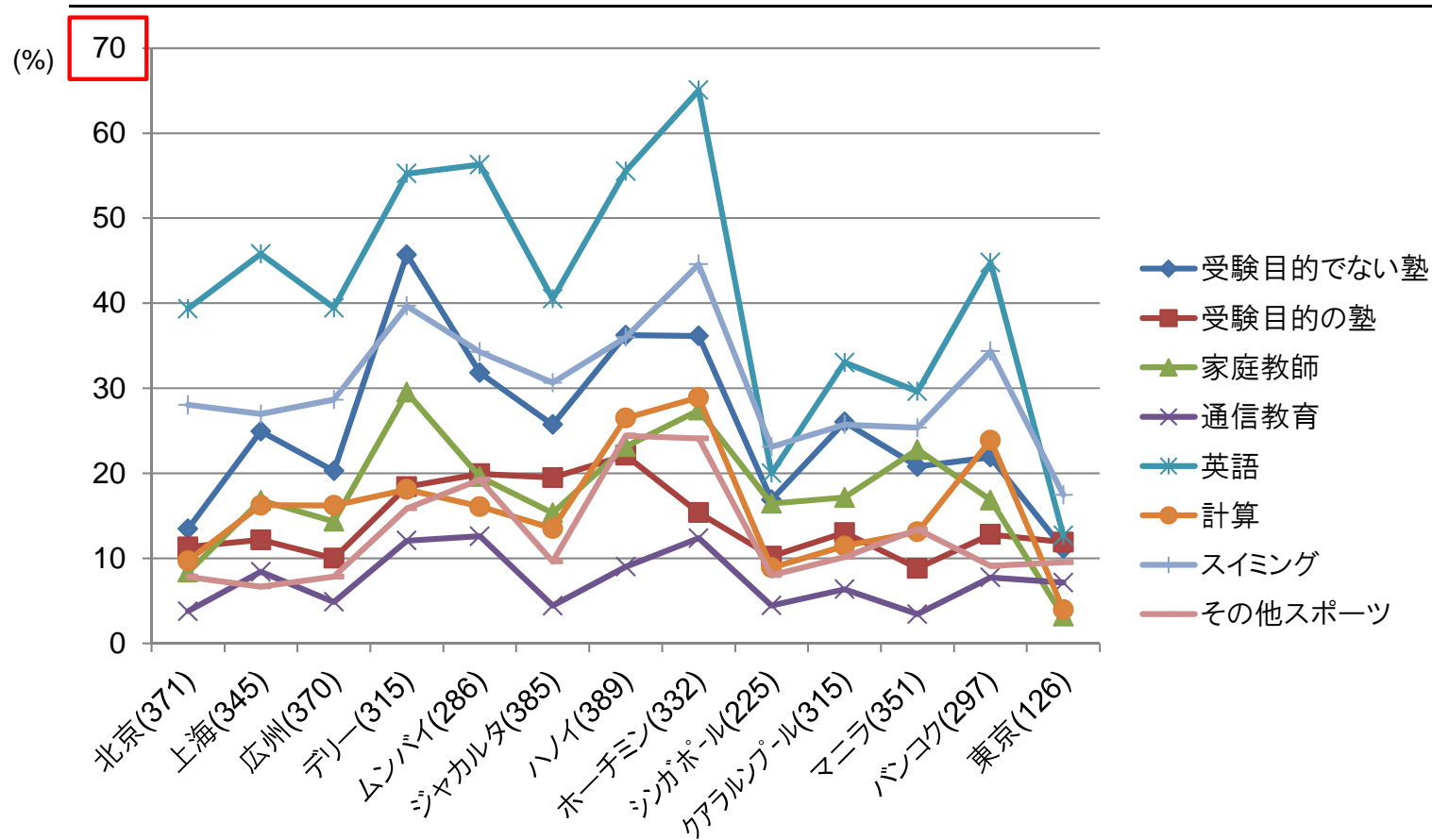


18歳以下の末子の習い事(1/2)

18歳未満の末子の習い事のトップは、シンガポールと東京では「スイミング」、
その他11都市では「英語」。

Q48 あなたの末子はどの習い事をしていますか。

18歳以下の末子の習い事(複数回答)(「子供あり」のみ)(1/2)

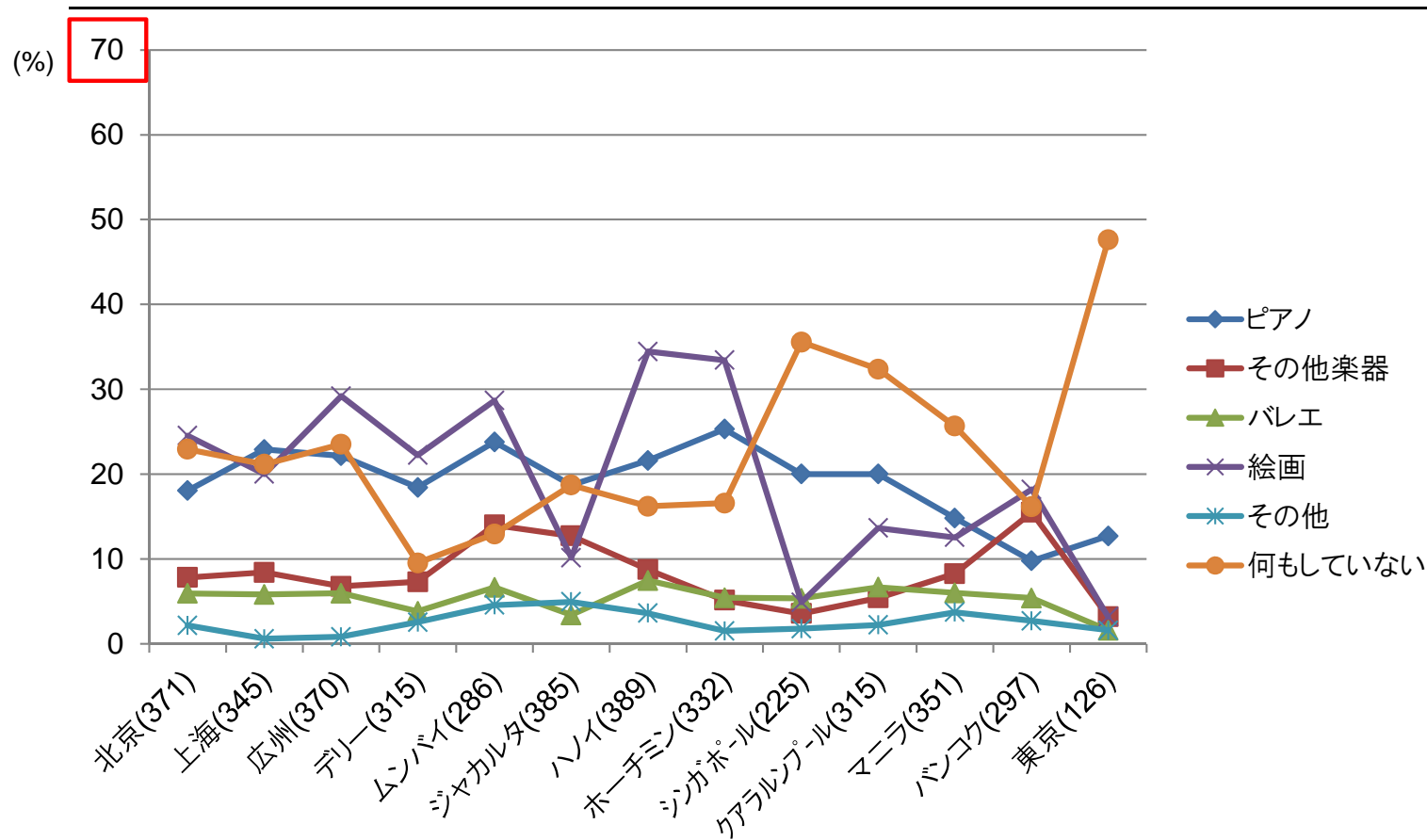


18歳以下の末子の習い事(2/2)

東京は、「何もしていない」比率が最も高い。

Q48 あなたの末子はどの習い事をしていますか。

18歳以下の末子の習い事(複数回答)(「子供あり」のみ)(2/2)

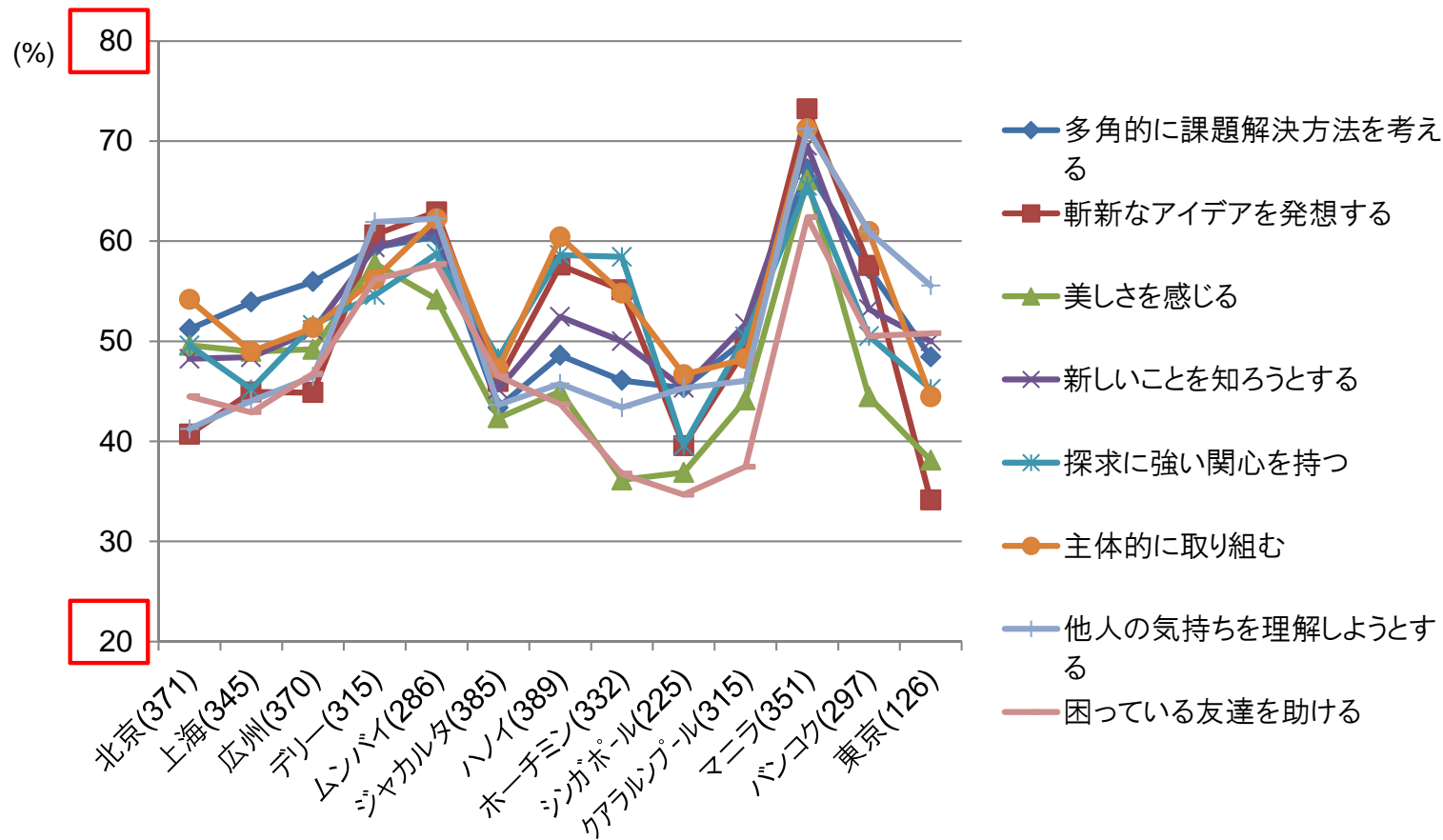


18歳以下の末子に望む育ち方(1/2)

末子に望む育ち方のトップは、ホーチミンでは「探求に強い関心を持つ」、
ハノイ・バンコクは「主体的に取り組む」、バンコクでは「他人の気持ちを理解しようとする」。

Q49 末子は、どんな子どもに育ててほしいですか。

18歳以下の末子の育ち方について「とてもそう思う」割合(複数回答)('子供あり'のみ)(1/2)

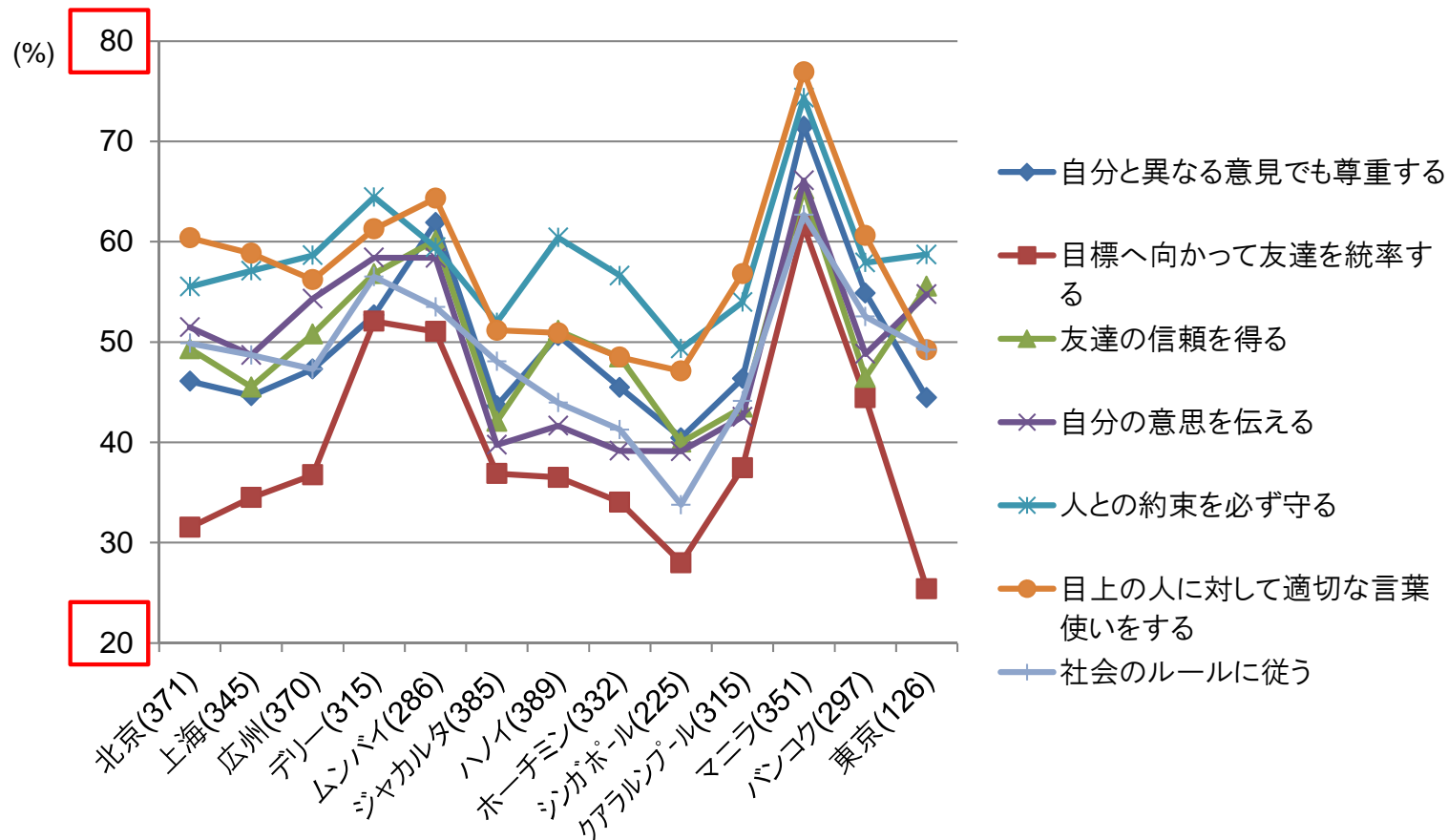


18歳以下の末子に望む育ち方(2/2)

末子に望む育ち方のトップは、広州・デリー・ジャカルタ・ハノイ・シンガポール・東京は「人との約束を必ず守る」、北京・上海・ムンバイ・クアラルンプール・マニラは「目上の人に対して適切な言葉使いをする」。

Q49 末子は、どんな子どもに育ててほしいですか。

18歳以下の末子の育ち方について「とてもそう思う」割合(複数回答)(「子供あり」のみ)(2/2)

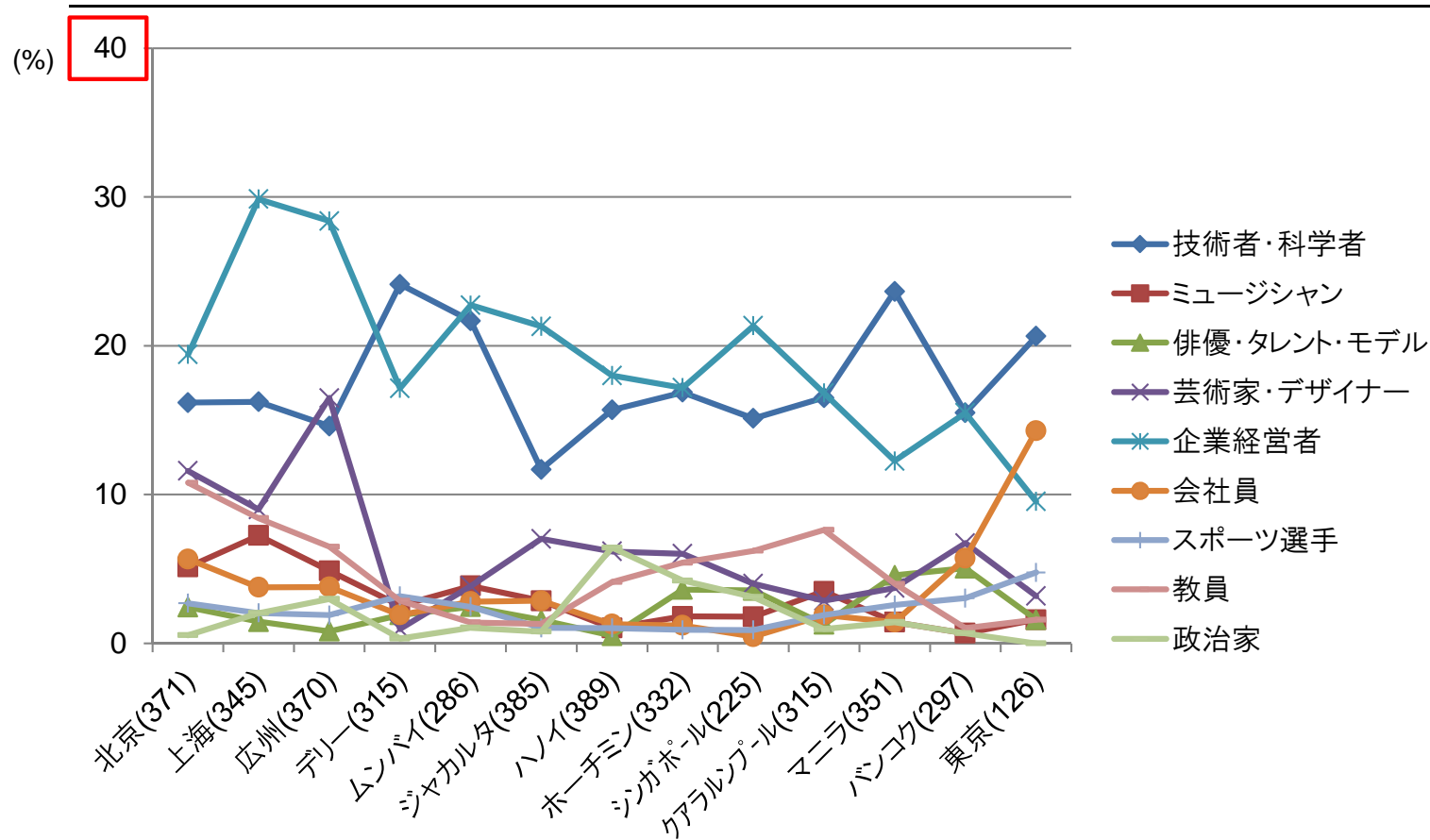


18歳以下の末子に就かせたい職業(1/2)

末子に将来就かせたい職業のトップは、中国3都市・シンガポールでは「企業経営者」、東京では「技術者・科学者」。

Q50 末子に将来就いてほしい職業は何ですか。

18歳以下の末子に就かせたい職業(複数回答)(「子供あり」のみ)(1/2)

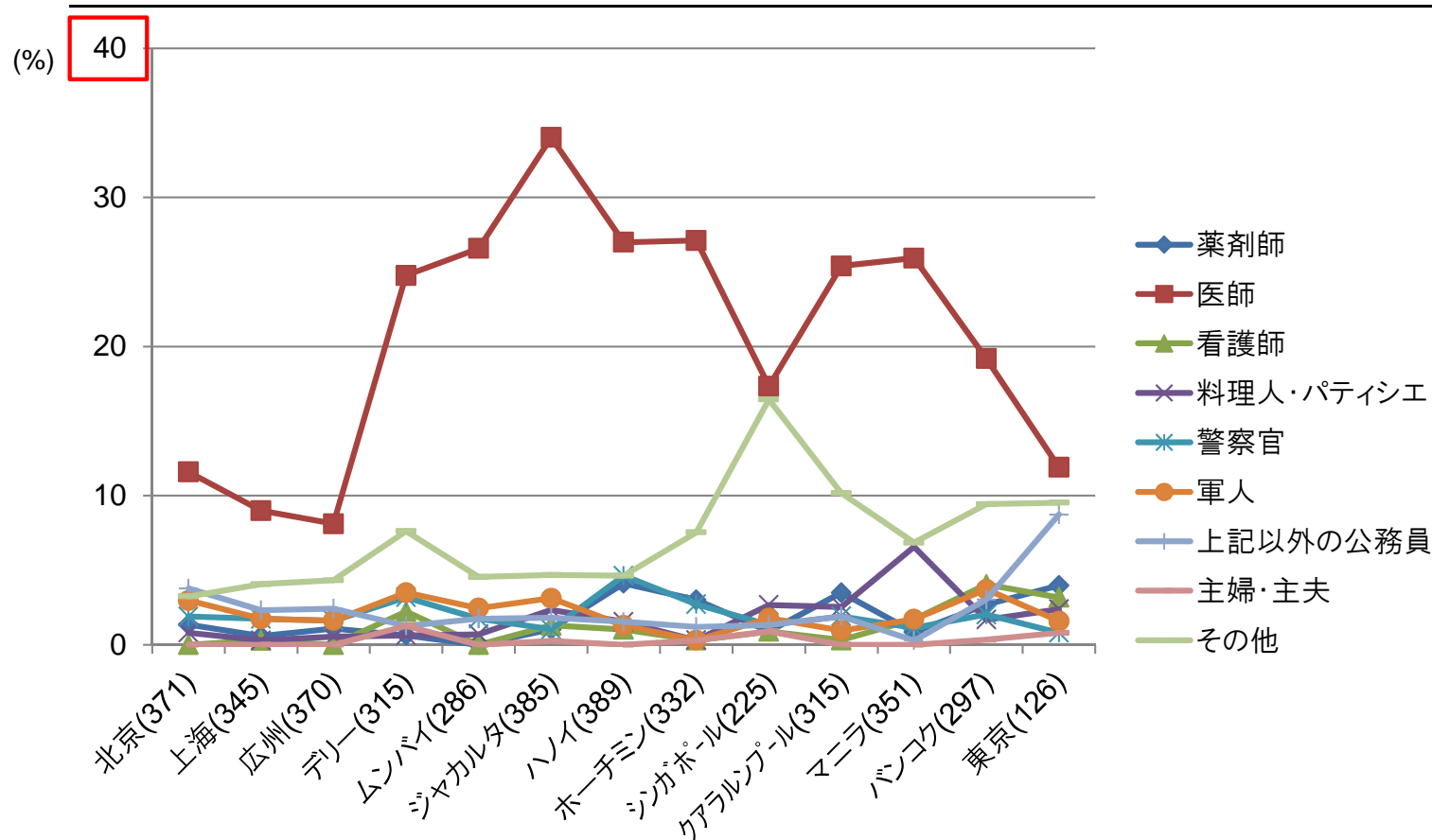


18歳以下の末子に就かせたい職業(2/2)

末子に将来就かせたい職業のトップは、
インド2都市・ジャカルタ・ベトナム2都市・クアラルンプール・マニラ・バンコクでは「医師」。

Q50 末子に将来就いてほしい職業は何ですか。

18歳以下の末子に就かせたい職業(複数回答)(「子供あり」のみ)(2/2)



調査結果(9. 回答者属性)

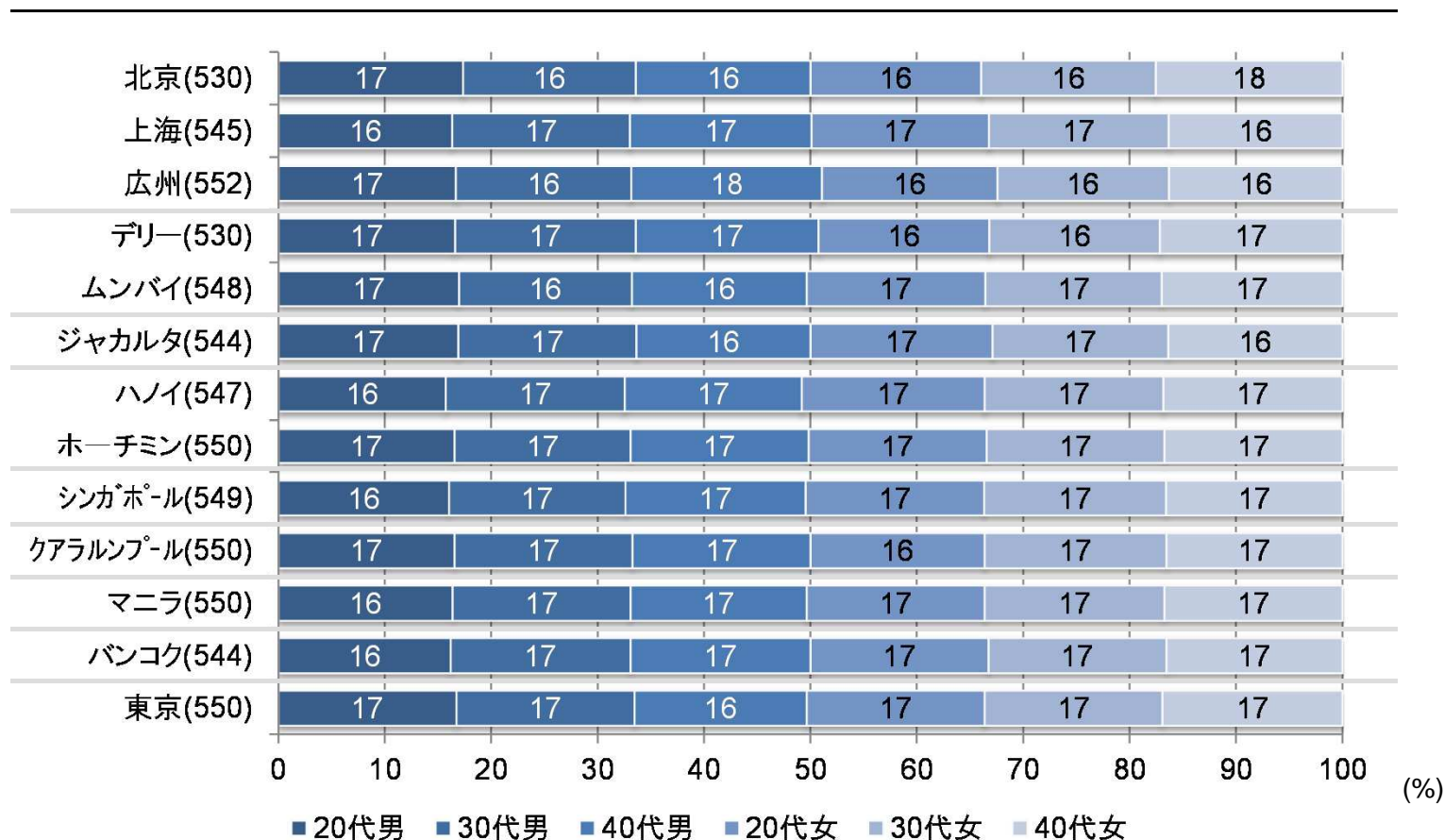
性別・年齢

各都市とも、年代・性別はほぼ均等に割り付けられている。

Q1 あなたの性別をお答えください。

Q2 あなたの年齢をお答えください。

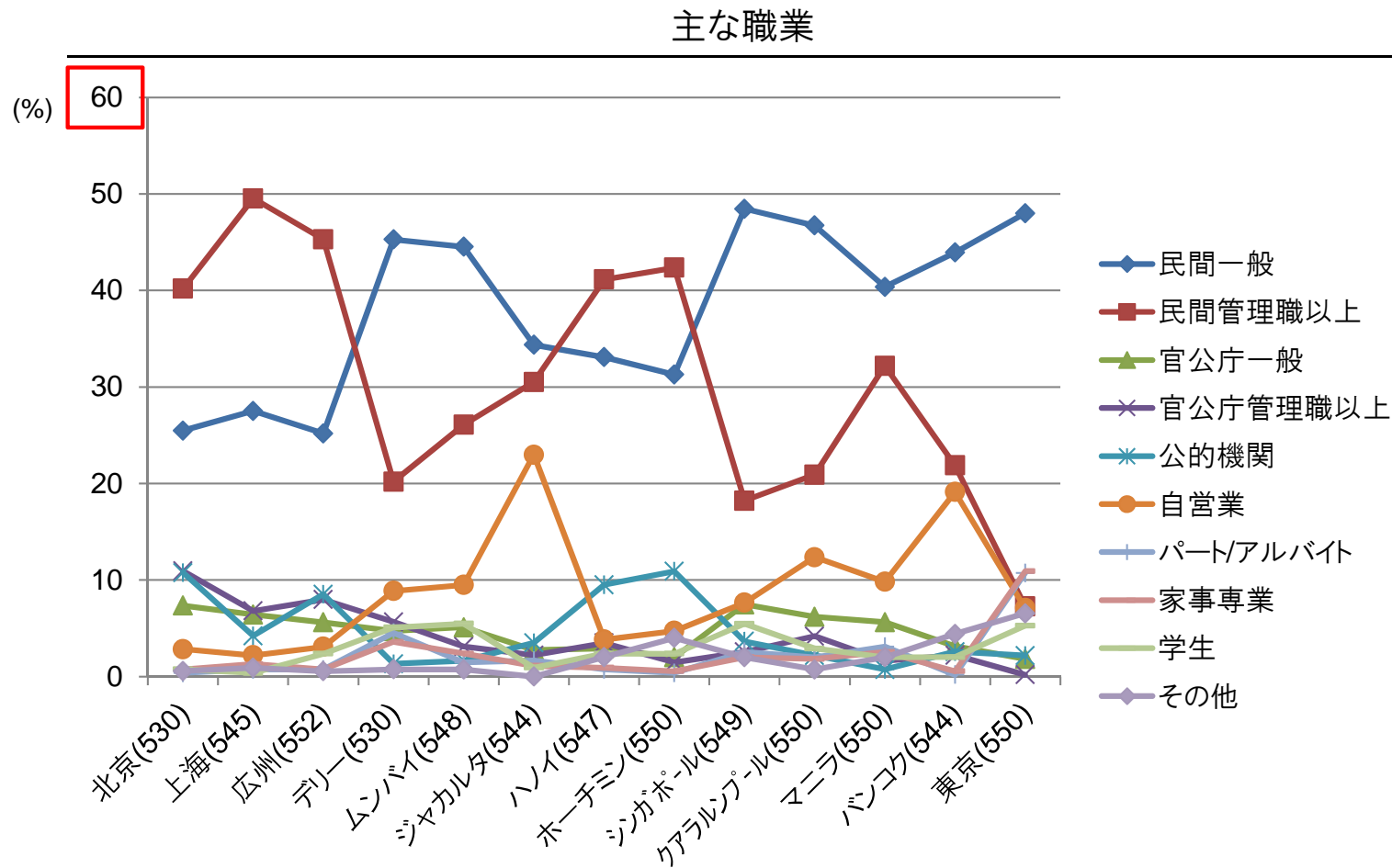
性別・年齢



主な職業

最も多い職業は、中国3都市・ベトナム2都市では「民間管理職以上」、
その他9都市では「民間一般」。

Q51 あなたの主な職業をお答えください。

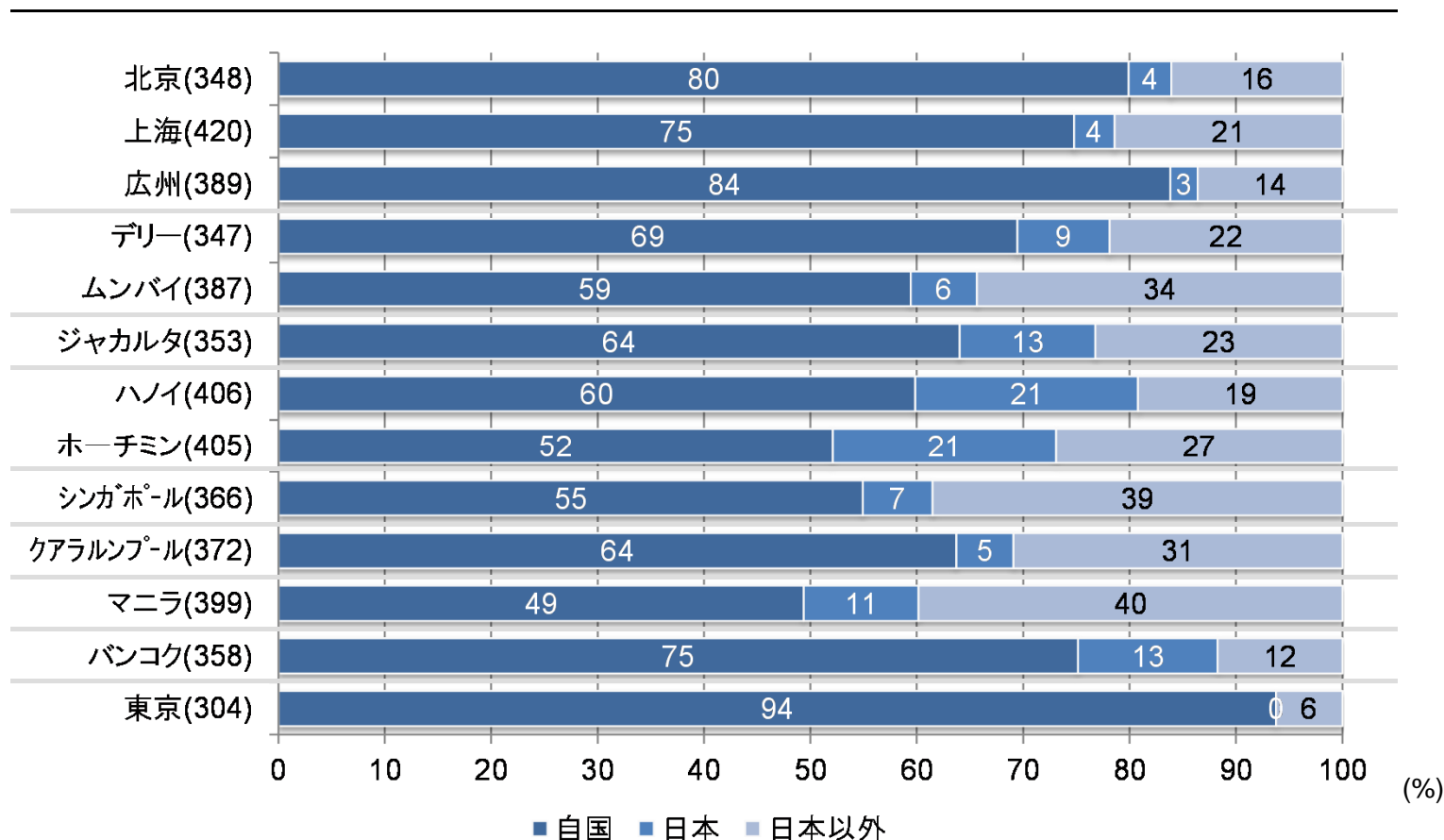


企業の国籍(民間企業従事者)

日本を含む外資系企業従事者の割合が最も高いのはマニラ(51%)、
日系企業従事者の割合が高いのはベトナム2都市(21%)。

Q52 民間企業にお勤めの方にお伺いします。あなたの企業は、次のどちらに当てはまりますか。

企業の国籍(民間企業従事者のみ)

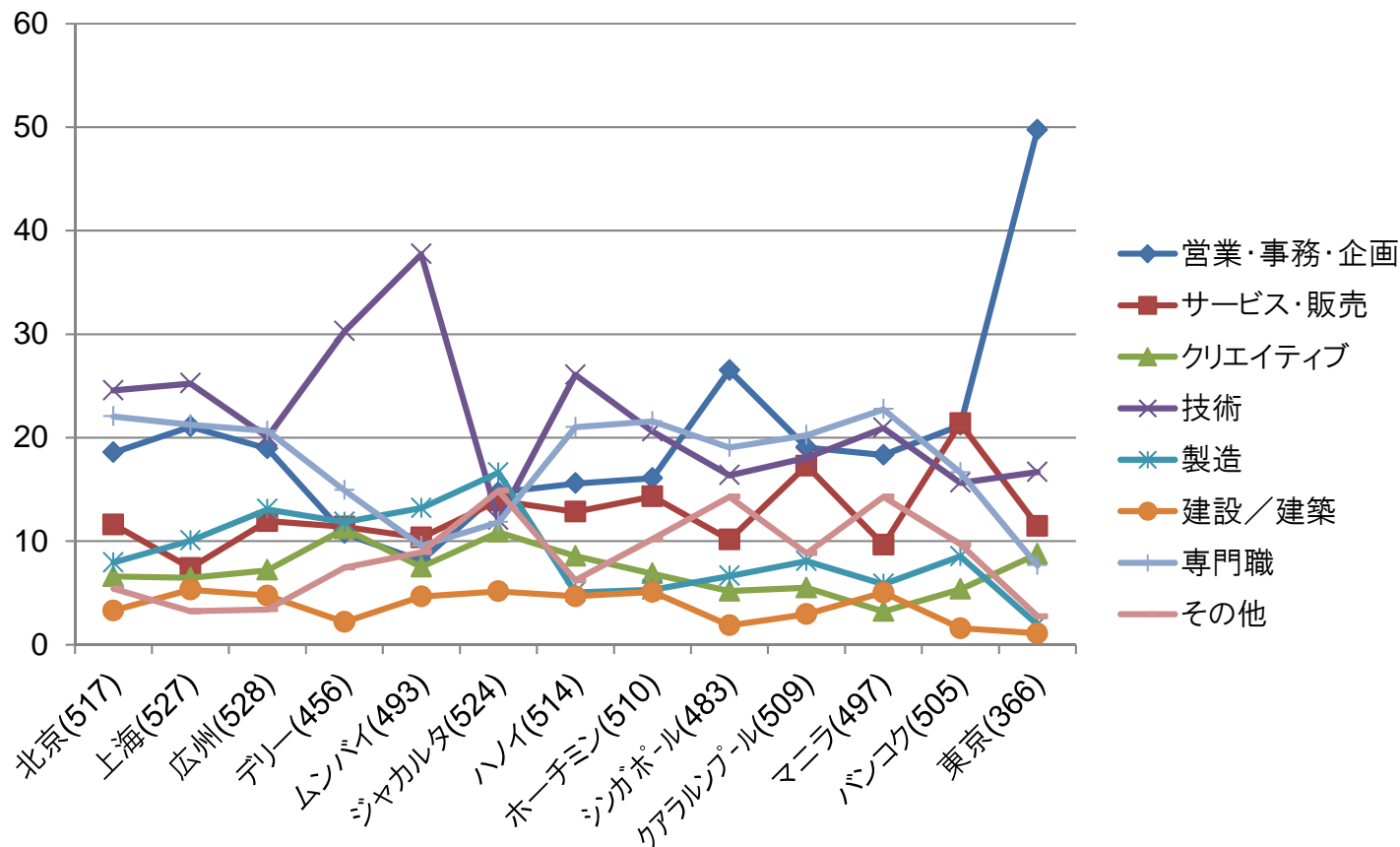


職種

最も多い職種は、北京・上海・インド2都市・ハノイでは「技術」、シンガポール・東京は「営業・事務・企画」、広州・ホーチミン・クアラルンプール・マニラは「専門職」、ジャカルタは「製造」、バンコクは「サービス・販売」。

Q53 次にあなたの職種についてお伺いします。

職種(民間企業・官公庁・その他公的機関・自営業のみ)



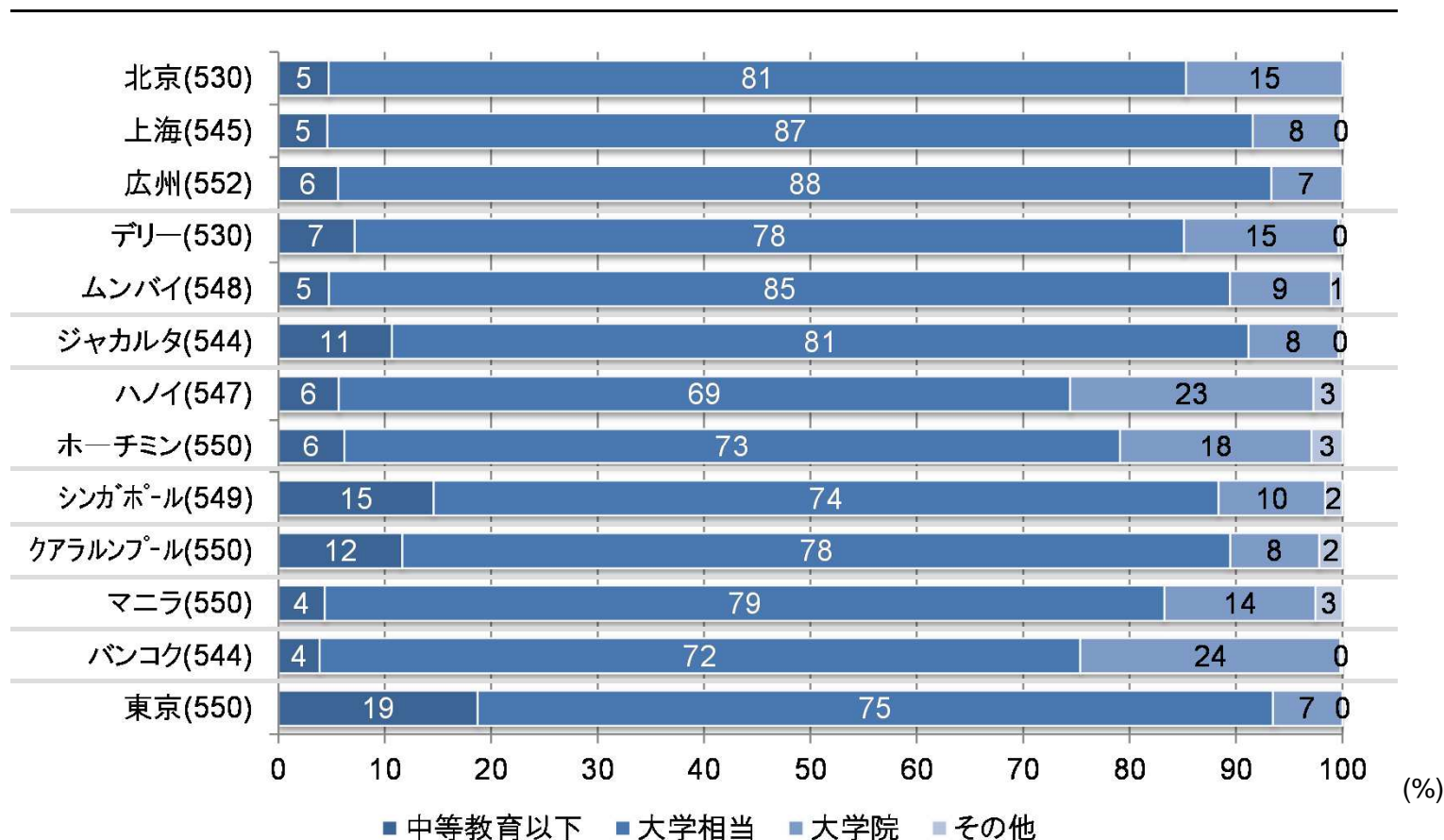
(%)

最終学歴

最終学歴が大学院の割合が高いのはバンコク(24%)・ハノイ(23%)・ホーチミン(18%)。
中等教育以下の割合が高いのは東京(19%)・シンガポール(15%)。

Q54 あなたの最終学歴をお答えください。

最終学歴



お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係者様】

広報部

山口 直樹

電話：03-6833-5691

【一般のお客様】

総合研究部門 ビジネスリサーチグループ

シニアマネジャー 新角 耕司

E-mail: shinkado.koji@jri.co.jp

リサーチアナリスト 青山 温子

E-mail: aoyama.atsuko@jri.co.jp

電話：03-6833-6300(代)

本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。